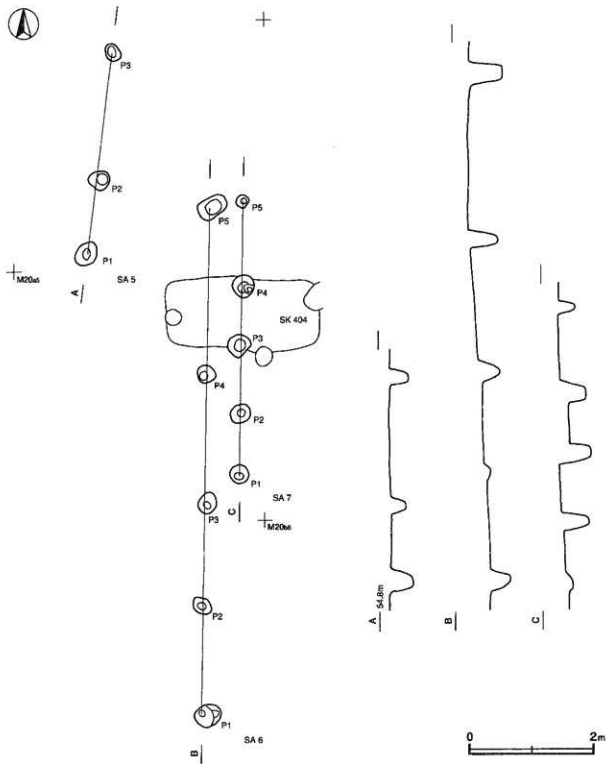


遺物出土状況 遺物は出土していない。

所見 時期は、第6号地下式横を掘り込んでいることから、中世以降と考えられる。

第5号横跡 (第389図)

位置 調査区東部のL20J5区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。



第389図 第5・6・7号横跡実測図

規模と形状 P1～P3が確認され、柱穴と考えられる。長さ3.3m、柱間は1.3～1.9mで、方向はN-7°-Eを指している。柱穴の規模は、長径0.28～0.42m、短径0.22～0.32mの楕円形である。断面形は逆台形で、深さは24～36cmである。底面は硬化しており、柱を設置した痕跡と考えられる。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

所見 時期は、段切り遺構と方向がほぼ一致していることから、中世と推定される。

第6号構跡（第389図）

位置 調査区東部のM20a5区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第404号土坑と重複している。

規模と形状 P1～P5が確認され、柱穴と考えられる。長さ8m、柱間は1.6～2.6mで、方向はN-2°-Eを指している。柱穴の規模は、長径0.34～0.58m、短径0.24～0.36mの円形または楕円形である。断面形はU字形または逆台形で、深さは9～54cmである。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

所見 時期は、第4号構跡と方向がほぼ一致していることから、中世以降と推定される。

第7号構跡（第389図）

位置 調査区東部のM20a5区に位置し、東へ傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第404号土坑と重複している。

規模と形状 P1～P5が確認され、柱穴と考えられる。長さ4m、柱間は0.9～1.4mで、方向はN-2°-Eを指している。柱穴の規模は、長径0.22～0.38m、短径0.2～0.38mの円形である。断面形はU字形または逆台形で、深さは8～52cmである。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

所見 第6号構跡と前後関係は不明であるが、ほぼ平行して構築されていることから、両者は比較的近接した時期に構築されたものと考えられる。時期は、第6号構跡と同じ理由から中世以降と推定される。

(9) 道路跡

第1号道路跡（第390図）

位置 調査区中央部のL17b7～L18b5区に位置し、東に傾斜する斜面に立地している。

重複関係 第99・118号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 東側は調査区域外に及び、全容は不明である。N-86°-Eの方向に及び、長さ36.8m、上幅0.8～2.9m、下幅0.2～1.1m、深さ12～17cmである。断面は浅いU字形で、壁は緩やかに外傾して立ち上がっている。確認面付近で硬化面が見られ、この部分が路面と想定される。特に北側が硬化している。また、底面も踏み固められた痕跡があることから、路面は2面であったと想定される。

覆土 4層からなる。粘性・しまりが強く踏み固められた形跡があり、人為堆積と考えられる。

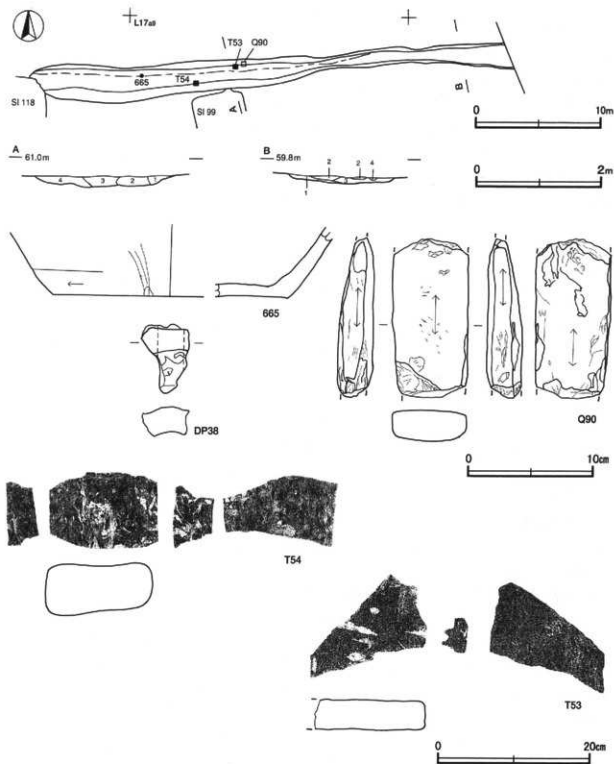
土層解説

| | | | | | |
|---|-------|----------------|---|----|----------------|
| 1 | 褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量 | 3 | 褐色 | ローム粒子多量 |
| 2 | にぶい褐色 | ローム粒子多量 | 4 | 褐色 | ローム粒子中量、炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片11点、弥生土器片1点、土師器片273点（坏類89、甕類183、高坏1）、須恵器片69点（坏類27、甕類41、壺1）、土師質土器2点（鍋）、陶器片11点、瓦片5点、羽口片1点、石器9点（砥石）、

鉄滓23点が出土している。遺物はL17b9～L18b2区にかけて出土し、665・T53・T54・Q90は底面から覆土中層にかけて出土している。

所見 調査前の農道とほぼ一致しており、路面と見られる硬化面が確認されたことから、道路跡と判断した。地山を浅く溝状に掘り込んだ後、褐色土を主体とした地行を行い、踏み固めている。時期は、出土土器から中世以降と想定される。



第390図 第1号道路跡・出土遺物実測図

第1号道路跡出土遺物観察表 (第390図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 手法の特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-----|----|----|-------|--------|-------|----|----|----------|------|-----|
| 665 | 須恵器 | 壺カ | — | (5.7) | (18.7) | 石英・長石 | 灰黄 | 良 | 外面回転ヘラ削り | 覆土中層 | 10% |

| 番号 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|--------|--------|-------|----------|-----|-------------------|------|----|
| DP28 | 羽子 | (3.9) | (5.6) | (2.0) | (34.6) | 土 | 鉄熱痕 | 覆土中 | |
| Q90 | 紙石 | (12.6) | 6.1 | 2.8 | (326.0) | 粘板岩 | 紙面(面) | 覆土中層 | |
| T53 | 瓶 | (10.1) | (14.6) | 3.9 | (870.0) | 土 | 丁寧なナデ | 底面 | |
| T54 | 瓶 | (10.0) | 14.0 | 6.7 | (1190.0) | 土 | ナデ、角に丸みを帯びる、長石を含む | 覆土下層 | |

00 七坑

第307号土坑 (第391図)

位置 調査区東部のL19f2区に位置し、東に傾斜する斜面に立地している。

重複関係 第185号住居跡を掘り込み、第308号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸2.4m、短軸1.8mの西側に約0.4mの張り出しのある長方形で、深さは35cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。長軸方向はN-90°-Eである。

ピット 3か所。P1・P2は深さ65~80cm、P3は深さ5cmである。P1・P2は東西壁の中央に位置していることから、柱穴と考えられる。P3の性格は不明である。

覆土 6層からなる(第1~6層)。ロームブロックを含んでいる層が多いことから、人為堆積と考えられる。

土層解説

| | | | |
|-------|----------------|--------|-----------------|
| 1 黄褐色 | ロームブロック少量、粘性弱 | 4 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 灰褐色 | ロームブロック・粘土粒子微量 | 5 暗褐色 | ローム粒子中量、炭質バミス微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・炭化物微量 | 6 黒暗褐色 | ローム粒子・炭質バミス微量 |

遺物出土状況 土師器片53点(坏類21、甕類32)、須恵器片2点(甕類)、鉄滓2点が出土しているが、堆積時の混入である。いずれも小片のため、図化できなかった。

所見 P1・P2の存在から、本跡の上部には小規模な屋根が設置されていた可能性がある。時期は、形態から中世以降と想定される。

第308号土坑 (第391図)

位置 調査区東部のL19g2区に位置し、東に傾斜する斜面に立地している。

重複関係 第307号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸2.3m、短軸1.9mの不整長方形で、深さは36cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-90°-Eである。

ピット 3か所。P1~P3は深さ40~50cmである。P1・P2は東西壁の中央に位置していることから、柱穴と考えられる。P3の性格は不明である。

覆土 5層からなる(第7~11層)。ロームブロックを含んでいる層が多いことから、人為堆積と考えられる。

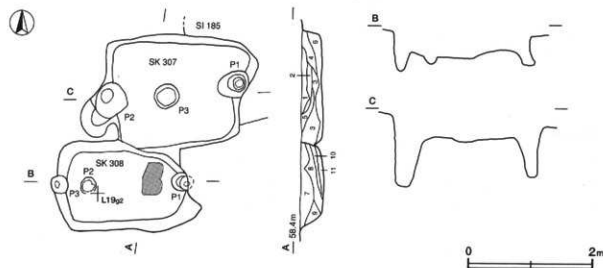
東側を中心に炭化物が出土している。

土層解説

| | | | |
|-------|---------------|--------|---------------|
| 7 黒褐色 | ロームブロック・炭化物微量 | 10 黒褐色 | ロームブロック・炭化物微量 |
| 8 暗褐色 | ロームブロック微量 | 11 褐色 | ローム粒子少量、しまり強 |
| 9 暗褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 土師器片12点(坏類10, 甕類2), 須恵器片2点(坏類1, 甕類1), 鉄滓2点が出土しているが堆積時の混入である。いずれも小片のため, 図化できなかった。

所見 第307号土坑と同じく, 上部には小規模な屋根が設置されていた可能性がある。炭化物を含んでいる層が認められるが, 焼土や底面に熱を受けた痕跡は確認されていないことから, 焼成などの行為は行われていない。時期は, 形態から中世以降と想定される。



第391図 第307・308号土坑実測図

第309号土坑 (第392図)

位置 調査区東部のL19g2区に位置し, 東に傾斜する斜面に立地している。

重複関係 第184号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸2m, 短軸1.7mの長方形で, 深さは72cmである。底面は平坦で, 壁は外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-78°-Eである。

ピット 4か所。P1・P3は深さ35~55cm, P2・P4は深さ18~20cmである。各ピットともそれぞれの壁の中央付近に位置し, P1・P3は掘り方がしっかりしていることから柱穴と考えられ, P2・P4は支柱穴と想定される。

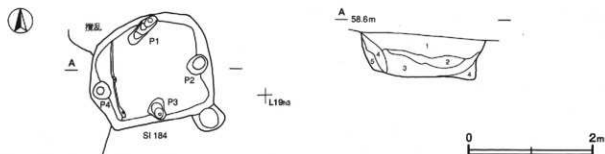
覆土 5層からなる。ロームブロックを含んでいる層があり, また, しまりの強い層も含まれていることから, 人為堆積の可能性がある。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|--------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量 | 4 暗褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化物微量 | 5 褐色 | ローム粒子中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物微量 | | |

遺物出土状況 土師器片57点(坏類23, 甕類34), 須恵器片7点(甕類), 鉄滓4点が出土しているが, 堆積時の混入である。いずれも小片のため, 図化できなかった。

所見 性格は明らかではないが, 上部に小規模な屋根が設置されていた可能性がある。時期は, 中世以降と考えられる。



第392図 第309号土坑実測図

第316号土坑 (第393図)

位置 調査区東部のM20a5区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第317号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸1.9m、短軸1.8mの方形で、深さは38cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-76°-Wである。

ピット 1か所 (P3)。P3は西壁中央に位置し、深さ25cmである。性格は不明である。

覆土 2層からなる (第13・14層)。ロームブロックを多く含むことから人為堆積と考えられる。

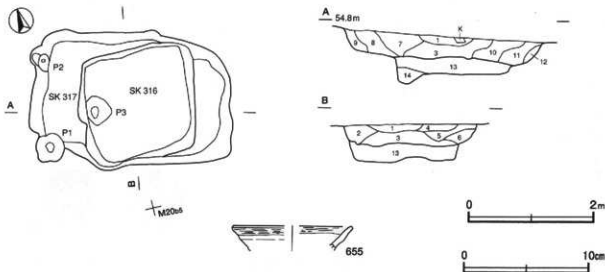
土層解説

13 暗褐色 ロームブロック多量

14 黒褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 土師器片6点 (坏類3, 甕類3), 須恵器片1点 (坏類) が出土している。いずれも小片のため、図化できなかった。

所見 覆土はほぼ単一層で、一時期に埋められたものと考えられる。時期は、重複関係から第317号土坑に先行する中世と考えられる。



第393図 第316・317号土坑・出土遺物実測図

第317号土坑 (第393図)

位置 調査区東部のM20a5区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第316号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸3.1m, 短軸2mの長方形で、深さは60cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-72°-Wである。

ピット 2か所(P1・P2)。P1・P2は西壁に位置し、深さは7~35cmである。性格は不明である。

覆土 12層からなる(第1~12層)。ロームブロックを含む層が多いことから、人為堆積と考えられる。

土層解説

| | | | |
|-------|------------------------|--------|--------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化物微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 8 暗褐色 | ロームブロック多量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 9 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子少量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 11 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 6 暗褐色 | ローム粒子中量 | 12 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |

遺物出土状況 土師器片15点(環頸2, 甕頸13), 須恵器片4点(環頸2・甕頸2), 陶器片1点(小皿)が出土している。655は覆土中から破片の状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から15世紀頃と考えられる。

第317号土坑出土遺物観察表(第393図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 手法の特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|----|----|-------|-------|----|------|----|----|-------|------|--------|
| 655 | 陶器 | 皿 | [9.4] | (2.0) | - | 黒色粒子 | 淡黄 | 良 | ロクロナデ | 覆土中 | 20% 鉄軸 |

第363号土坑(第394図)

位置 調査区東部のM20b1区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

規模と形状 長軸0.9m, 短軸0.5mの楕円形で、深さは76cmである。底面は皿状で、壁は外傾して立ち上がっており、北壁は途中角度を変えて緩やかに外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-0°である。

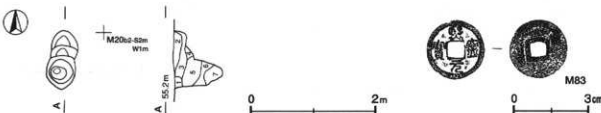
覆土 7層からなる。各層ともロームブロックを含んでいることから、人為堆積と考えられる。

土層解説

| | | | |
|-------|-----------------------|---------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 5 濃い黄褐色 | 炭化粒子中量, ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・炭化粒子微量 | 6 暗褐色 | 炭化粒子中量, ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・炭化粒子微量 | 7 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 土師器片3点(甕頸), 古銭1点(熙寧元寶)が出土している。M83は覆土中から出土している。

所見 時期は, 出土遺物から中世と考えられる。



第394図 第363号土坑・出土遺物実測図

第363号土坑出土遺物観察表(第394図)

| 番号 | 銭名 | 計測値 | | | | 材質 | 初鑄・鑄造年 | | 特徴 | 備考 |
|-----|------|--------|---------|--------|-------|----|--------|------|----------|-------|
| | | 銭径(cm) | 銭孔径(cm) | 厚さ(mm) | 重量(g) | | 年号 | 西暦 | | |
| M83 | 熙寧元寶 | 2.39 | 0.7×0.7 | 1.7 | 2.74 | 銅 | 熙寧元年 | 1068 | 鑄上がりやや不良 | PL106 |

第404号土坑 (第395図)

位置 調査区東部のM20a5区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第405号土坑を掘り込み、第357号土坑に掘り込まれている。第6・7号槽跡、第1号ピット群と重複している。

規模と形状 長軸2.5m、短軸1.1mの長方形で、深さは16cmである。底面は若干凹凸があり、壁は緩やかに外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-90°-Eである。

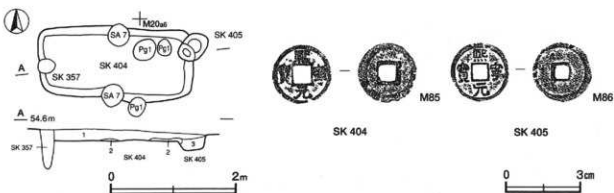
覆土 2層からなる(第1・2層)。ロームブロックを含んでいることから、人為堆積と考えられる。

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック多量、炭化粒子少量、焼土粒子微量 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片3点(坏類)、古銭1点(熙寧元寶)が出土している。M85は覆土中層付近から出土している。

所見 時期は、出土遺物から中世と考えられる。



第395図 第404・405号土坑・出土遺物実測図

第404号土坑出土遺物観察表 (第395図)

| 番号 | 銭名 | 計測値 | | | | 材質 | 初鑄・鑄造年 | | 特 徴 | 備 考 |
|-----|------|---------|----------|---------|--------|----|--------|------|--------|-------|
| | | 銭径 (cm) | 銭孔幅 (cm) | 厚さ (mm) | 重量 (g) | | 年号 | 西暦 | | |
| M85 | 熙寧元寶 | 2.44 | 0.7×0.7 | 1.7 | 2.78 | 銅 | 熙寧元年 | 1068 | 鑄上がり不良 | PL106 |

第405号土坑 (第395図)

位置 調査区東部のM20a6区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第404号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸0.5m、短軸0.4mの楕円形で、深さは29cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。長軸方向はN-41°-Eである。

覆土 単一層である(第3層)。ロームブロックを含んでいることから、人為堆積と考えられる。

土層解説

3 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片2点(堯類)、古銭1点(熙寧元寶)が出土している。M86は覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係と出土遺物から第404号土坑に先行する中世と考えられる。

第405号土坑出土遺物観察表 (第395図)

| 番号 | 銭名 | 計測値 | | | | 材質 | 初鋳・鋳造年 | | 特 徴 | 備 考 |
|-----|------|---------|----------|---------|--------|----|--------|------|--------|-------|
| | | 銭径 (cm) | 銭孔幅 (cm) | 厚さ (mm) | 重量 (g) | | 年号 | 西暦 | | |
| M86 | 熙寧元寶 | 2.44 | 0.7×0.7 | 1.7 | 2.96 | 銅 | 元豊元年 | 1068 | 枝の痕跡あり | PL106 |

第436号土坑 (第396図)

位置 調査区東部のL19e4区に位置し、東に傾斜する斜面に立地している。

重複関係 第437号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側を第437号土坑に掘り込まれており、全容は不明である。長軸0.6m、短軸0.5mの長方形と推定され、深さは21cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。長径方向はN-0°である。

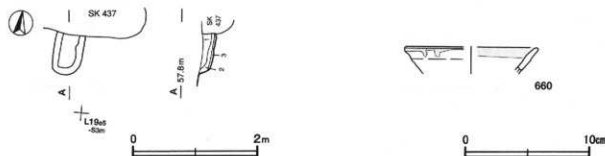
覆土 3層からなる。ロームブロックを含んでいる層が多いことから、人為堆積と考えられる。

土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量 3 明 褐色 ローム粒子中量
2 暗 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 土師器片4点(坏類2, 甕類2), 土師質土器片1点(鍋), 陶器片1点(小皿)が出土している。660は覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から15世紀頃と考えられる。



第396図 第436号土坑・出土遺物実測図

第436号土坑出土遺物観察表 (第396図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 手法の特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|----|----|--------|-------|----|----|--------|----|-------|------|-----|
| 660 | 陶器 | 皿 | [10.5] | (2.2) | - | 砂粒 | にぶい黄褐色 | 良 | 口口整形 | 覆土中 | 10% |

第454号土坑 (第397図)

位置 調査区東部のL19e2区に位置し、東に傾斜する斜面に立地している。

重複関係 第183号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.9m、短径0.7mの楕円形で、深さは44cmである。底面は皿状で、壁は外傾して立ち上がっている。長径方向はN-74°-Wである。

覆土 4層からなる。ロームブロックを含んでいる層が多いことから、人為堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 3 黒 褐色 ロームブロック微量
2 黒 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 4 暗 褐色 ローム粒子少量

遺物出土状況 土師器片10点(坏類7, 甕類3), 須恵器片1点(坏類), 陶器片1点(碗), 鉄製品1点(不明)が出土している。662・M87は覆土中からそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から中世末～近世と考えられる。



第397図 第454号土坑・出土遺物実測図

第454号土坑出土遺物観察表 (第397図)

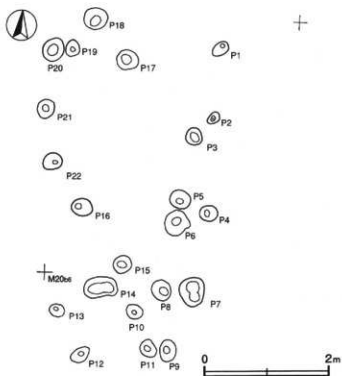
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 手法の特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|----|----|----|-------|-----|----|--------|----|-------|------|-----|
| 662 | 陶器 | 碗 | - | (1.6) | 3.5 | 長石 | にびい・濃黄 | 良 | ロクロ整形 | 覆土中 | 20% |

| 番号 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|----|-----|-----|---------|-----|----|-----|------|----|
| M87 | 不明 | 4.7 | 1.3 | 0.5~1.0 | 8.7 | 鉄 | 緑金か | 覆土中 | |

(1) ビット群

第1号ビット群 (第398図)

調査区東部の第7号欄跡の東側に位置している。ビット群の範囲は東西3.1m、南北5.5mで、M20a6・M20b6区に広がる。配列は規則性がなく建物跡を想定できなかったため、ビット群とした。P7は第384号土坑・第2号火葬施設、P19・20は第404号土坑と重複している。時期は、段切り遺構の東側に位置していることから中世以降と想定される。



第398図 第1号ビット群実測図

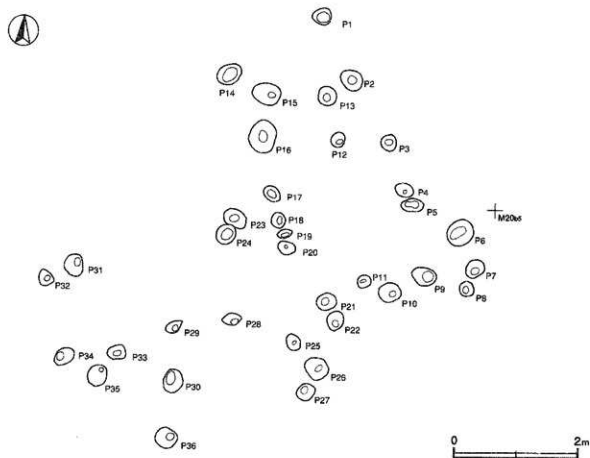
第1号ビット群計測表

| 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) |
|----|---------|---------|---------|-----|---------|---------|---------|-----|---------|---------|---------|
| P1 | 28 | 19 | 67 | P6 | 40 | 40 | 27 | P11 | 30 | 28 | 34 |
| P2 | 23 | 19 | 10 | P7 | 41 | 38 | 35 | P12 | 32 | 20 | 39 |
| P3 | 28 | 19 | 7 | P8 | 34 | 31 | 38 | P13 | 25 | 20 | 13 |
| P4 | 29 | 24 | 33 | P9 | 33 | 25 | 39 | P14 | 53 | 24 | 30 |
| P5 | 33 | 30 | 21 | P10 | 27 | 25 | 12 | P15 | 30 | 23 | 8 |

| 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) |
|------|---------|---------|---------|------|---------|---------|---------|------|---------|---------|---------|
| P 16 | 44 | 23 | 11 | P 19 | 34 | 24 | 48 | P 22 | 31 | 26 | 27 |
| P 17 | 39 | 30 | 70 | P 20 | 34 | 36 | 38 | | | | |
| P 18 | 40 | 34 | 27 | P 21 | 30 | 24 | 17 | | | | |

第2号ピット群 (第399図)

調査区東部の第7号橋跡の西側に位置している。ピット群の範囲は東西7.1m、南北6.8mで、M20a3・M20a4・M20b3・M20b4区に広がる。P1・P6・P15・P25の底面は硬化してしているが、配列に規則性がなく建物跡を想定できなかつたため、ピット群とした。P28・P29は第345号土坑と重複しているが、新旧関係は不明である。時期は、段切り遺構の東側に位置していることから中世以降と想定される。



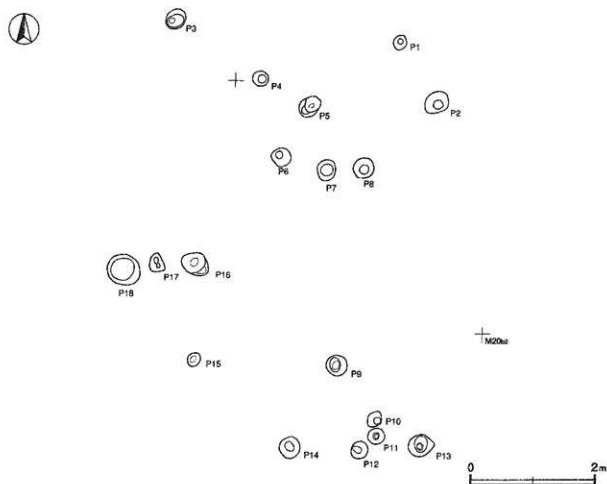
第399図 第2号ピット群実測図

第2号ピット群計測表

| 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) |
|------|---------|---------|---------|------|---------|---------|---------|------|---------|---------|---------|
| P 1 | 30 | 30 | 31 | P 13 | 30 | 30 | 37 | P 23 | 30 | 22 | 23 |
| P 2 | 36 | 30 | 45 | P 14 | 40 | 30 | 36 | P 26 | 40 | 34 | 54 |
| P 3 | 23 | 23 | 22 | P 15 | 45 | 35 | 42 | P 27 | 30 | 24 | 40 |
| P 4 | 31 | 29 | 19 | P 16 | 51 | 37 | 65 | P 28 | 30 | 18 | 46 |
| P 5 | 33 | 18 | 16 | P 17 | 31 | 20 | 27 | P 29 | 30 | 16 | 45 |
| P 6 | 44 | 40 | 24 | P 18 | 28 | 23 | 26 | P 30 | 40 | 30 | 57 |
| P 7 | 30 | 27 | 41 | P 19 | 25 | 15 | 27 | P 31 | 30 | 30 | 26 |
| P 8 | 24 | 20 | 27 | P 20 | 30 | 20 | 41 | P 32 | 24 | 30 | 26 |
| P 9 | 40 | 28 | 39 | P 21 | 30 | 26 | 14 | P 33 | 30 | 20 | 37 |
| P 10 | 40 | 30 | 24 | P 22 | 28 | 25 | 25 | P 34 | 38 | 22 | 55 |
| P 11 | 20 | 20 | 13 | P 23 | 38 | 26 | 46 | P 35 | 33 | 26 | 24 |
| P 12 | 24 | 23 | 17 | P 24 | 30 | 30 | 80 | P 36 | 38 | 34 | 45 |

第3号ピット群（第400図）

調査区東部の第4号横跡の南東側に位置している。ピット群の範囲は東西4.6m、南北6.9mで、L19j0・M19a0・M19b0・L20j0・M20a1・M20b1区に広がる。配列は規則性がなく建物跡を想定できなかったため、ピット群とした。時期は、段切り遺構の東側に位置していることから中世以降と想定される。



第400図 第3号ピット群実測図

第3号ピット群計測表

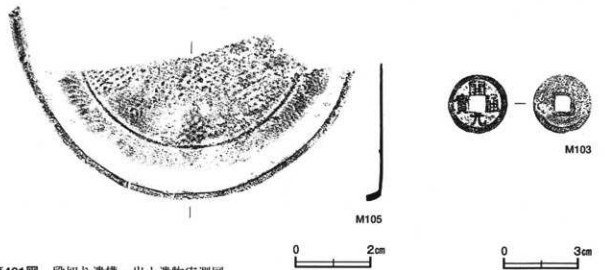
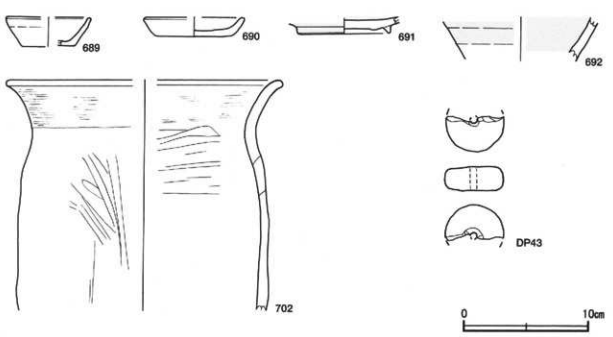
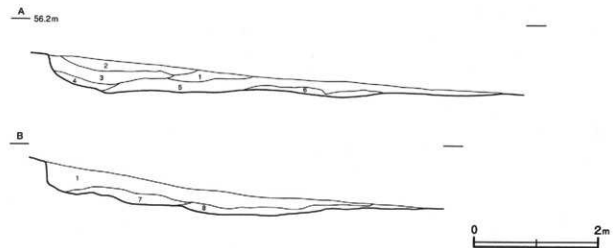
| 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) | 番号 | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) |
|-----|---------|---------|---------|-----|---------|---------|---------|------|---------|---------|---------|
| P 1 | 22 | 21 | 28 | P 7 | 30 | 30 | 25 | P13 | 43 | 30 | 86 |
| P 2 | 40 | 32 | 73 | P 8 | 32 | 26 | 55 | P 11 | 33 | 32 | 23 |
| P 3 | 32 | 28 | 38 | P 9 | 39 | 32 | 40 | P15 | 24 | 18 | 21 |
| P 4 | 24 | 22 | 53 | P10 | 36 | 16 | 43 | P16 | 42 | 36 | 38 |
| P 5 | 36 | 32 | 24 | P11 | 26 | 26 | 43 | P17 | 28 | 20 | 13 |
| P 6 | 34 | 33 | 44 | P12 | 28 | 27 | 36 | P18 | 54 | 48 | 102 |

02 その他の遺構

調査区域の東部で、斜面を削平した箇所を確認した。以下、段切り遺構としてその概要を述べる。

段切り遺構（第401図）

位置 調査区東部のL19j0～M19c0区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。



第401図 段切り遺構・出土遺物実測図

重複関係 第205号住居跡、第4・5・6・8号地下式竈、第461号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 南側は調査区域外に及び、全容は不明である。調査した規模は、南北20.8m、東西5.6mで、長軸方向はN-10°-Eである。深さ34~52mほど掘り込んでおり、東側に平坦な区画を設けている。

覆土 8層からなる。含有物を均等に含んでいることから、自然堆積と考えられる。

土層解説

| | | | |
|-------|--------------|----------|------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック微量 | 5 灰褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量 | 6 褐色 | ローム粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 | 7 におい黄褐色 | ローム粒子中量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック微量 | 8 灰黄褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子・炭沼バミス微量 |

遺物出土状況 縄文土器片1点、弥生土器片76点、土師器片1635点、須恵器片228点、灰釉陶器片8点、緑釉陶器片1点、常滑片1点、瓦片1点、石製品5点（石製模造品）、鉄製品6点（釘1、刀子1、不明4）、鉄滓192点、銅製品1点（鏡）、古銭1点（関元通寶）が出土している。これらの遺物は埋没の過程で流れ込んだものと考えられる。689はM19d9区付近の、691・692はM19c0区付近の覆土中から出土している。M105はL1919区の覆土中から、M103はM20a0区の底面付近から出土している。

所見 本跡の東側はほぼ平坦で、第1~3号井戸跡、第4~7号欄柵、第1・2号火葬施設などが位置している。これらの遺構を構築するための平坦面を造成するために、傾斜面を削平したものと考えられる。この工事は重複関係や流れ込んだ遺物などから、中世に行われたと考えられる。

段切り遺構出土遺物観察表（第401図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 手法の特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-------|------|--------|--------|-------|---------|-------|----|------------------|------|-----|
| 689 | 土師質土器 | かわらけ | [6.5] | 2.3 | [4.7] | 赤色粒子・雲母 | 橙 | 普通 | 底部回転糸切り | 覆土中 | 20% |
| 690 | 土師器 | 皿 | [7.7] | 1.6 | [6.0] | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 底部回転糸切り | 覆土中 | 15% |
| 691 | 土師質土器 | かわらけ | - | 1.6 | [6.0] | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 底部回転糸切り | 覆土中 | 30% |
| 692 | 緑釉陶器 | 皿 | - | (3.4) | - | 砂粒 | 黄橙 | 良 | | 覆土中 | 15% |
| 702 | 土師器 | 甕 | [21.6] | (18.3) | - | 石英・長石 | におい黄橙 | 普通 | 体部外面ヘラナデ、一部棒状のナデ | 覆土中 | 20% |

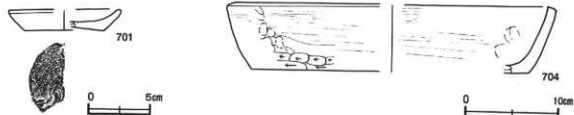
| 番号 | 器種 | 直径 | 厚さ | 孔径 | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|-----|-----|-----|-----|--------|----|-----|------|----|
| DP43 | 紡錘車 | 4.6 | 1.9 | 0.5 | (23.7) | 土 | 円筒形 | 覆土中 | |

| 番号 | 器種 | 直径 | 厚さ | 縁厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-------|-----|-----|--------|----|-----------------|------|-------|
| M105 | 鏡 | [8.0] | 0.7 | 1.9 | (13.2) | 青銅 | 内区の下に松を配置、細線外環式 | 覆土中 | PL106 |

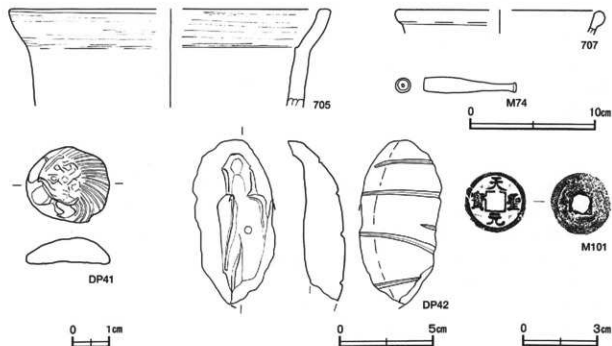
| 番号 | 銭名 | 計測値 | | | | 材質 | 初鑄・鑄造年 | | 特徴 | 備考 |
|------|------|---------|----------|---------|--------|----|--------|-----|------|-------|
| | | 銭径 (cm) | 銭孔径 (cm) | 厚さ (mm) | 重量 (g) | | 年号 | 西暦 | | |
| M103 | 関元通寶 | 2.43 | 0.7×0.7 | 1.6 | 2.08 | 銅 | 武徳4年 | 624 | 一部欠け | PL106 |

(13) 遺構外出土遺物

遺構に伴わない中・近世の主な遺物について、観察表で記述する。



第402図 遺構外出土遺物実測図(1)



第403図 遺構外出土遺物実測図(2)

遺構外出土遺物観察表 (第402・403図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 手法の特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-------|------|--------|-------|--------|-------|-------|----|----------------|------|---------|
| 701 | 土師質土器 | かわらけ | [8.9] | 1.7 | [6.2] | 長石・雲母 | にぶい橙 | 普通 | 底部回転糸切り | 表採 | 20% 被熱灰 |
| 704 | 須恵器 | 鉢 | [32.2] | 7.0 | [29.4] | 石英・雲母 | 灰オリーブ | 普通 | 口縁ロナデ、体部下端ヘラ削り | 表採 | 10% |
| 705 | 土師質土器 | 甕 | [25.6] | (7.8) | - | 長石・雲母 | にぶい橙 | 普通 | 口縁部横ナデ、口縁部内面に段 | 表採 | 5% |
| 707 | 陶器 | 壺 | [16.2] | (1.9) | - | 石英 | 灰オリーブ | 普通 | 内外面釉刷毛塗り | 表採 | 5% 瀬戸々 |

| 番号 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|----|------------------|----------|-------|
| DP41 | 泥団子 | 2.0 | 1.2 | 0.7 | 2.46 | 土 | 芥子画、亀の文様 | 表採 | |
| DP42 | 鈴型 | 8.7 | 4.2 | 3.1 | 60.00 | 土 | 仏像鈴型後背部、表面に7条の刻み | 表採 | PL103 |
| M74 | 燈管 | 7.3 | 1.2 | 1.2 | 13.50 | 真鍮 | 吸口 | SI-206覆土 | |

| 番号 | 銭名 | 計測値 | | | | 材質 | 初鑄・鋳造年 | | 特徴 | 備考 |
|------|------|--------|---------|--------|-------|----|--------|------|-------|-------|
| | | 直径(cm) | 穿孔幅(cm) | 厚さ(mm) | 重量(g) | | 年号 | 西暦 | | |
| M101 | 天聖元寶 | 2.51 | 0.7×0.7 | 1.8 | 3.36 | 銅 | 天聖元年 | 1023 | 鑄上がり良 | PL106 |

6 その他の遺構と遺物

今回の調査では、時期不明の方形竪穴状遺構1基、溝跡1条、欄柵1条、土坑397基を検出した。また、1～5で記述した以外の時代や時期を特定できない遺物が出土している。以下、それらの遺構と遺物について記述する。

(1) 方形竪穴状遺構

第1号方形竪穴状遺構 (第404図)

位置 調査区東部のL19f6区に位置し、東へ傾斜する斜面部に立地している。

規模と形状 攪乱と削平のため全容は不明である。確認できたのは西壁3.5m、北壁1.9mで、方形または長方

形と推定され、西壁に合わせた主軸方向はN-3°-Wである。

床 床面は攪乱と削平のため確認できなかった。掘り方は、東へ傾斜して掘り込まれ、ローム土で埋め戻されている。

ピット P1は深さ15cmで、南壁際に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。

覆土 確認できた層は、ローム土を多く含むことから2層とも掘り方の埋土であると考えられる。

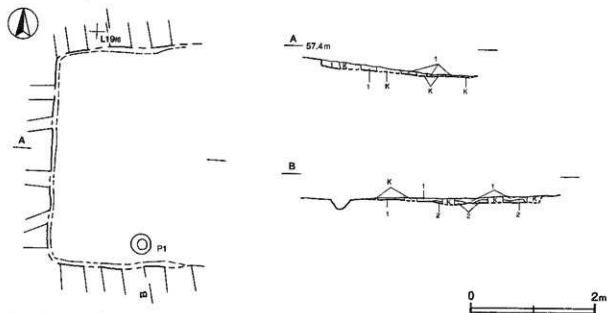
土層解説

1 暗 褐色 ロームブロック少量

2 におい黄褐色 ローム粒子多量

遺物出土状況 遺物は確認できなかった。

所見 時期は不明である。



第404図 第1号方形竪穴状遺構実測図

(2) 溝跡

ここでは、時期不明の溝跡について記述するが、平面図は遺構全体図への記載で代える。

第17号溝 (第405図)

位置 調査区東部のL20h5~L20h7区に位置し、東に傾斜する斜面の裾部に立地している。

重複関係 第211号住居跡を掘り込み、第313・467号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 東側は調査区域外に延びているため、全容は不明である。N-85°-Eの方向に直線的に延び、確認できたのは長さ7.4m、上幅124~144cm、下幅40~48cm、深さ14~20cmである。断面は浅い逆台形で、緩やかに外傾して立ち上がっている。

覆土 3層からなる。ブロック状の堆積状況から人為堆積と考えられる。



第405図 第17号溝跡実測図

土層解説

- | | | | |
|-------|----------------------|-------|---------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量 | 3 暗褐色 | ローム粒子少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 遺物は確認されなかった。

所見 時期・性格は不明である。

(3) 構跡

第8号構跡 (第406図)

位置 調査区西部のI1533区に位置し、尾根上の平坦部に立地している。

規模と形状 P1～P3が確認され柱穴と考えられる。長さ4m、柱間は1.9～2.1mで、主軸方向はN-90°-Eである。柱穴の規模は、径0.40～0.44mの円形である。断面形は逆台形である。P1・P3の底面には硬化した面が見られる。

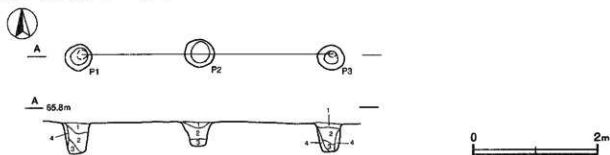
覆土 4層からなる。柱痕が見られず土層にしまりがないうことから、柱は抜き取られたものと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化物少量 | 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中粒、炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック少量 |

遺物出土状況 遺物は確認されなかった。

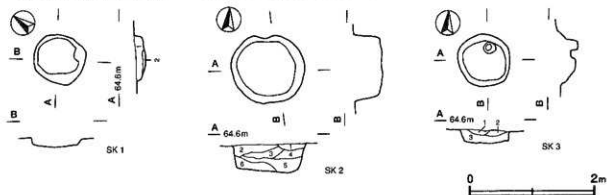
所見 東西方向に延びる構と考えられるが、その他の柱穴は確認されなかった。時期は不明である。



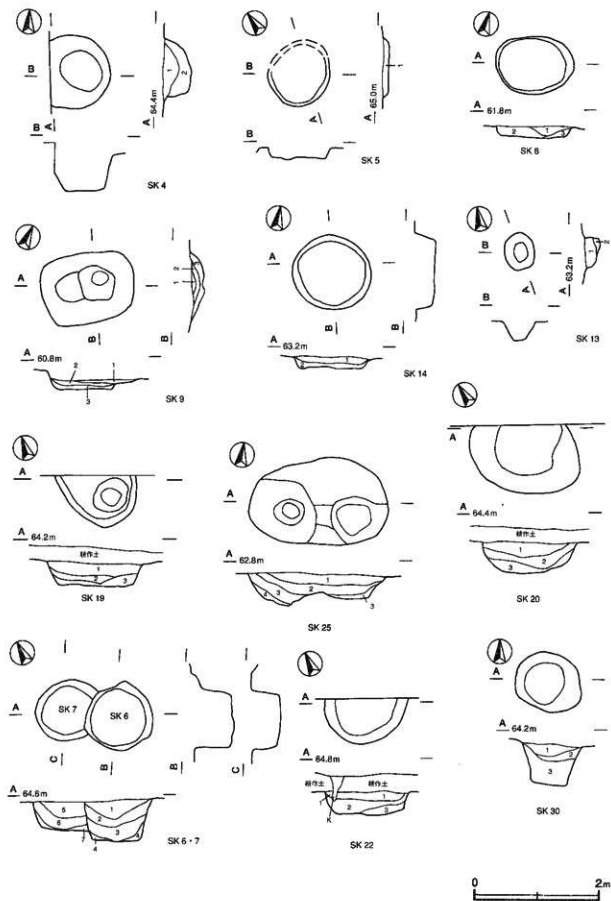
第406図 第8号構跡実測図

(4) 土坑

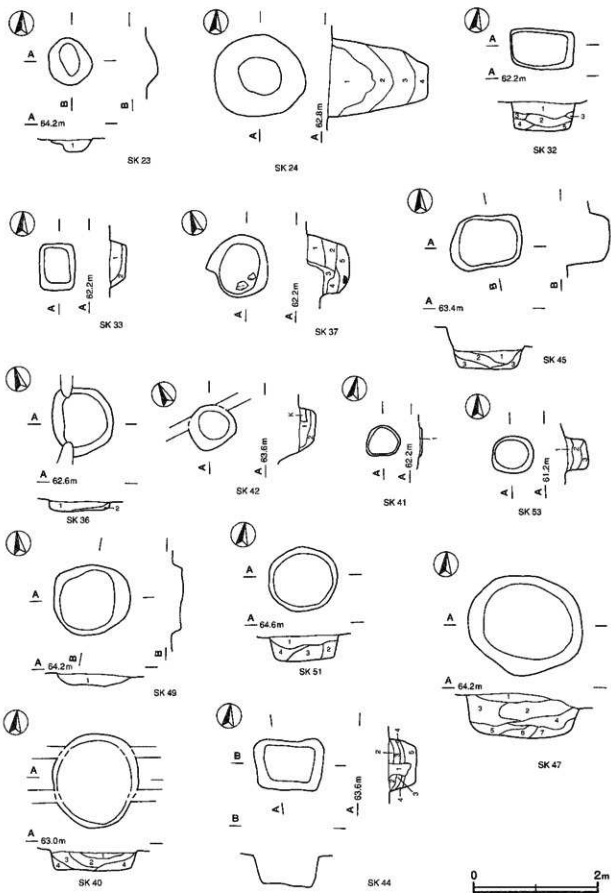
ここでは、時期不明の土坑について実測図と土層解説で記述する。



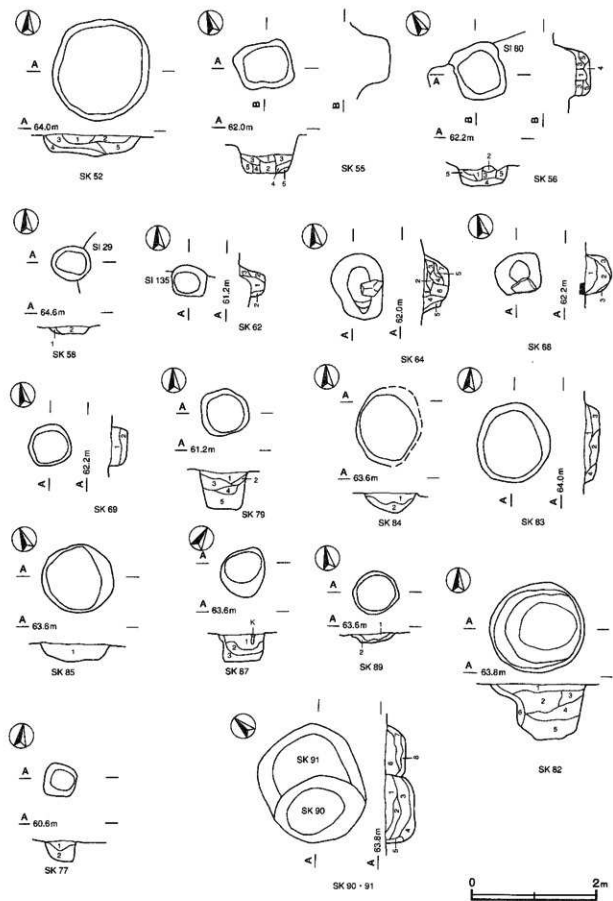
第407図 その他の土坑実測図(1)



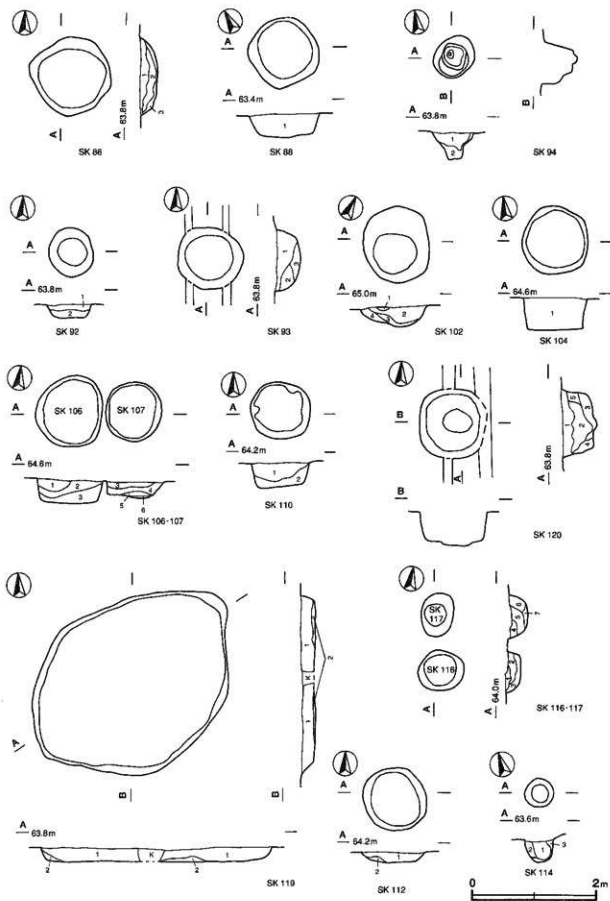
第408図 その他の土坑実測図(2)



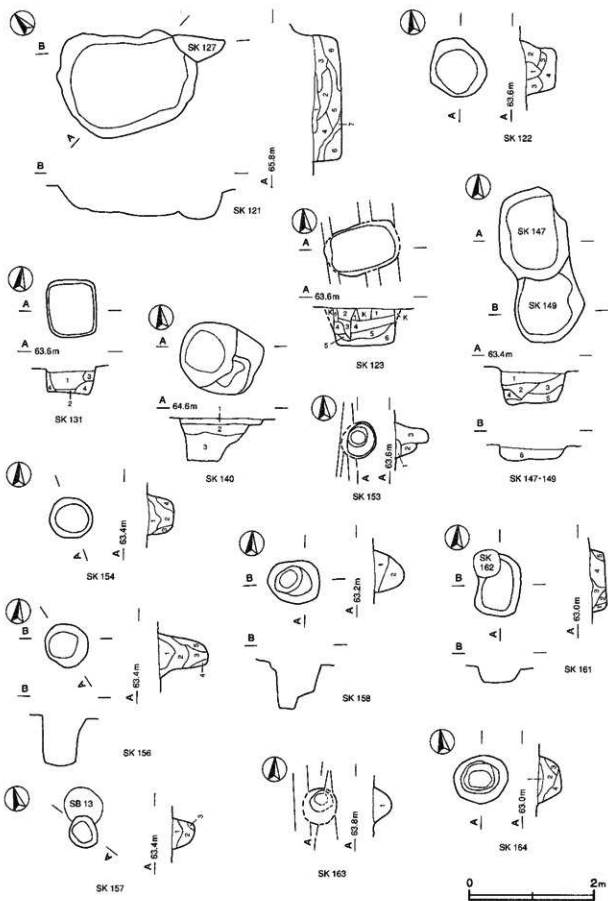
第409図 その他の土坑実測図(3)



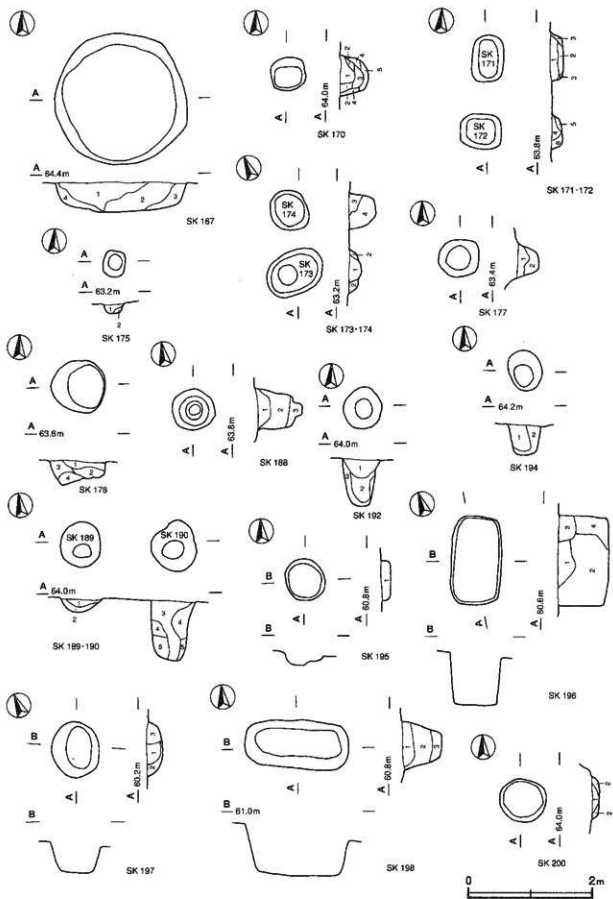
第410図 その他の土坑実測図(4)



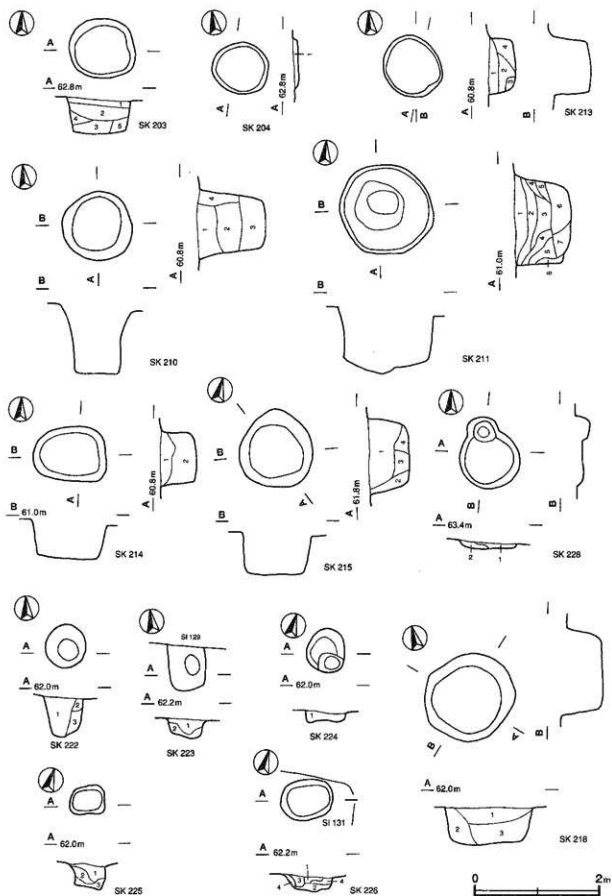
第411図 その他の土坑構実測図(5)



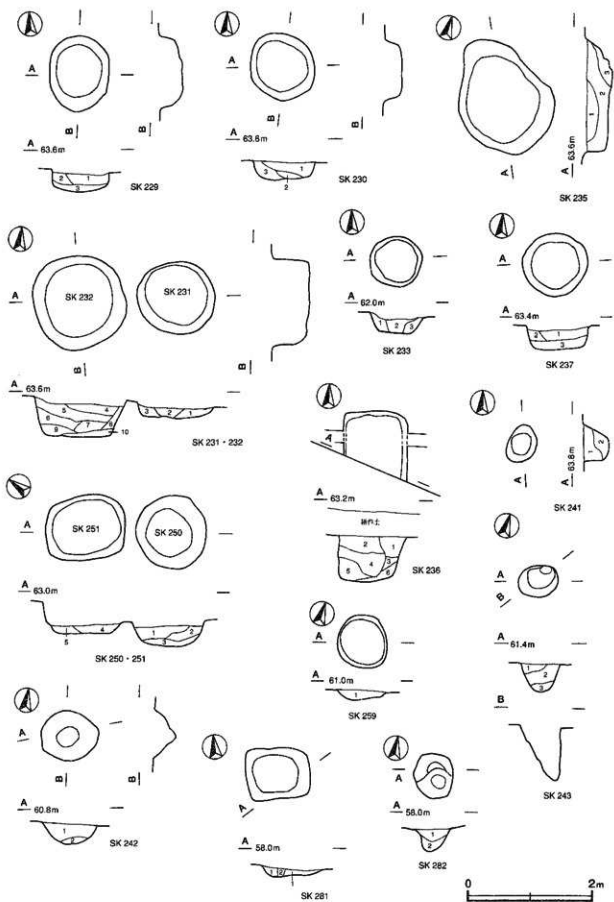
第412図 その他の土坑実測図(6)



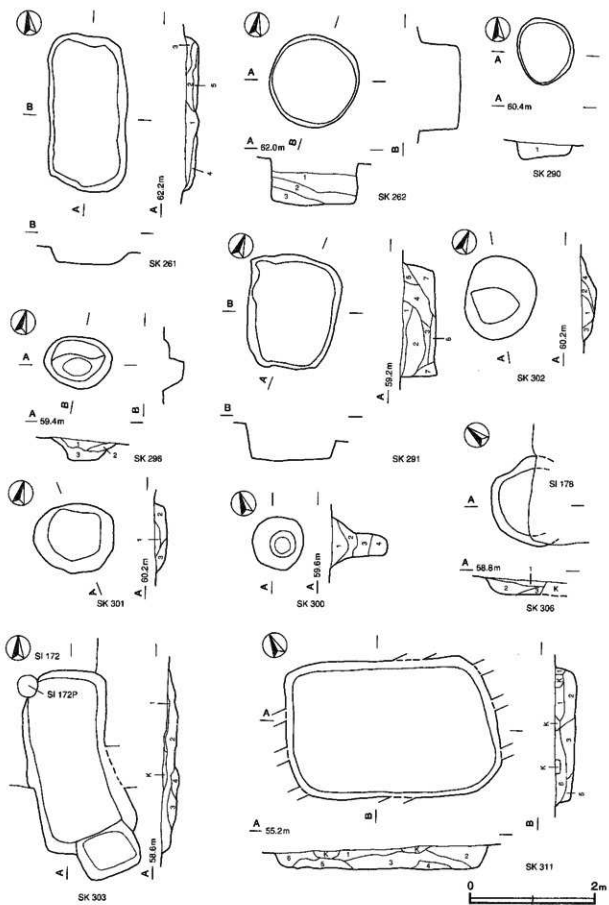
第413図 その他の土坑実測図(7)



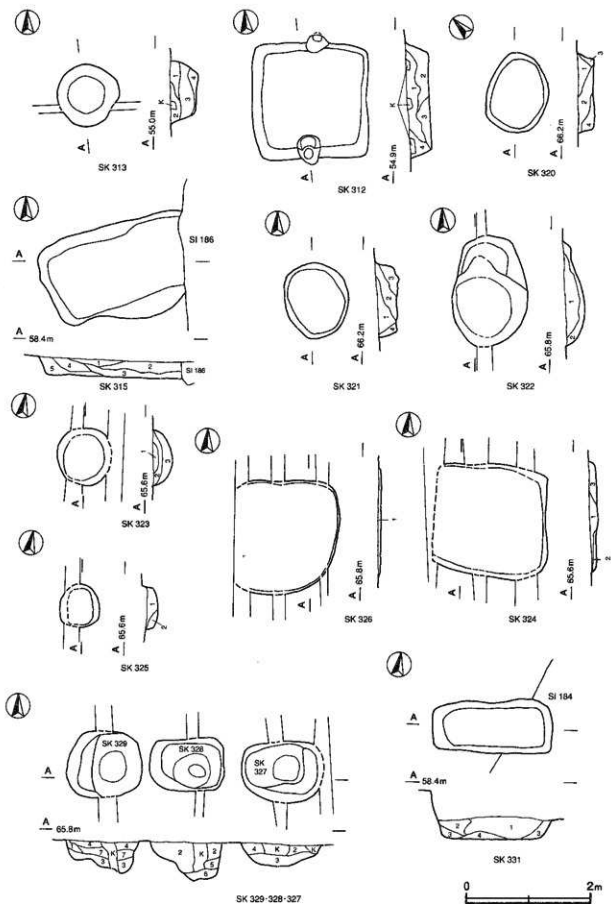
第414図 その他の土坑実測図(6)



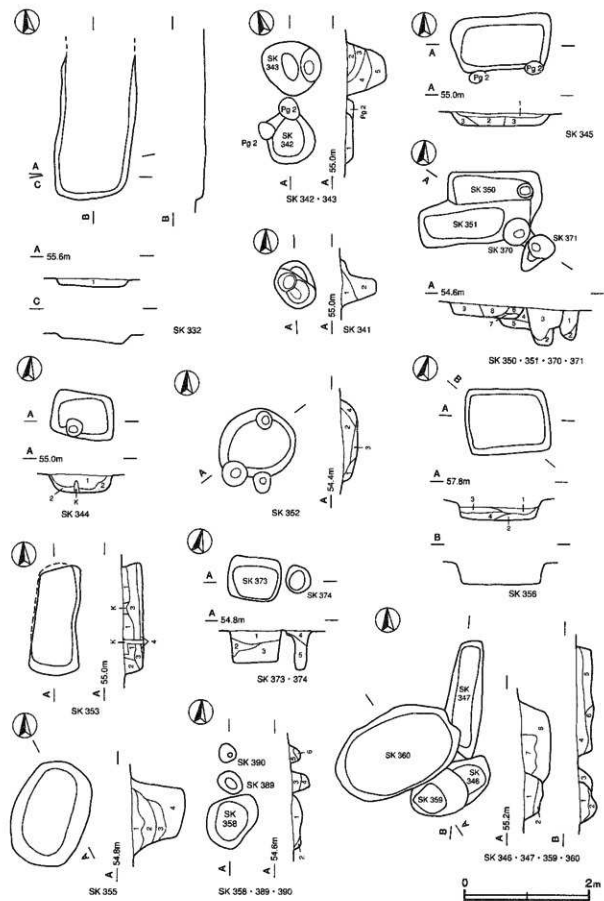
第415図 その他の土坑実測図(9)



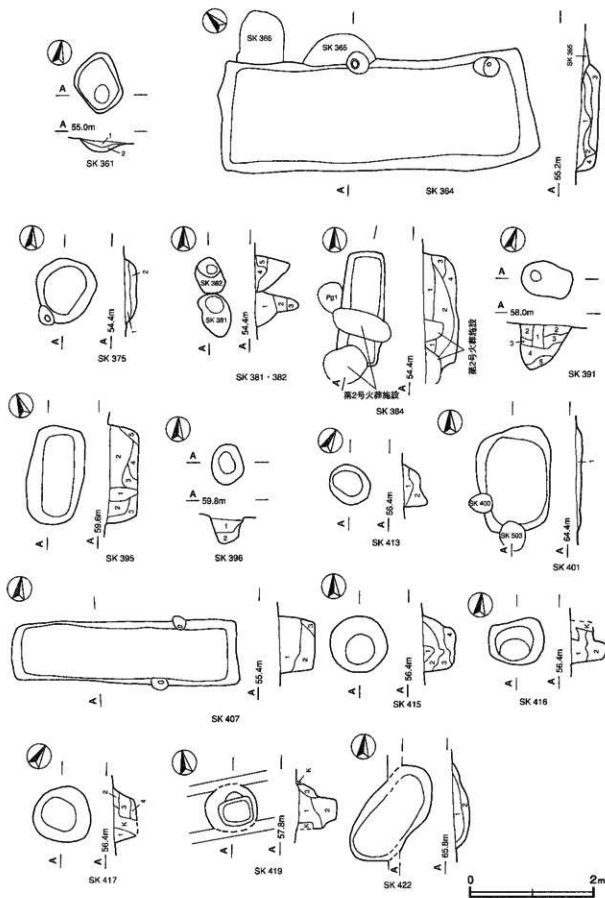
第416図 その他の土坑実測図(10)



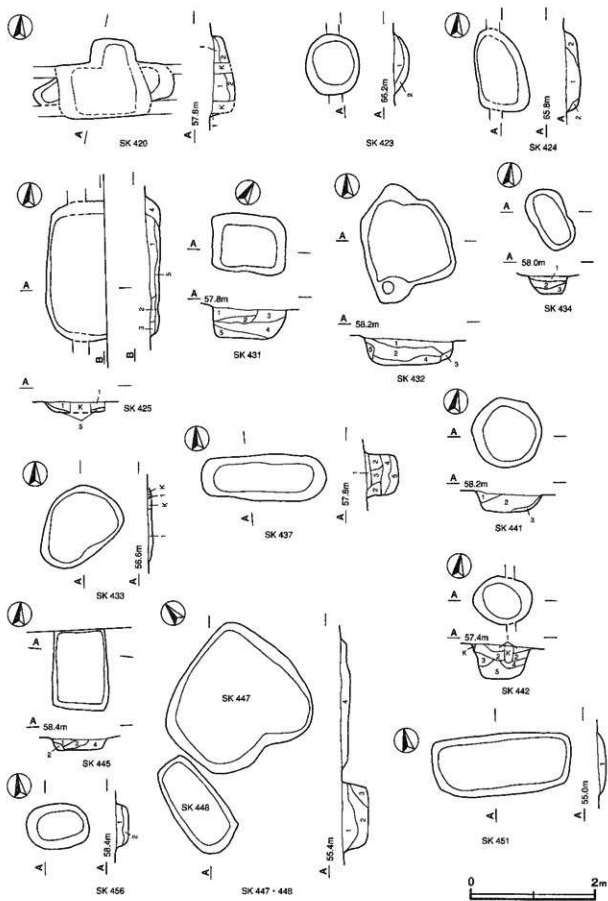
第417図 その他の土坑構実測図(11)



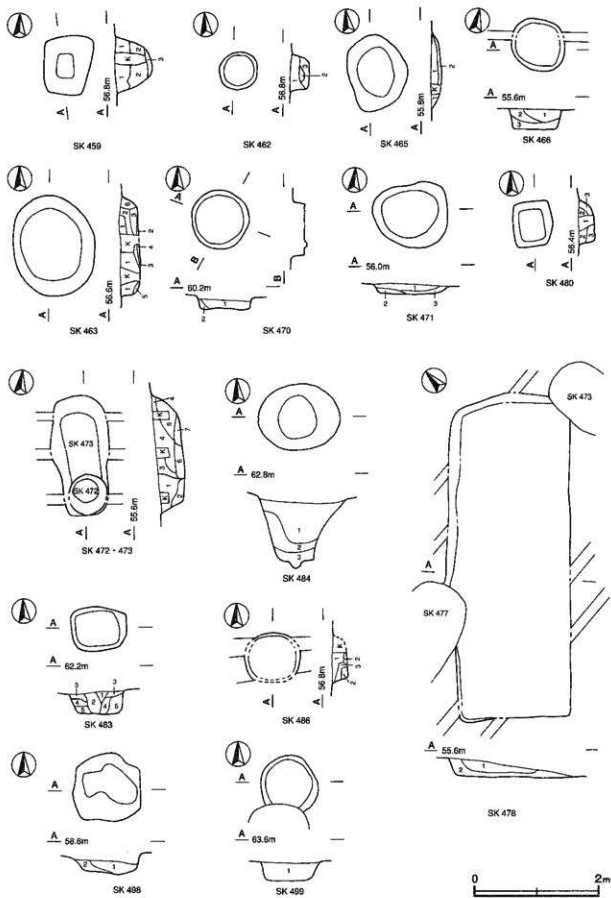
第418図 その他の土坑実測図(12)



第419図 その他の土坑実測図(13)



第420図 その他の土坑実測図(4)



第421図 その他の上坑実測図(15)

その他の土坑十層解説

第1号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量
- 2 明褐色 ローム粒子中量

第2号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量
- 5 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第3号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化物少量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第4号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量、炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

第5号土坑土層解説

- 1 褐色 焼土粒子少量、ローム粒子微量

第6・7号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第8号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

第9号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量

第13号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第14号土坑土層解説

- 1 褐色 赤色粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

第19号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量

第20号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量

第22号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量

第23号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量

第24号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量

第25号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 明褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第30号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック微量

第32号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 にぶい褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ローム粒子・赤色粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子中量

第33号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ローム粒子・赤色粒子微量

第36号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック微量
- 2 黒暗褐色 ローム粒子少量

第37号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・砂質粘土粒子微量
- 4 灰褐色 砂質粘土粒子少量、ロームブロック少量
- 5 褐色 ローム粒子中量

第40号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

第41号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第42号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック微量
- 2 明褐色 ロームブロック・炭化物微量

第44号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 褐色 ロームブロック少量

第45号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子少量

第47号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒下・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック微量
- 7 褐色 ロームブロック微量

第49号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

第51号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量

第52号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 ローム粒子微量

第53号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第55号土坑土層解説

- 1 明褐色 ローム粒子多量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 灰暗褐色 粘土粒子多量、ロームブロック微量
- 5 褐色 ローム粒子多量

第56号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 粘土粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量

第58号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量

第62号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第64号土坑土層解説

- 1 灰褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 灰暗褐色 ローム粒子少量
- 5 褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 ロームブロック微量
- 7 暗褐色 ローム粒子少量

第68号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第69号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子少量、ローム粒子微量

第77号土坑土層解説

- 1 灰暗褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量

第79号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 粘土粒子中量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

第82号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・炭屑・パミス微量
- 6 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量

第83号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第84号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第85号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量

第86号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第87号土坑土層解説

- 1 褐色 粘土粒子多量、ローム粒子少量、炭化物微量
- 2 暗褐色 炭化粒子少量、ロームブロック微量
- 3 明褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第88号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量

第89号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第90・91号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・粘土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子多量
- 6 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子・粘土粒子微量

- 7 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 8 褐 色 ロームブロック中量

第92号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子・粘土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

第93号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微帯
- 3 暗 褐 色 ロームブロック微量

第94号土坑土層解説

- 1 灰 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子少量
- 2 褐 色 ロームブロック少量

第102号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 炭化物中帯、ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少許、炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量

第104号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量

第106・107号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 2 におい黄褐色 ロームブロック中量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 6 褐 色 ローム粒子中量

第110号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土ブロック微帯

第112号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第114号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 褐 色 ロームブロック微量

第116・117号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック微量
- 4 暗 褐 色 ローム粒子少量
- 5 褐 色 ロームブロック少量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 7 黒 褐 色 ロームブロック微量

第119号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量

第120号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック微量

第121号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 5 暗 褐 色 ローム粒子少量
- 6 褐 色 ローム粒子微量
- 7 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微帯

第122号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量
- 2 褐 色 ローム粒子少許
- 3 暗 褐 色 ローム粒子微量
- 4 褐 色 ローム粒子中量

第123号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子・粘土粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック微量、粘性強
- 4 におい黄褐色 ロームブロック微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック少量

第131号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子少量

第140号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微帯
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化物微量
- 3 におい黄褐色 ロームブロック中量

第147・149号土坑土層解説

- 1 灰 褐 色 ローム粒子・炭化粒子・粘土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 3 におい黄褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・粘土粒子微量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック微量

第153号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微帯
- 3 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第154号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 焼土粒子少量、炭化粒子微帯
- 2 褐 色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化物微量
- 3 褐 色 ローム粒子少量
- 4 褐 色 ローム粒子少量、焼土粒子微量

第156号土坑土層解説

- 1 褐 色 焼土粒子・炭化粒子少量、ローム粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化物微量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 明 褐 色 ローム粒子中量
- 5 褐 色 ロームブロック少量

第157号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第158号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量

第161号土坑土層解説

- 1 褐色 焼土粒子・炭化粒子少量、ローム粒を微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒・炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・焼土粒・炭化粒子微量
- 4 明褐色 ローム粒子中量
- 5 褐色 ロームブロック少量

第163号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒を微量

第164号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒を少量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒を微量
- 3 褐色 ローム粒子中量、焼土粒を微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第167号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第170号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 に近い黄褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 に近い黄褐色 ロームブロック中量

第171・172号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量
- 5 褐色 ロームブロック微量
- 6 褐色 ローム粒子多量

第173・174号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒・焼土粒・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒中量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒・炭化粒子少量、焼土粒を微量
- 4 暗褐色 炭化粒子少量、ロームブロック・焼土粒を微量

第175号土坑土層解説

- 1 褐色 炭化物少量、ローム粒を微量
- 2 褐色 ローム粒子・炭化物微量

第177号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒を少量
- 2 褐色 ローム粒子少量

第178号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量、ローム粒・焼土粒を微量
- 2 黒褐色 炭化粒を多量、ローム粒・焼土粒を微量
- 3 暗褐色 ローム粒・炭化粒子少量、焼土粒を微量
- 4 暗褐色 炭化粒子中量、ローム粒を少量、焼土粒を微量

第188号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒中量
- 2 暗褐色 ローム粒を少量
- 3 褐色 ローム粒子微量

第189・190号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック微量
- 5 暗褐色 ローム粒を微量

第192号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒を少量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック微量

第194号土坑土層解説

- 1 明褐色 ローム粒子多量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第195号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第196号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭沼バミス中量、ロームブロック少量
- 2 暗褐色 炭沼バミス多量、ローム粒を少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック・炭沼バミス中量

第197号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒を少量
- 2 暗褐色 ローム粒を少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第198号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭沼バミス微量
- 2 暗褐色 ローム粒・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 炭沼バミス少量、ローム粒を微量

第200号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第203号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 に近い黄褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ローム粒を微量

第204号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒を微量

第210号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒を少量、ロームブロック・焼土粒を微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒を少量、炭沼バミス微量
- 4 暗褐色 ローム粒を少量、炭化粒子少量

第211号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒を少量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒を少量、炭化粒・炭沼バミス微量
- 5 褐色 ローム粒・炭化粒・炭沼バミス微量
- 6 褐色 ロームブロック少量、炭化粒・炭沼バミス微量
- 7 暗褐色 ローム粒・焼土粒を微量
- 8 暗褐色 ローム粒・炭化粒を微量

第213号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒を微量

- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 4 暗 褐 色 ローム粒子微量

第214号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック・炭屑バミス少量

第215号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック少量

第218号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック中量

第222号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・赤色粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第223号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 2 褐 色 ローム粒子多量

第224号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量

第225号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ローム粒子中量

第226号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 明 褐 色 ローム粒子多量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐 色 ローム粒中量

第228号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子少量

第229号土坑土層解説

- 1 に近い黄褐色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック微量

第230号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック微量

第231・232号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 7 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 8 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 9 に近い黄褐色 ロームブロック中量
- 10 褐 色 ローム粒子中量

第233号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒中量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒少量

第235号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒少量
- 3 明 褐 色 ローム粒子中量

第236号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック微量

第237号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック微量

第241号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

第242号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量

第243号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック中量

第250・251号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗 褐 色 焼土ブロック多量、炭化物微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック微量

第259号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子中量

第261号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 4 に近い黄褐色 ロームブロック中量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック少量

第262号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック多量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 明 褐 色 ロームブロック多量

第261号土坑土層解説

- 1 褐 色 ローム粒子多量
- 2 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第282号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量

第290号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量

第291号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量
- 6 褐色 ロームブロック少量
- 7 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第296号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第300号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭屑バミス微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭屑バミス微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子・炭屑バミス微量

第301号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第302号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第303号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子多量, 焼土粒子少量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第306号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

第311号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 灰黄褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 に近い褐色 ロームブロック微量
- 5 に近い褐色 ローム粒子多量
- 6 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量

第312号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第313号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

第315号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック微量

第320号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 4 褐色 ロームブロック微量

第321号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第322号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第323号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第324号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子少量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第325号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ローム粒子多量

第326号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量

第327・328・329号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 6 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 7 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量, 炭化物微量

第331号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第332号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量

第341号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭屑バミス少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭屑バミス少量, 炭化物微量

第342・343号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭屑バミス少量, 炭化物微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭屑バミス少量

- 4 黒 褐 色 ロームブロック・炭沼バミス少量、焼土粒子微量
5 暗 褐 色 ロームブロック中量、炭沼バミス少量

第344号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量、炭沼バミス・炭化物微量
2 褐 色 ロームブロック少量

第345号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量
2 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
3 暗 褐 色 ロームブロック中量

第346・347・359・360号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量
2 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
3 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
4 褐 色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
5 褐 色 ローム粒子少量、炭化物微量
6 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
7 褐 色 ロームブロック中量
8 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭沼バミス微量

第350・351・370・371号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量、炭沼バミス微量
2 黒 褐 色 ローム粒子微量
3 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子・炭沼バミス微量
4 黒 褐 色 ローム粒子・炭沼バミス微量
5 灰 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
6 黒 褐 色 ローム粒子少量
7 暗 褐 色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
8 暗 褐 色 ロームブロック微量
9 暗 褐 色 ロームブロック少量

第352号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量
2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
3 黒 褐 色 ローム粒子微量
4 黒 褐 色 ロームブロック微量

第353号土坑土層解説

- 1 褐 色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
2 明 褐 色 ローム粒子中量
3 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
4 暗 褐 色 ローム粒子少量

第355号土坑土層解説

- 1 汎 褐 色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量
2 汎 褐 色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
3 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
4 褐 色 炭化粒子少量

第356号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
2 褐 色 ロームブロック少量
3 黒 褐 色 ロームブロック微量
4 暗 褐 色 ローム粒子微量

第358・389・390号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
2 暗 褐 色 ローム粒子微量
3 暗 褐 色 ロームブロック少量
4 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
5 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量
6 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量

第361号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭沼バミス少量
2 暗 褐 色 炭沼バミス少量、ロームブロック微量

第364号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
2 褐 色 ロームブロック中量
3 褐 色 ロームブロック少量
4 暗 褐 色 炭化粒子中量

第373・374号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭沼バミス微量
2 暗 褐 色 ロームブロック・炭沼バミス微量
3 暗 褐 色 ロームブロック中量、炭沼バミス微量
4 汎 褐 色 ロームブロック・炭沼バミス微量
5 褐 色 炭沼バミス少量、ローム粒子少量

第375号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量
2 褐 色 ロームブロック少量

第381・382号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量
2 汎 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子・炭沼バミス微量
3 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
4 黒 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量
5 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量
6 汎 褐 色 ロームブロック中量

第384号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子微量
2 褐 色 ローム粒子微量
3 褐 色 ローム粒子中量
4 褐 色 ローム粒子微量、しまり強

第391号土坑土層解説

- 1 汎 褐 色 ローム粒子中量、炭化物微量
2 暗 褐 色 ローム粒子中量
3 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
4 褐 色 炭化粒子少量
5 褐 色 炭化粒子少量

第395号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
2 暗 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
3 褐 色 ローム粒子中量
4 褐 色 ローム粒子・炭化粒子少量
5 汎 褐 色 ローム粒子中量

第396号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
2 褐 色 ロームブロック少量

第401号土坑土層解説

- 1 汎 褐 色 ロームブロック中量、炭化粒子少量

第407号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
2 暗 褐 色 ロームブロック少量、炭沼バミス微量
3 褐 色 ロームブロック少量、炭沼バミス微量

第413号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量、炭化物微量
2 灰 褐 色 ロームブロック中量

第415号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

第416号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック多量

第417号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒了・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第419号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 褐色 ローム粒子多量
- 3 明褐色 ローム粒子多量

第420号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒了少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第422号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第423号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒了、炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第424号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック微量

第425号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒了、炭化物微量

第431号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・粘土粒子微量
- 2 におい質褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ローム粒了中量
- 4 暗褐色 炭化粒子少量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第432号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒了多量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第433号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化物微量

第434号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒了微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第437号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック多量、焼土粒子・炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 明褐色 ローム粒子多量

第441号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量

第442号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量
- 3 明褐色 ローム粒了少量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量

第445号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ローム粒了微量

第447・448号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック中量、泥沼パミス微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、泥沼パミス微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

第451号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量

第456号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第459号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、炭化物微量
- 2 暗褐色 ローム粒了多量、粘土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子中量

第462号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 2 黒褐色 焼土ブロック・炭化物少量、ローム粒子微量
- 3 明褐色 ローム粒子中量

第463号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒了・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 炭化粒子多量
- 6 暗褐色 炭化粒子微量

第465号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第466号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・粘土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量

第470号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子中量

第471号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子・粘土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量

第472・473号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 黒褐色 ロームブロック中量

第478号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第480号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第483号土坑土層解説

- 1 褐色 粘土粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

第484号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子微量

第486号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量

第498号土坑土層解説

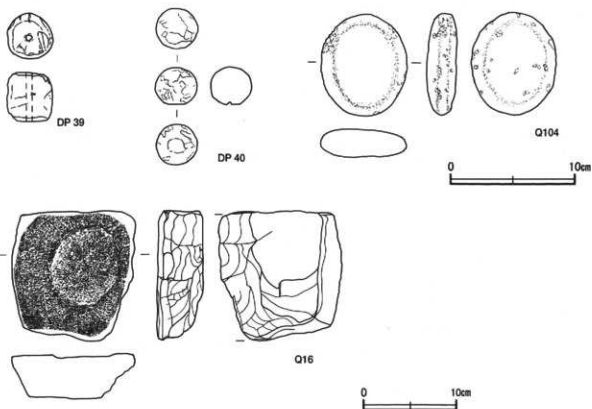
- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量

第499号土坑土層解説

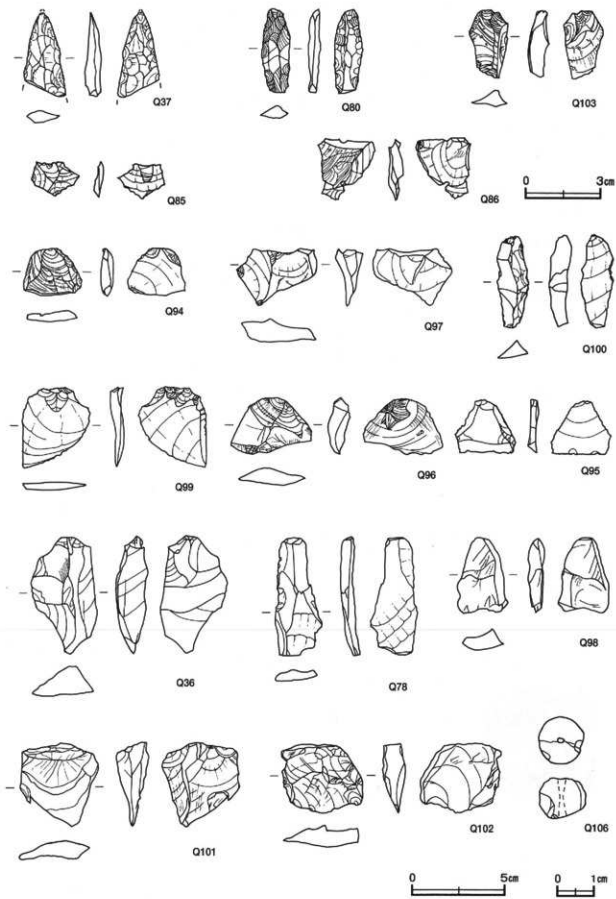
- 1 暗褐色 炭化物少量、ローム粒子微量

(5) 遺構外出土遺物

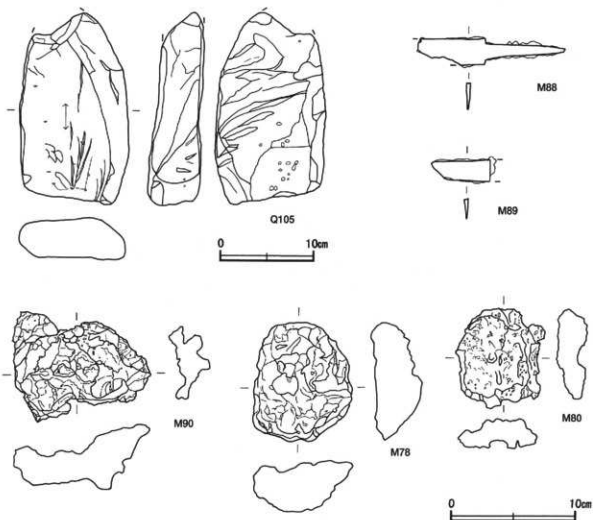
ここでは、その他の時代や時期を特定できない遺物について、観察表で記述する。



第422図 その他の遺構外出土遺物実測図(1)



第423図 その他の遺構外出土遺物実測図(2)



第424図 その他の遺構外出土遺物実測図

その他の遺構外出土遺物観察表 (第422~424図)

| 番号 | 器種 | 直径 | 厚さ | 孔径 | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-----|-----|-----|------|----|----------------|------|-------|
| DF39 | 土鉢 | 3.6 | 3.9 | 0.5 | 60.7 | 土 | 円筒形、孔内にらせん状の刻み | 表採 | PL103 |
| DP40 | 土玉 | 3.3 | - | - | 31.4 | 土 | 穿孔無し、丁寧なナデ | 表採 | PL103 |

| 番号 | 器種 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-----|-------|--------|------|-----------|--------|-------------|----------|-------|
| Q16 | 不明 | 13.7 | (12.9) | 4.80 | (1330.00) | 安山岩 | 平短面に楕円形のくぼみ | 表採 | |
| Q36 | 剥片 | 6.2 | 3.5 | 1.70 | 26.10 | メノウ | 縦長剥片 | SI-18覆土 | PL104 |
| Q37 | 尖頭器 | (3.4) | (1.7) | 0.70 | (2.58) | 安山岩 | 両面調整、柳葉形 | SI-23覆土 | |
| Q78 | 剥片 | 6.3 | 2.5 | 0.90 | 9.80 | 安山岩 | 縦長剥片 | SK-16覆土 | PL104 |
| Q80 | 尖頭器 | 3.3 | 1.1 | 0.45 | 2.18 | チャート | 両面調整 | SK-119覆土 | PL104 |
| Q85 | 剥片 | 1.8 | 1.9 | 0.40 | 0.47 | 黒曜石 | 横長剥片 | SK-360覆土 | |
| Q86 | 剥片 | 2.4 | 2.2 | 0.40 | 1.90 | 黒曜石 | 横長剥片 | SK-407覆土 | |
| Q94 | 剥片 | 3.1 | 2.5 | 0.60 | 5.05 | 灰色チャート | 横長剥片 | SI-37覆土 | |
| Q95 | 剥片 | 2.8 | 3.2 | 0.50 | 4.78 | チャート | 縦長剥片 | SB-16覆土 | |
| Q96 | 剥片 | 3.9 | 5.0 | 1.20 | 8.50 | 黒曜石 | 横長剥片 | 表採 | |
| Q97 | 剥片 | 3.0 | 4.3 | 1.40 | 10.25 | 黄玉岩 | 横長剥片 | SI-170覆土 | 益子産 |
| Q98 | 剥片 | 4.0 | 2.6 | 0.89 | 7.95 | 流紋岩 | 縦長剥片 | 表採 | |

| 番号 | 器種 | 長さ | 幅 | 高さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|-----|--------|------|------|----------|--------|----------------|---------|----|
| Q99 | 銅片 | 4.3 | 3.6 | 0.7 | 6.70 | 鍍銀真鍮 | 鍍銀銅片 | 表採 | |
| Q100 | 石刀カ | 4.9 | 1.7 | 1.1 | 3.95 | メノウ | ときか伏縁 | 表採 | |
| Q101 | 銅片 | 4.4 | 4.1 | 1.80 | 18.20 | 赤色チャート | 横長銅片 | 表採 | |
| Q102 | 銅片 | 3.7 | 4.3 | 1.2 | 17.90 | 灰色チャート | 横長銅片 | 表採 | |
| Q103 | 銅片 | 2.7 | 1.6 | 0.8 | 2.28 | 黒曜石 | 縦長銅片 | SI-29層上 | |
| Q104 | 磨石 | 8.1 | 6.8 | 2.4 | 177.20 | 安山岩 | 表面摩耗 | 表採 | |
| Q105 | 砥石 | (20.5) | 11.6 | 5.8 | (1760.0) | 安山岩 | 砥面に3条・裏面に6条の割み | 表採 | |

| 番号 | 器種 | 直径 | 高さ | 孔径 | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|-----|-----|-----|------|----|----|------|----|
| Q106 | ガラス玉 | 1.2 | 1.1 | 0.2 | 2.22 | - | 緑色 | 表採 | |

| 番号 | 器種 | 長さ | 幅 | 高さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-----|--------|-------|---------|----------|-----|---------------------|----------|-------|
| M78 | 輪状洋 | 9.6 | 7.9 | 4.1 | 310.00 | 紫鉄鉱 | 紫磁片強、焼上付著 | SK-124層上 | PL105 |
| M80 | 鉄洋 | 8.0 | 7.1 | 2.5 | 146.70 | 砂鉄他 | 紫磁片弱 | SK-319層上 | PL105 |
| M88 | 刀子 | (11.9) | 2.2 | 0.2-0.4 | (261.00) | 鉄 | 刀身断面三角形、基部長方形、先端削欠損 | SK-463層上 | |
| M89 | 刀子 | (4.8) | (1.9) | 0.3 | (7.90) | 鉄 | 刀身断面三角形、基部欠損 | SK-463層上 | |
| M90 | 輪状洋 | 11.0 | 9.35 | 5.2 | 330.00 | 砂鉄他 | 紫磁片弱、紫磁片著 | SK-474層上 | |

表2 堅穴住居跡一覧表

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 規模(m) (長軸×短軸) | 高さ (cm) | 床向 | 壁構 | 内部施設 | | 出土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 (計→詳) |
|----|-------|---------|-----|------------------|------------|----|----|------|----|----|---------------------|---------|-------------------------------|
| | | | | | | | | 土間 | 土間 | | | | |
| 1 | J156d | N-12°-E | 方形 | 3.2×3.0 | 10-13 | 平坦 | 一部 | - | - | 竈 | (1) 自然土師器(灰台付筒、灰、壺) | 10世紀前半 | |
| 2 | J156b | N-22°-E | 長方形 | 3.6×3.0 | 15-28 | 平坦 | - | 4 | - | 竈 | - 自然須恵器(杯、壺) | 9世紀前半 | 本跡→SD-1SK-5 |
| 3 | J156e | N-90°-E | 長方形 | 3.2×2.8 | 10-16 | 平坦 | - | - | - | 竈 | (1) 自然土師器(杯、壺) 刀子 | 9末-10前半 | 本跡→SD-1 |
| 4 | J156g | N-5°-E | 長方形 | 2.7×(2.3) | 8-16 | 平坦 | - | 1 | - | 竈 | - 自然土師器(高台付筒、壺) | 10世紀 | |
| 5 | K17g1 | N-95°-E | 長方形 | 4.3×3.7 | 10-18 | 平坦 | 一部 | 1 | 1 | 竈 | - 人為土師器(灰、壺) 須恵器 | 11世紀前半 | SI17-14G、SI2-1-1等 |
| 6 | J156h | N-2°-W | 長方形 | 4.6×3.8 | 35-47 | 平坦 | 全周 | 4 | 1 | 竈 | - 人為須恵器(杯) | 8世紀後半 | 本跡→SD-1SK-30-310 |
| 7 | J156f | N-92°-E | 長方形 | 3.7×2.9 | 20-28 | 平坦 | - | 1 | 2 | 竈 | - 人為土師器(杯、壺) 砥石 | 9世紀 | 本跡→SD-1SK-30-310 |
| 8 | K156h | N-2°-E | 長方形 | 3.1×(3.1) | 22-28 | 平坦 | 一部 | - | - | 竈 | - 人為土師器(壺) | 9世紀前半 | |
| 9 | K156d | N-87°-E | 長方形 | 3.2×2.9 | 19-35 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 人為土師器(壺) | 10世紀後半 | SI10-1本跡 SK108と重複 |
| 10 | K156b | N-4°-W | 方形 | 4.9×4.6 | 42-64 | 平坦 | 全周 | 4 | 1 | 竈 | - 人為土師器(杯、須恵器) | 8世紀前半 | 本跡→SI、SK12 |
| 11 | K156c | N-2°-W | 方形 | 2.2×2.1 | 4-14 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 自然土師器(杯、高台付筒) | 10世紀前半 | 本跡→SD-1SK15、SK17 |
| 12 | K16c1 | N-90°-E | 方形 | 2.7×2.6 | 8-11 | 凹凸 | - | - | - | 竈 | - 人為土師器(杯、須恵器) | 10世紀後半 | |
| 13 | K156f | N-78°-W | 方形 | 3.7×3.6 | 10-30 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 人為土師器(杯、須恵器) | 平安時代 | |
| 14 | K156e | N-96°-E | 長方形 | 3.5×3.0 | 2-21 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 自然土師器(須恵器) | 10世紀後半 | 本跡→SK81SK103 |
| 15 | K156g | N-90°-E | 長方形 | 3.0×(2.1) | 15-20 | 平坦 | - | - | 1 | 竈 | - 自然土師器(杯、壺) | 10世紀 | SI-108と本跡 SK108と重複 |
| 16 | K156d | N-4°-W | 長方形 | 4.2×(3.3) | 20-21 | 凹凸 | - | - | - | 竈 | - 自然土師器(杯、須恵器) | 9世紀前半 | 本跡→SI、SK108と重複 |
| 17 | K156g | N-0° | 方形 | (2.6)×不明 | 6-18 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 自然土師器(灰台付筒、須恵器) | 10前半 | SI16、17、140、 SK100-本跡→SI18 |
| 18 | K139b | N-3°-E | 方形 | 3.3×(3.0) | 12-28 | 凹凸 | - | - | - | 竈 | - 人為土師器(杯、壺、須恵器) | 10世紀後半 | SI16、17、140、 SK100-本跡→SK81 |
| 19 | K150 | N-4°-W | 方形 | (4.1)×(1.8) | 22-45 | 凹凸 | 一部 | - | - | 竈 | - 人為土師器(須恵器) | 8世紀後半 | SI-112と重複 |
| 20 | J16d4 | N-20°-W | 方形 | 3.8×3.7 | 10-25 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 自然土師器(杯、壺) | 6世紀前半 | |
| 21 | J16c2 | N-85°-E | 長方形 | 3.3×3.0 | 2-6 | 平坦 | - | - | - | 竈 | - 自然須恵器(壺) | 9世紀前半 | 本跡→SI22、SK511 |
| 22 | J16e2 | N-91°-E | 長方形 | 3.8×2.8 | 12-25 | 平坦 | - | 3 | 1 | 竈 | - 自然土師器(壺、壺) | 10世紀前半 | SI21-1本跡 |

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 縦横 (m) (長軸×短軸) | 壁高 (cm) | 床面 | 取溝 | 内部施設 | | | | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 (旧一考) | | |
|-----|-------|----------|------------|-------------------|------------|----|----|------|----|----|-------|----|--------|---|----------------------------|---|---------------------------|
| | | | | | | | | 三次元 | 出入 | 入り | 出 | | | | | | |
| 23 | J165 | N-3°-E | 方形 | 3.4 × 5.2 | 28-34 | 平坦 | 部 | 4 | 2 | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (環、須恵器 (灰、黄、赤、黒) 磁石、滑石、磁石) | 8世紀前半 | SI-24→本跡 | |
| 24 | J166 | N-4°-E | 方形 [方形] | 3.0 × (2.8) | 8-14 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 人為 | 磁石 | 8世紀 | 本跡→SI-23、139 | |
| 25 | J163 | N-0° | 方形 | 4.7 × 4.3 | 21-31 | 平坦 | 全周 | 5 | 2 | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (環、黄、高坏須恵器 (黄、灰、赤)) | 6世紀中葉 | | |
| 26 | J160 | N-3°-E | 方形 | 3.2 × 3.0 | 26-42 | 平坦 | 一部 | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (黄) 須恵器 (磁石) | 9世紀 | | |
| 27 | J164 | N-8°-E | 長方形 | 2.8 × 2.5 | 8-12 | 平坦 | - | 2 | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗、須恵器 (黄、赤、黒)) | 9世紀-10前半 | SK-140→本跡 | |
| 28 | J16h3 | N-81°-E | 長方形 | 3.8 × 3.0 | 12-26 | 凹凸 | - | - | - | 2 | 竈 | - | 自然 | 土師器 (蓋、甕) | 10世紀後半 | SI-30、150→本跡 | |
| 29 | J16h2 | N-91°-E | 長方形 | 3.0 × 2.6 | 15-23 | 平坦 | 部 | 1 | - | 2 | 竈 | - | 自然 | 土師器 (甕) 土製紡錘車 | 10世紀後半 | SI-30→本跡→SK-58 | |
| 30 | J16h3 | N-11°-W | [方形] | 5.3 × (5.2) | 8-10 | 平坦 | - | - | - | 2 | 竈 | - | 人為 | 土師器 (環、耳) 須恵器 (黄) 石製紡錘車 磁石 | 6世紀中葉 | SK-208→本跡→SI-28、29、31、150 | |
| 31 | J161 | N-90°-E | 長方形 | 4.0 × 3.3 | 20-25 | 凹凸 | 一部 | 1 | 1 | - | 竈2 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗、甕) | 10世紀後半 | SI-30、32→本跡 | |
| 32 | J163 | N-5°-W | 方形 | 4.0 × 3.9 | 31-42 | 平坦 | 全周 | 4 | 1 | 1 | 竈 | - | 自然 | 土師器 (甕) 須恵器 (灰) 土製紡錘車 | 8世紀後半 | 本跡→SI-31 | |
| 33 | K16a2 | N-3°-W | 方形 | 3.8 × 3.7 | 17-33 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 人為 | 土師器 (高台付碗) 須恵器 (灰、赤、黒) | 10世紀末 | SI-34、79、83、90→本跡 | |
| 34 | K16a2 | N-1°-W | 方形 | 3.6 × 3.6 | 28-30 | 平坦 | - | - | - | 1 | 1 | 竈 | - | 人為 | 土師器 (高台付碗) 須恵器 (灰) 石製紡錘車 刀 | 9世紀中葉 | SI-90→本跡→SI-33、79、83 |
| 35 | K16a3 | N-87°-E | 方形 | 3.3 × 3.3 | 14-18 | 平坦 | - | - | - | 1 | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 引手 板状押 | 10世紀後半 | |
| 36 | K16b4 | N-0° | 方形 | 5.8 × 5.6 | 20-33 | 平坦 | 一部 | 4 | 1 | 7 | 竈 | 1 | 自然 | 土師器 (甕、甕) 土製紡錘車 土製支脚 土師器 (環、黄、高坏須恵器 (灰、赤、黒)) 磁石 | 6世紀中葉 | 本跡→SD-5K-47 | |
| 37 | K16e5 | N-12°-E | 方形 | 6.6 × 6.3 | 28-58 | 平坦 | 全周 | 4 | 1 | 7 | 竈 | - | 人為 | 土師器 (灰、黄、赤) 灰土 (灰) 刀 | 10世紀前半 | 本跡→SK-93、113 | |
| 38 | K16d4 | N-8°-E | 長方形 | 3.5 × 2.7 | 20-29 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 磁石 | 10世紀後半 | SI-146→本跡 | |
| 39 | K16e3 | N-0° | 長方形 | 2.8 × 2.1 | 12-15 | 凹凸 | - | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (甕) 磁石 | 10世紀前半 | | |
| 40 | K16d2 | N-90°-E | [方形] 凸凹 | 3.9 × 3.6 | 23-32 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 人為 | 土師器 (環) 須恵器 (黄) 磁石 | 8世紀中葉 | SK-181→本跡→SI-34、SK-124、129、SI-115→本跡→SK-142 | |
| 41 | K16j2 | N-6°-E | [長方形] | 3.9 × 3.2 | 30-31 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗、甕) 土製打 磁石 須恵器 | 11世紀前半 | | |
| 42 | K17h5 | N-93°-E | 長方形 | 5.3 × 3.4 | 13-21 | 平坦 | 部 | - | - | 3 | 竈 | - | 自然 | 須恵器 (甕) | 9世紀後半 | SI-91→本跡 | |
| 43A | J16h7 | N-16°-E | 方形 | 8.6 × 8.0 | 33-63 | 平坦 | 全周 | 4 | 2 | 9 | 竈 | - | 自然 | 須恵器 (高台付碗、甕) 土製打 磁石 須恵器 | 7世紀後半 | SI-43B→本跡→SI-4 | |
| 43B | J16h7 | N-16°-E | 方形 | 6.0 × 5.9 | - | 平坦 | 全周 | 4 | 2 | - | - | - | 人為 | 銅網 | 7世紀前半 | 本跡→SI-43A | |
| 44 | K17d8 | N-95°-E | [長方形] | (3.1) × 2.8 | 1-13 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) | 10世紀前半 | SI-9、10→本跡 | |
| 45 | K16f3 | N-0° | 長方形 | 2.9 × 2.6 | 9-14 | 凹凸 | - | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (環) | 10世紀前半 | SI-142→本跡 | |
| 46 | J16f5 | N-94°-E | 長方形 | 2.8 × 1.8 | 10-19 | 凹凸 | - | 1 | - | - | 竈 (1) | - | 自然 | 土師器 (甕、甕) | 10世紀前半 | | |
| 47 | K16d7 | N-107°-E | [長方形] | 4.3 × 3.1 | 17-34 | 凹凸 | - | 1 | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (環、高台付碗、甕) | 11世紀前半 | SI-49→本跡→SK-122、123 | |
| 48 | K16c7 | N-90°-W | 長方形 | 4.4 × 3.1 | 29-36 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (環、高台付碗) 管状土師 瓦 | 10世紀後半 | 本跡→SK-170、188、200 | |
| 49 | K16d8 | N-98°-E | 長方形 | 4.0 × 2.5 | 11-20 | 凹凸 | - | 1 | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (環) 磁石 | 10世紀 | SI-97→本跡→SI-47 SK-29、29と重畳 | |
| 50 | J16f9 | N-78°-E | [方形] 凸凹 | (2.7 × 2.3) | 23-62 | 平坦 | 一部 | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器 (環、手取土師) | 6世紀中葉 | 本跡→SI-63、SK-23 | |
| 51 | J16f0 | N-86°-E | [長方形] | 4.2 × (3.6) | 18-26 | 平坦 | 部 | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 灰土 (瓦) | 10世紀後半 | SI-52→本跡→SI-152 | |
| 52 | J16f0 | N-10°-W | 方形 | 6.0 × 5.5 | 24-31 | 平坦 | 一部 | 2 | 2 | 8 | - | - | 自然 | 土師器 (環、陶) 耳環 | 8世紀後半 | 本跡→SI-31、132、5B、11、SK-241 | |
| 53 | J17h2 | N-13°-W | 方形 | 6.4 × 5.6 | 31-57 | 平坦 | 全周 | 4 | 1 | 2 | 竈 | - | 人為 | 土師器 (環、黄、赤) 磁石 | 7世紀中葉 | 本跡→SI-54、56 | |
| 54 | J17f1 | N-90°-E | [長方形] | 4.1 × 3.7 | 12 | 平坦 | 部 | - | - | - | 竈 (1) | - | 自然 | 須恵器 (甕、高台付碗、瓦) | 9世紀 | SI-53、SD-11、SK-279→本跡 | |
| 55 | J17f3 | N-100°-E | 長方形 | 3.4 × 3.0 | 15-25 | 平坦 | 部 | - | - | 2 | 竈 | - | 自然 | 土師器 (灰、高台付碗、瓦) | 10世紀後半 | SI-95、91B→本跡 SK-132、直筒、SI-53、5B、13→ | |
| 56 | J17h3 | N-7°-E | 長方形 | 4.3 × 3.3 | 13-17 | 平坦 | 全周 | 1 | - | 1 | 竈 | - | 自然 | 須恵器 (高台付碗) | 9後半-10前半 | 本跡→SI-55 | |
| 57 | J17f3 | N-11°-E | [方形] 凸凹 | 3.1 × (2.8) | 10-14 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器 (環、陶) 須恵器 (灰、黄、赤) 磁石 | 10世紀後半 | 本跡→SI-74、SK-177 | |
| 58 | K17a3 | N-85°-E | 長方形 | 3.9 × 2.6 | 29-32 | 平坦 | 一部 | 1 | 1 | 2 | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 瓦 | 11世紀前半 | SI-59→本跡 | |
| 59 | K17a3 | N-81°-E | 長方形 | 3.9 × (2.2) | 21-25 | 平坦 | 部 | 3 | - | - | 竈 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 瓦 | 10世紀後半 | SI-60、62→本跡→SI-59 | |
| 60 | K17a4 | N-98°-E | 長方形 | 3.4 × 3.0 | 16-21 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | - | 人為 | 土師器 (環、高台付碗) 須恵器 (瓦) | 9末-10前半 | 本跡→SI-59、74→本跡→SI-59 | |
| 61 | J17f4 | N-93°-E | 長方形 | 3.8 × 3.4 | 10-19 | 平坦 | - | - | - | 2 | 1 | 竈 | - | 人為 | 土師器 (高台付碗) 須恵器 (灰、黄、赤) 磁石 | 9世紀後半 | SI-62→本跡→SI-60、5B、7、SK-73 |
| 62 | K17a4 | N-7°-E | 方形 | 6.0 × 5.9 | 23-35 | 平坦 | 全周 | 3 | 1 | 5 | 竈 | - | 人為 | 土師器 (環、黄、赤、黒) 磁石 | 6世紀後半 | 本跡→SI-59、60、61、SK-515、516 | |

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 規模 (m) 長×幅×壁高 | 壁高 (cm) | 床面 | 壁構 | 内部施設 | | | | 覆土 | 主な出土物 | 時期 | 備考 (引一筋) | |
|----|-------|----------|------------|------------------|------------|----|----|------|----|----|-------|----|-------------------------------|-----------|---|-----------|
| | | | | | | | | 土台 | 土口 | 土口 | 扉・窓 | | | | | |
| 63 | K1764 | N-10°-W | [方形] | 4.0 × 3.7 | 20-24 | 平坦 | 一部 | - | 1 | 1 | 竈 | 人為 | 土師器 (灰、黄、赤褐色、 灰、高台付皿、銅線、瓦) | 9世紀後半 | 本跡→SD-3SK-284 | |
| 64 | K1765 | N-90°-E | 方形 | 3.3 × 3.2 | 16-28 | 平坦 | 全周 | 2 | - | - | 竈 | 自然 | 土師器 (灰) | 9世紀後半 | SI-71→本跡 | |
| 65 | J160 | N-82°-W | 方形 [方形] | 2.1 × 0.9 | 5~70 | 平坦 | - | - | - | - | 竈 | 自然 | 土師器 (皿) | 10後半-11前半 | SI-50→本跡 | |
| 66 | K1771 | N-103°-E | 方形 | 3.5 × 3.3 | 25-30 | 平坦 | - | 1 | - | - | 竈 | 自然 | 土師器 (灰、高台付皿、 瓦) | 10世紀前半 | SI-145SB-23K-66→ 本跡→SK-72 | |
| 67 | K1772 | N-16°-E | 方形 | 4.3 × 4.2 | 8-15 | 凹凸 | - | 1 | - | 6 | 竈 | 1 | 自然 | 土師器 (皿) | 10世紀後半 | SI-145→本跡 |
| 68 | K1762 | N-18°-E | 長方形 | 5.4 × 4.6 | 18-29 | 平坦 | 一部 | - | 1 | 竈 | - | 自然 | 土師器 (灰、黄、赤褐色) | 9世紀後半 | 本跡→SK-250-251 | |
| 69 | K1760 | N-4°-E | 方形 [方形] | 5.2 × (3.2) | 5~7 | 平坦 | 一部 | 1 | - | 1 | - | 人為 | 土師器 (灰) | 8世紀 | 本跡→SI-70-72SD-3 | |
| 70 | K1745 | N-8°-W | 方形 [方形] | 4.7 × (2.6) | 17-26 | 平坦 | 一部 | - | - | - | - | 人為 | - | 9世紀 | SI-69-71→本跡 →SI-72SD-3 | |
| 71 | K1765 | N-15°-W | 方形 [方形] | 3.1 × (3.0) | 25 | 平坦 | 一部 | 2 | - | - | - | 人為 | - | 平安時代 | 本跡→SI-61-70-72、SD-3 | |
| 72 | K1746 | N-90°-E | 長方形 | 4.3(3) × (3.3) | 6-15 | 凹凸 | - | 2 | 1 | 2 | 竈 | 人為 | 土師器 (灰、高台付皿、 瓦) | 10後半-11前半 | SI-69-70、71→ 本跡→SD-3 | |
| 73 | K1746 | N-90°-E | 長方形 | 4.2 × 3.6 | 11~17 | 平坦 | 全周 | 1 | - | 1 | 竈 (1) | 自然 | 土師器 (灰、高台付皿、 瓦) | 11世紀 | - | |
| 74 | J173 | N-98°-W | 長方形 | 3.4 × 3.0 | 18-26 | 平坦 | 一部 | - | 1 | 2 | 竈 | 人為 | 土師器 (灰、高台付皿、 瓦、銅線) | 11世紀 | SI-57、60→本跡 →SK-276 | |
| 75 | J177 | - | 不明 | (1.7 × 1.1) | - | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | - | 奈良時代 | SI-78と重複 | |
| 76 | K1749 | N-11°-E | 長方形 | 3.8 × 2.7 | 10-12 | 平坦 | - | - | - | 1 | 竈 | 人為 | 土師器 (皿、黄) | 11世紀前半 | SI-79→本跡→ SK-90 | |
| 77 | L176 | N-16°-E | 方形 [方形] | 3.8 × (0.9) | 20-33 | 平坦 | - | 1 | - | - | 竈 | 人為 | 土師器 (高台付皿、 皿) | 10世紀後半 | - | |
| 78 | K1748 | N-10°-W | 方形 | 7.0 × 6.7 | 10-60 | 平坦 | 全周 | 4 | - | 2 | 扉 | 自然 | 土師器 (灰、高台付皿、 瓦、銅線、瓦) | 8世紀中葉 | SI-1-4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、244、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260、261、262、263、264、265、266、267、268、269、270、271、272、273、274、275、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、287、288、289、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、304、305、306、307、308、309、310、311、312、313、314、315、316、317、318、319、320、321、322、323、324、325、326、327、328、329、330、331、332、333、334、335、336、337、338、339、340、341、342、343、344、345、346、347、348、349、350、351、352、353、354、355、356、357、358、359、360、361、362、363、364、365、366、367、368、369、370、371、372、373、374、375、376、377、378、379、380、381、382、383、384、385、386、387、388、389、390、391、392、393、394、395、396、397、398、399、400、401、402、403、404、405、406、407、408、409、410、411、412、413、414、415、416、417、418、419、420、421、422、423、424、425、426、427、428、429、430、431、432、433、434、435、436、437、438、439、440、441、442、443、444、445、446、447、448、449、450、451、452、453、454、455、456、457、458、459、460、461、462、463、464、465、466、467、468、469、470、471、472、473、474、475、476、477、478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496、497、498、499、500、501、502、503、504、505、506、507、508、509、510、511、512、513、514、515、516、517、518、519、520、521、522、523、524、525、526、527、528、529、530、531、532、533、534、535、536、537、538、539、540、541、542、543、544、545、546、547、548、549、550、551、552、553、554、555、556、557、558、559、560、561、562、563、564、565、566、567、568、569、570、571、572、573、574、575、576、577、578、579、580、581、582、583、584、585、586、587、588、589、590、591、592、593、594、595、596、597、598、599、600、601、602、603、604、605、606、607、608、609、610、611、612、613、614、615、616、617、618、619、620、621、622、623、624、625、626、627、628、629、630、631、632、633、634、635、636、637、638、639、640、641、642、643、644、645、646、647、648、649、650、651、652、653、654、655、656、657、658、659、660、661、662、663、664、665、666、667、668、669、670、671、672、673、674、675、676、677、678、679、680、681、682、683、684、685、686、687、688、689、690、691、692、693、694、695、696、697、698、699、700、701、702、703、704、705、706、707、708、709、710、711、712、713、714、715、716、717、718、719、720、721、722、723、724、725、726、727、728、729、730、731、732、733、734、735、736、737、738、739、740、741、742、743、744、745、746、747、748、749、750、751、752、753、754、755、756、757、758、759、760、761、762、763、764、765、766、767、768、769、770、771、772、773、774、775、776、777、778、779、780、781、782、783、784、785、786、787、788、789、790、791、792、793、794、795、796、797、798、799、800、801、802、803、804、805、806、807、808、809、810、811、812、813、814、815、816、817、818、819、820、821、822、823、824、825、826、827、828、829、830、831、832、833、834、835、836、837、838、839、840、841、842、843、844、845、846、847、848、849、850、851、852、853、854、855、856、857、858、859、860、861、862、863、864、865、866、867、868、869、870、871、872、873、874、875、876、877、878、879、880、881、882、883、884、885、886、887、888、889、890、891、892、893、894、895、896、897、898、899、900、901、902、903、904、905、906、907、908、909、910、911、912、913、914、915、916、917、918、919、920、921、922、923、924、925、926、927、928、929、930、931、932、933、934、935、936、937、938、939、940、941、942、943、944、945、946、947、948、949、950、951、952、953、954、955、956、957、958、959、960、961、962、963、964、965、966、967、968、969、970、971、972、973、974、975、976、977、978、979、980、981、982、983、984、985、986、987、988、989、990、991、992、993、994、995、996、997、998、999、1000 | |

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 縦横 (m) | 高さ (cm) | 床面 | 壁面 | 内部施設 | | | | | | 階十 | 主要出土遺物 | 時期 | 備考 (H→S) | |
|-----|-------|----------|-------------|-----------|---------|----|----|------|----|----|----|----|---|----|----------------------|-----------------------------|--------------|---------------------------------------|
| | | | | | | | | 柱礎 | 土間 | 土台 | 石室 | 石段 | 瓦 | | | | | |
| 103 | K1747 | N-78°-E | 長方形 | 4.2×2.8 | 10-14 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 高台付碗, 甌) | 10末-11前半 | SI-101→本跡→SI-102SK-224・225 |
| 104 | L1764 | N-3°-W | 为母土上 長方形 | 4.0×(2.7) | 17-23 | 平坦 | - | - | - | - | 1 | 瓦 | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 須恵器 (甌) 瓦 | 10世紀後半 | 本跡→SI-96・132 | |
| 105 | L1743 | N-16°-E | 为母土上 長方形 | 3.4×(1.3) | 30-30 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (甌) 瓦 | 9後半-10前半 | |
| 106 | L1819 | N-8°-W | [長方形] | 3.0×(2.5) | 22-51 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (高台付碗) 甌 瓦 | 10世紀後半 | SI-100, SB-18, SK-78→本跡→SK-77 |
| 107 | L18c3 | N-30°-W | 为母土上 長方形 | 3.5×3.2 | 5 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 甌) | 7世紀中葉 | SI-109→本跡→SI-110SB-18SK-213 |
| 108 | K1508 | N-3°-W | 为母土上 長方形 | (1.3×1.3) | 8-14 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (高台付碗, 甌) 瓦 | 9世紀後半 | 本跡→SI-45 |
| 109 | L182 | N-80°-W | 方形 | 4.6×4.5 | 14-16 | 平坦 | - | 4 | - | 3 | 鈿 | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 高台付碗, 甌) | 5世紀末 | SK-21→本跡→SI-107・110・111SB-18 |
| 110 | L18e2 | N-2°-E | [長方形] | 4.3×(3.3) | 28 | 平坦 | - | - | - | - | 2 | 瓦 | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 甌) 刀子 | 10世紀後半 | SI-107・109・111, SB-18→本跡→SI-110SK-206 |
| 111 | L18e1 | N-8°-E | [長方形] | (6.3×5.7) | 11-40 | 平坦 | 一部 | 3 | 1 | 1 | 瓦 | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (坏, 高台付碗, 甌) 瓦 石製佛用品 | 6末-7初 | SI-109SK-221→本跡→SI-110SK-206 |
| 112 | K16j1 | N-90°-E | 为母土上 長方形 | (2.6×2.4) | 4 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | - | 瓦 | 9-10世紀 | SI-19, SK-87と 本跡 |
| 113 | L17a4 | N-3°-E | 長方形 | 6.3×5.5 | 4-28 | 凹凸 | 一部 | 4 | 1 | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 須恵器 (坏, 甌, 甌) 土製佛用品 | 8世紀後半 | SI-114→本跡 |
| 114 | L17a3 | N-5°-E | 为母土上 長方形 | 5.1×(4.4) | 28-41 | 凹凸 | 一部 | 2 | 1 | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 甌) 須恵器 (高台付碗) 磁石 | 8世紀中葉 | 本跡→SI-113 |
| 115 | K16j2 | N-0° | 为母土上 長方形 | 3.3×(2.6) | 68-72 | 凹凸 | - | - | - | - | 1 | 瓦 | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (高台付碗, 甌) 須恵器 (坏, 甌) 磁石 | 8末-9前半 | 本跡→SI-41 |
| 116 | K1882 | N-3°-W | 为母土上 長方形 | 3.3×(3.2) | 27 | 凹凸 | 一部 | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 須恵器 (坏, 甌) 刀子 | 9世紀中葉 | SI-117→本跡 |
| 117 | K18c1 | N-16°-W | 为母土上 長方形 | 4.0×(1.9) | 12 | 凹凸 | - | 3 | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | | 平安時代 | 本跡→SI-116 |
| 118 | L17b7 | N-3°-W | 为母土上 長方形 | 3.7×(2.2) | 10-12 | 凹凸 | - | - | - | - | 1 | - | - | 瓦 | 人為 | | 平安時代 | SK-223→本跡→SI-129SK-64, SF-1 |
| 119 | K1823 | N-3°-W | [長方形] | (5.8×4.1) | 10 | 凹凸 | - | 10 | - | 5 | - | - | - | 瓦 | 人為 | 須恵器 (甌) 磁石 | 中世 | UP-2→本跡 |
| 120 | L17e5 | N-88°-E | 为母土上 長方形 | 3.1×(0.9) | 6-10 | 平坦 | - | - | - | - | 1 | - | - | 瓦 | 不明 | 土師器 (碗, 甌) | 9世紀 | 本跡→SI-132・133, SK-68 |
| 121 | K17h1 | N-6°-W | 長方形 | 5.3×4.0 | 25-45 | 平坦 | - | - | - | - | 1 | 1 | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (高台付碗, 甌) 磁石 | 9世紀後半 | SI-98, SK-205→本跡→SK-201・204・489 |
| 122 | L16a8 | N-86°-E | 長方形 | 4.1×(2.8) | 20 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (甌) 磁石 | 9世紀 | 本跡→SK-12 |
| 123 | L16a9 | N-70°-E | 为母土上 長方形 | (3.3×3.1) | 10-21 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | (1) 自然 | | 10世紀 | 本跡→SK-14・40 |
| 124 | L17b2 | N-4°-W | 方形 | 7.0×6.7 | 16-45 | 凹凸 | 一部 | 4 | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (甌) 須恵器 (坏, 甌) 瓦 | 3後半-4前半 | 本跡→SI-126 |
| 125 | L17c2 | N-10°-W | 長方形 | 4.0×3.1 | 38-40 | 凹凸 | 一部 | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (坏, 甌) 須恵器 (高台付碗, 甌) | 8世紀前半 | 本跡→SI-126 |
| 126 | L17c3 | N-87°-E | 長方形 | 9.3×3.0 | 19-30 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (坏) | 9世紀前半 | SI-121・125SK-38-39→本跡→SK-231 |
| 128 | L17d1 | N-30°-W | 为母土上 長方形 | (3.3×2.9) | 20 | 平坦 | - | - | - | - | 1 | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 甌, 甌) 支脚 | 6世紀中葉 | 本跡→SK-26 |
| 129 | L17b6 | N-100°-E | 方形 | 3.7×3.7 | 14-27 | 凹凸 | 一部 | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (高台付碗, 甌) 磁石 鎌 鉄浮 | 11世紀前半 | SI-118・130, SK-110-64・222→本跡 |
| 130 | L17c5 | N-1°-W | [長方形] | 3.4×3.1 | 14 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (高台付碗) 灰物 (甌) | 10世紀後半 | 本跡→SI-129・131, SK-193 |
| 131 | L17c5 | N-8°-W | 为母土上 長方形 | 4.2×(3.5) | 18-30 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (小甌) 瓦 | 10末-11前半 | SI-129, SK-193→本跡→SI-132, SK-37, 227 |
| 132 | L17d5 | N-86°-E | 長方形 | 4.3×2.8 | 20-25 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (高台付碗) 刀子 | 11世紀前半 | SI-101, SI-111, 113SK-35, 39→本跡→SI-27 |
| 133 | L17d6 | N-84°-E | 为母土上 長方形 | 3.5×(2.1) | 10-15 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (坏, 甌) | 10世紀後半 | SI-120→本跡→SI-102, SK-37, 88, 89 |
| 134 | K16h3 | N-90°-E | 为母土上 長方形 | (3.4×3.3) | 22-25 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏, 甌) 刀子 瓦 | 10世紀後半 | SI-40SK-125→本跡 |
| 135 | K18f1 | N-97°-E | 長方形 | 3.1×2.7 | 8-25 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (高台付碗, 甌) 土製佛用品 | 10世紀末 | SI-87SK-53・61・62・507→本跡 |
| 136 | K16i0 | N-5°-W | 为母土上 長方形 | (2.6×2.5) | 12-20 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (坏) | 9世紀後半 | SK-131・132→本跡→SI-95, SK-118 |
| 137 | K16g0 | N-4°-E | 为母土上 長方形 | 4.2×(2.6) | 19-34 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (碗, 高台付碗) | 10世紀前半 | SB-2→本跡→SI-5, SK-126 |
| 138 | K16d9 | N-84°-W | [方形] | 3.4×3.3 | 7-20 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 不明 | 土師器 (甌) | 10世紀 | SI-95SB-2→本跡 |
| 139 | J164 | N-2°-W | 方形 | 2.3×2.1 | 14 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 土師器 (高台付碗, 甌) | 10世紀後半 | SI-24→本跡 |
| 140 | K15h0 | N-5°-E | 長方形 | 4.4×3.9 | 24-34 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 人為 | 須恵器 (坏) | 8世紀後半 | 本跡→SI-16・17・18SK-84, 180 |
| 142 | K16j2 | N-90°-E | [長方形] | (3.0×2.4) | 17-29 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器 (甌, 甌) | 10世紀前半 | 本跡→SI-43 |
| 145 | K1722 | N-1°-E | [長方形] | 5.0×(4.6) | 11-17 | 平坦 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 瓦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | 9世紀前半 | 本跡→SI-3・66・67 |

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 規模 (m) 横軸×縦軸 | 高さ (cm) | 床面 | 噴溝 | 内部施設 | | | | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 (旧→新) | |
|-----|-------|---------|---------------|-----------------|------------|----|----|------|---|---|-----|----|--------|--|-------------|---------------------------------------|
| | | | | | | | | 柱穴 | 瓦 | 土 | 礎 | | | | | |
| 146 | K16g4 | N-0° | 長方形 | 5.0×3.7 | 15~25 | 平坦 | - | - | - | - | 如 | - | 自然 | 弥生土器 (壺) | 弥生後期後半 | 本跡→SI-39 |
| 147 | J16h5 | - | 不明 | - | - | 平坦 | - | - | - | - | 電 | - | 不明 | 土師器片 | 10世紀 | |
| 150 | J16h4 | N-12°-E | 方形 [方形] | (2.1×1.3) | 4 | 平坦 | - | - | - | - | 電 | - | 不明 | - | 10後半以降 | SI-30→本跡→SI-28 |
| 151 | L18h9 | N-22°-W | 長方形 | 2.5×2.1 | 10 | 凹凸 | 一部 | - | - | 2 | - | - | 不明 | 土師器 (甕) | 10世紀 | SI-169→本跡→SK-25, 27 |
| 152 | J16j0 | N-90°-E | 長方形 | 3.9×3.5 | 22~36 | 平坦 | - | - | - | 2 | - | - | 自然 | 土師器 (高台付碗, 壺) 土師器 (瓦) | 10末~11初 | SI-51・52→本跡→SK-99 |
| 160 | L18g1 | N-18°-W | 長方形 | 6.5×3.8 | 3~15 | 平坦 | - | 4 | 1 | - | - | - | 不明 | 土師器 (坏, 高坏, 甕, 土師器 (瓦)) | 5末~6初 | 本跡→SI-106, SI-77, 29, 30, 31, 32 |
| 161 | L18h7 | N-3°-W | 方形 [隅丸長方形] | (4.0×3.8) | 10~12 | 平坦 | - | 6 | - | 1 | 炉 | - | 自然 | 弥生土器 (甕) 磁石 | 弥生後期後半 | 本跡→SI-167, 168 |
| 162 | L18f5 | N-10°-W | 方形 [方形] | 3.4×3.2 | 15~21 | 平坦 | - | - | - | 1 | - | - | 自然 | 土師器 (坏, 甕) | 7世紀前半 | 本跡→SI-163, 164 |
| 163 | L18e5 | N-77°-E | 方形 | 3.5×3.5 | 12~22 | 平坦 | 全周 | 2 | 1 | - | - | - | 自然 | 須恵器 (甕) | 8世紀前半 | SI-162→本跡→SI-164 |
| 164 | L18f5 | N-0° | 長方形 | 6.7×3.2 | 25~42 | 平坦 | 一部 | - | 1 | - | 炉 2 | - | 人為 | 土師器 (坏, 高台付碗, 須恵器 (坏, 甕, 用瓦)) 土師器 (甕) | 11世紀初葉 | SI-165, 166, 168SK-28, 30→本跡→SK-50 |
| 165 | L18e5 | N-3°-E | 長方形 | 2.2×1.9 | 40 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | 人為 | 土師器 (甕) | 10世紀末 | SI-167→本跡→SI-164 |
| 166 | M19c8 | N-12°-W | 方形 [方形] | (1.21×不明) | 1~8 | 平坦 | - | 1 | - | - | - | - | 不明 | 須恵器 (坏) | 8世紀前半 | SI-202→本跡 |
| 167 | L18h5 | N-13°-W | 方形 [方形] | (7.6×4.8) | 35~50 | 平坦 | 一部 | 1 | - | - | - | - | 人為 | 土師器 (坏, 高坏, 甕) | 5末~6初 | SI-161→本跡→SI-165, SK-300 |
| 168 | L18h8 | N-5°-W | 方形 [方形] | (5.3×0.8) | 7~20 | 平坦 | - | 1 | - | - | - | - | 自然 | 土師器 (坏) | 6世紀後半 | SI-161→本跡→SD-12, SK-296 |
| 169 | L18h9 | N-21°-W | 隅丸長方形 | 4.8×(3.8) | 12 | 平坦 | - | 3 | - | 8 | 炉 | - | 自然 | 弥生土器 (甕) | 弥生後期後半 | 本跡→SI-151, 170, SK-26, 27 |
| 170 | L18h9 | N-41°-W | 長方形 | 4.3×3.8 | 15~30 | 平坦 | 全周 | 4 | - | 9 | 炉 1 | - | 自然 | 土師器 (坏, 高坏, 甕, 土師器 (瓦)) 土師器 (瓦) | 5世紀後半 | 本跡→本跡→SI-173, SK-438 |
| 171 | L18g9 | N-86°-E | 方形 | 4.1×3.9 | 15~20 | 平坦 | 全周 | 2 | 1 | 3 | - | - | 人為 | 土師器 (甕) 刀子 | 8世紀後半 | 本跡→SK-291 |
| 172 | L18d0 | N-3°-W | 方形 | 4.8×4.8 | 20~30 | 平坦 | 全周 | 4 | 1 | 1 | - | - | 人為 | 土師器 (坏, 甕, 甕) | 5世紀後半 | 本跡→SK-303 |
| 173 | L19h1 | N-12°-W | 長方形 | 4.7×3.8 | 20~32 | 平坦 | 全周 | 4 | - | 1 | - | - | 人為 | 土師器 (坏, 甕, 甕) 須恵器 (碗, 鉢, 甕) | 5世紀後半 | SI-170, 174, SK-490→本跡→SK-498 |
| 174 | L19h1 | N-20°-W | 方形 [方形] | (4.2×2.2) | 18~22 | 平坦 | 一部 | 3 | - | 5 | - | - | 自然 | 土師器 (坏) | 6世紀後半 | 本跡→SI-173, SK-498 |
| 175 | L18j0 | N-15°-W | 方形 [方形] | (4.5×4.0) | 10~40 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器 (甕) | 6世紀後半 | |
| 176 | L19j2 | N-40°-W | 方形 | 4.6×4.5 | 10~25 | 平坦 | 一部 | 4 | - | 1 | - | - | 自然 | 土師器 (坏) 土製土器 | 6世紀前半 | SI-178, SK-446→本跡→SB-16 |
| 178 | L19i1 | N-50°-W | 長方形 | 4.3×3.6 | 16~23 | 平坦 | 一部 | 2 | - | 1 | - | - | 自然 | 土師器 (甕) | 5世紀前半 | 本跡→SI-176, SK-306 |
| 183 | L19e2 | N-0° | 方形 [方形] | (3.8×2.5) | 22 | 平坦 | 全周 | - | - | 2 | - | - | 不明 | - | 7世紀後半 | SI-185→本跡→SK-445, 451, 456 |
| 184 | L19g3 | N-18°-W | [方形] | (7.1×7.0) | 14~30 | 平坦 | 一部 | 4 | 2 | 6 | - | - | 人為 | 土師器 (坏, 甕, 甕) 土師器 (瓦) | 5世紀前半 | 本跡→SI-183, SK-307, 315, 456 |
| 185 | L19j2 | N-6°-W | 方形 [方形] | 4.5×(3.5) | 5~19 | 平坦 | 一部 | 2 | - | - | - | - | 人為 | 土師器 (坏, 甕, ミニチュア) 石製土器 | 7世紀前半 | 本跡→SI-185, SK-315, 456 |
| 186 | L19j3 | N-2°-E | 方形 [方形] | (4.6×2.5) | 17~30 | 平坦 | 一部 | 3 | - | 1 | - | - | 人為 | 土師器 (坏, 甕, 甕) 土師器 (瓦) | 8世紀前半 | SI-184, 185, SK-315→本跡→SI-185, SK-305 |
| 188 | L19j4 | N-8°-E | 方形 | 4.8×4.8 | 10~28 | 凹凸 | 全周 | 4 | 2 | 4 | - | - | 自然 | 土師器 (高台付碗) 須恵器 (坏) 甕 | 8世紀後半 | SI-184, 186→本跡→SK-355 |
| 190 | L19h4 | N-29°-W | 方形 [方形] | (3.7×1.5) | 5~13 | 平坦 | - | 3 | - | 4 | - | - | 不明 | 土師器 (高台付碗) 磁石 | 10世紀末 | |
| 191 | M19e9 | N-0° | 方形 [方形] | (2.9×1.1) | 11 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器片 須恵器片 | 平安時代 | 本跡→UP-5 |
| 192 | M19e2 | N-14°-E | 方形 [方形] | (1.8×1.6) | 38 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | 不明 | 土師器 (甕, 高坏) | 5末~6初 | 本跡→SI-193, SB-16 |
| 193 | M19a3 | N-7°-E | 方形 [方形] | (3.7×3.5) | 28~38 | 凹凸 | - | - | - | - | - | - | 人為 | 土師器 (高台付碗) | 10世紀後半 | SI-192, 198→本跡→SI-16 |
| 195 | L19j3 | N-0° | 長方形 | (3.4)×2.5 | 7~18 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | 不明 | 土師器 (甕) 鉄滓 | 10世紀前半 | 本跡→SB-16 |
| 196 | L19h6 | N-5°-W | 方形 [方形] | 5.1×(2.0) | 9~19 | 平坦 | - | - | - | - | (炉) | - | 人為 | 土師器 (高台付碗) | 11世紀初葉 | |
| 197 | M19c6 | N-42°-W | 方形 [方形] | (3.3×1.6) | 20 | 不明 | - | 2 | - | - | - | - | 不明 | 土師器 (坏, 甕, 类) | 6世紀後半 | SI-200→本跡 |
| 198 | M19b4 | N-22°-W | 方形 [方形] | (4.6)×不明 | 10~14 | 不明 | - | - | - | 3 | - | - | 不明 | 土師器 (甕) | 6世紀後半 | SK-410→本跡→SI-190, 196, SK-409 |
| 199 | M19e5 | N-0° | 方形 [方形] | (2.6×1.3) | 6~14 | 平坦 | - | 1 | 3 | - | - | - | 不明 | 土師器 (甕) 瓦 | 10世紀前半 | SI-198→本跡→SK-442 |
| 200 | M19a6 | N-5°-E | 方形 [方形] | 5.6×(5.2) | 14~21 | 平坦 | - | 4 | - | - | 炉 | - | 自然 | 土師器 (高坏, 甕) | 5世紀後半 | 本跡→SI-197, SK-402, 408, 411, 432, 438 |
| 201 | L19j6 | N-20°-W | 長方形 | 3.5×3.0 | 12~24 | 平坦 | - | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器 (高坏, 甕, 甕) | 6世紀後半 | |
| 302 | M19c7 | - | 不明 | - | - | 平坦 | - | - | - | 3 | - | - | 不明 | 弥生土器 (高坏, 甕) 土製鉄鉢 磁石 | 弥生後期後半 | 本跡→SI-166, SK-491 |

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 規模(m) (長軸×短軸) | 壁高 (cm) | 床面 | 壁溝 | 内部施設 | | | | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|----------|------------|------------------|------------|----|----|------|----|----|----|----|---|----------|-------------------------|
| | | | | | | | | 柱穴 | 土間 | 土間 | 土間 | | | | |
| 204 | L1919 | N-4°-W | 方形 長方形 | (4.7×2.6) | 15 | 平坦 | - | - | - | - | - | 自然 | 土師器片 | 10世紀 | 本跡→SD-17, SK-415・504 |
| 205 | L1910 | N-2°-W | 方形 | 3.4×3.1 | 22 | 凹凸 | 一部 | - | - | - | - | 自然 | 灰石 | 9世紀 | |
| 206 | L1918 | N-7°-W | 長方形 | 3.9×3.1 | 8~10 | 凹凸 | - | - | - | - | - | 自然 | 石製磁器 | 9世紀 | |
| 207 | L2013 | N-6°-W | 方形 | 4.5×4.4 | 2~16 | 不明 | - | - | - | 不明 | - | 不明 | 土師器(灰、赤、黒) 土師器(灰、赤、黒) 土師器(灰、赤、黒) 土師器(灰、赤、黒) | 5世紀後半 | |
| 210 | M1910 | N-5°-W | 長方形 | 4.3×2.5 | 20 | 平坦 | - | - | - | 不明 | 不明 | 不明 | 土師器(赤) 土師器(赤) 土師器(赤) | 7世紀 | 本跡→SK-432 |
| 211 | L2014 | N-30°-W | 方形 | (3.7×3.6) | 10~20 | 凹凸 | - | - | - | - | - | 自然 | 古墳中→後園 | 本跡→SD-17 | |
| 212 | L2015 | N-0° | 長方形 長方形 | (2.6×2.1) | 5~11 | 平坦 | - | - | - | - | - | 不明 | 土師器(灰) 土師器(灰) 土師器(灰) | 古墳後期 | |
| 213 | L2016 | N-6°-W | 方形 | 3.6×3.5 | - | 平坦 | - | 2 | 1 | 3 | - | 不明 | 土師器片 土師器片 | 10世紀 | |
| 214 | M2018 | N-7°-E | 長方形 | 4.6×3.3 | 26 | 平坦 | 一部 | 4 | 1 | 4 | - | 不明 | 土師器(高坏) 土師器(高坏) | 5世紀後葉 | 本跡→SF-1・2 |
| 215 | J1513 | N-26°-W | 方形 | 4.9×4.9 | 21~36 | 平坦 | 全部 | 4 | - | - | - | 不明 | 土師器(灰、赤、黒) 土師器(灰、赤、黒) 土師器(灰、赤、黒) | 7世紀前半 | |
| 216 | J1512 | N-0° | 長方形 長方形 | 3.2×(1.5) | 15~26 | 平坦 | 全部 | - | - | - | - | 不明 | 土師器(高坏付銅、鉄) | 10世紀後半 | |
| 217 | J1512 | N-83°-E | 長方形 | (2.3)×2.9 | 18~24 | 凹凸 | - | - | - | 4 | - | 不明 | 土師器(鉢、甕) | 10世紀後半 | |
| 218 | J1512 | N-115°-E | 長方形 | 3.2×2.6 | 14~26 | 平坦 | - | 2 | - | - | - | 不明 | 土師器片 土師器片 | 10世紀 | |
| 219 | J1512 | N-6°-W | 長方形 長方形 | 2.6×(2.8) | 1~10 | 凹凸 | - | - | - | - | - | 不明 | 土師器(鉢、甕) | 9世紀後半 | 本跡→SK-422 |

表3 方形竈穴状遺構一覽表

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 規模(m) (長軸×短軸) | 壁高 (cm) | 床面 | 壁溝 | 内部施設 | | | | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 (旧→新) |
|----|-------|--------|------------|------------------|------------|----|----|------|----|----|----|----|--------|----|-------------|
| | | | | | | | | 柱穴 | 土間 | 土間 | 土間 | | | | |
| 1 | L1916 | N-3°-W | 長方形 長方形 | 3.5×(1.9) | - | 不明 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | 不明 |

表4 掘立柱建物跡一覽表

| 番号 | 位置 | 桁行方向 | 規模(長さの単位はすべてm) | | | | 掘立柱 幅 (m) | 構造 | 柱(長さの単位はすべてcm) | | | | 時代 | 備考 (旧→新) | | | | |
|----|-------|---------|----------------|-------|-----------|-------------|-----------------|-----------|----------------|-----|------|--------------|---------|-------------|--------|-------|---------|---|
| | | | 桁行(平均) | 桁行柱間 | 梁行(平均) | 梁行柱間 | | | 間柱 | 本柱 | 平面形 | 柱径 | | | 柱深 | 柱寸法 | | |
| 1 | J1518 | N-8°-W | 4 | 7.45 | 1.72~1.92 | (1); (2.24) | (2.16~2.24) | (16.69) | 欄柱 | (7) | 円形 | 39~49 | 36~37 | 16~28 | - | 中世 | | |
| 2 | K1610 | N-7°-W | 3 | 3.36 | 1.69~1.96 | 2 | 3.68 | 1.67~2.00 | 19.72 | 欄柱 | 12 | 隅丸方形 隅丸方形 | 38~137 | 71~118 | 36~74 | 20~30 | 8世紀 | 本跡→ST-5-66- 137-138, SK-66 |
| 3 | K1716 | N-0° | 2 | 3.10 | 1.30~1.80 | 2 | 3.10 | 1.36~1.80 | 9.61 | 欄柱 | 15 | 円形 隅丸形 | 30~73 | 31~62 | 21~72 | 15~30 | 8世紀 | ST-60→本跡 |
| 4 | K1712 | N-5°-W | 3 | 6.90 | 2.00~2.54 | 2 | 4.82 | 2.00~2.69 | 33.26 | 欄柱 | 10 | 隅丸形 隅丸形 | 30~178 | 32~100 | 32~74 | - | 8世紀 | 本跡→ST-31, SK-31, F-30, SK-31, SK-32 |
| 5 | K1712 | N-87°-E | 2 | 4.77 | 2.00~2.50 | 2 | 4.60 | 2.07~2.42 | 21.94 | 欄柱 | 8 | 円形 隅丸形 | 39~116 | 31~81 | 46~96 | 18~25 | 8世紀 | 本跡→ST-31, SK-31, 116-117, SK-31, SK-32 |
| 6 | K1716 | N-87°-W | 2 | 5.02 | 2.20~2.85 | 2 | 4.60 | 2.03~2.35 | 23.09 | 欄柱 | 6 | 隅形 隅形 | 78~126 | 61~131 | 26~58 | 14~26 | 8世紀→9世紀 | 本跡→ST-42, SK- 8・12・14と重複 |
| 7 | J1715 | N-83°-E | 4 | 6.90 | 1.23~1.95 | 2 | 3.85 | 1.75~2.09 | 26.37 | 欄柱 | 12 | 隅形 隅形 | 63~121 | 51~81 | 29~81 | 10~20 | 9世紀後半 | ST-61, SK-150・161 →本跡→SK-73 |
| 8 | K1716 | N-82°-W | 5 | 10.52 | 1.94~2.44 | 2 | 5.20 | 2.28~2.70 | 34.70 | 欄柱 | 14 | 正方形 長方形 | 34~116 | 81~121 | 28~41 | 20~40 | 8世紀 | 本跡→ST-31, SK-31, 31, SK-31 |
| 9 | K1717 | N-88°-W | (6) | 13.11 | 2.00~2.40 | 2 | 4.30 | 2.20~2.30 | (59.15) | 欄柱 | (14) | 隅丸形 隅丸形 | 36~116 | 61~131 | 45~91 | 20~22 | 8世紀前半 | ST-84→本跡→SI- 44, SD-10, SD-3 |
| 10 | K1717 | N-81°-E | 3 | 8.58 | 2.76~3.00 | 2 | 5.28 | 2.50~2.60 | (43.30) | 欄柱 | (9) | 隅丸形 隅丸形 | 71~112 | 61~119 | 30~114 | 11~22 | 8中→後葉 | ST-78・84, SD-9 →本跡→SI-44, SD-3 |
| 11 | J1611 | N-7°-W | 3 | 4.71 | 1.48~1.91 | 2 | 3.81 | 1.79~2.02 | 17.95 | 欄柱 | 12 | 隅形 隅丸形 | 72~120 | 60~80 | 41~85 | 15~20 | 8世紀 | ST-52→本跡→SI-54 SK-278と重複 |
| 12 | K1717 | N-90°-E | 3 | 6.48 | 2.00~2.18 | 2 | 4.46 | 2.22~2.62 | 28.90 | 欄柱 | 10 | 方形 長方形 | 111~112 | 112~112 | 38~88 | 30 | 9葉葉以前 | SK-111→本跡→SI-50- 32, SK-51, SK-52 |
| 13 | J1714 | N-88°-E | 3 | 5.67 | 1.45~2.42 | (2); | 3.02 | 1.32~1.70 | (17.12) | 欄柱 | (8) | 隅形 隅形 | 45~73 | 30~71 | 9~49 | 12~22 | 9中葉以前 | SK-136・137・173 →本跡→SI-55・56 |
| 14 | K1718 | N-7°-W | 3 | 7.44 | 2.34~2.70 | 2 | 3.94 | 1.85~2.08 | 29.31 | 欄柱 | 10 | 隅丸形 隅丸形 | 39~130 | 30~100 | 10~50 | 18 | 8世紀 | 本跡→ST-31, SK-31, 31, SK-31 |
| 15 | L1815 | N-87°-E | (7) | 13.20 | 2.00~2.40 | 2 | 4.80 | 2.50~2.40 | (71.44) | 欄柱 | (19) | 隅丸形 隅丸形 | 68~80 | 30~80 | 42~92 | 13~25 | 8世紀 | SK-430→本跡 |

| 番号 | 位置 | 掘行方向 | 規模 (長さの単位はすべてm) | | | | 構造 | 掘削 | 柱 | 穴 (長さの単位はすべてcm) | | | | 時代 | 備考 (旧→新) | | | |
|----|------|---------|-----------------|------|-----------|------|------|-----------|---------|---------------------|-----|----------|--------|--------|-------------|-------|----------|-------------------------------------|
| | | | 掘行(平均) | 掘行柱間 | 掘行(平均) | 掘行柱間 | | | | 面積(m ²) | 本数 | 平面形 | 深さ | | | 柱寸法 | | |
| 16 | L193 | N-6°-E | 3 | 5.80 | 1.60~2.10 | 2 | 4.06 | 1.80~2.30 | 23.35 | 総柱 | 12 | 隅丸方形・楕円形 | 84~102 | 94~115 | 41~100 | 11~28 | 10世~11世紀 | SI-476・192・193・194・195→本跡 |
| 17 | L498 | N-8°-E | 3 | 7.46 | 2.10~2.70 | 2 | 5.88 | 2.90~2.96 | 43.86 | 隅柱 | 10 | 隅丸方形・楕円形 | 84~102 | 82~94 | 36~68 | 20 | 10世~11世紀 | SI-204, SK-418・483→本跡 |
| 18 | K182 | N-12°-E | 2 | 4.80 | 2.10~2.51 | 2 | 3.26 | 2.31~2.40 | (32.71) | 隅柱 | (6) | 長方形・隅丸方形 | 70~100 | 50~100 | 34~90 | 34~28 | 8~9世紀 | SI-107・109・160→本跡-SI-106・110, SK-77 |
| 19 | M198 | N-8°-E | 3 | 7.16 | 2.34~2.40 | 1 | 2.98 | 2.98~ | (21.33) | 隅柱 | (5) | 楕円形・隅丸方形 | 84~102 | 82~98 | 36~64 | - | 10世~11世紀 | |

表5 地下式竈一覽表

| 番号 | 位置 | 方向 | 規模 | | | | 構造 | 出土遺物 | 時代 | 備考 (旧→新) | |
|----|------|---------|-----------|-------|-----|-----------|-----|------|------------------|-------------|-----------------------------|
| | | | 壁 | 竈 | 主 | 室 | | | | | |
| 1 | K183 | N-9°-E | 2.14×1.94 | 44・64 | 長方形 | 3.01×2.50 | 124 | 隅丸方形 | 土師質土器(内耳罎)・野石 | 中世 | |
| 2 | K183 | N-5°-E | 1.36×0.96 | 14 | 楕円形 | 2.88×1.14 | 40 | 長方形 | 土師器片 | 中世 | 本跡→SI-119 |
| 3 | L194 | N-5°-E | 0.94×0.65 | 34 | 楕円形 | 2.90×1.65 | 88 | 長方形 | 土師質土器(糠鉢)・管・瓦・野石 | 中世 | 本跡→SK-429と重複 |
| 4 | L199 | N-74°-W | 1.12×0.9 | 62 | 長方形 | 1.95×1.29 | 106 | 長方形 | 土師器片 | 中世 | 本跡→段切り遺構 |
| 5 | M198 | N-87°-W | 1.31×0.62 | 69 | 台形 | 4.01×2.60 | 128 | 楕円形 | 土師器片 | 中世 | SI-191, UP-6→本跡→段切り遺構 |
| 6 | M198 | N-47°-W | 1.20×0.74 | 44 | 長方形 | 2.22×1.66 | 48 | 楕円形 | 土師器片 | 中世 | 本跡→UP-5, SK-429と重複, Pg.3と重複 |
| 7 | K184 | N-9°-E | - | - | - | 3.20×1.80 | 87 | 長方形 | 土師器片 | 中世 | |
| 8 | M198 | N-10°-E | - | - | - | 3.10×2.47 | 30 | 隅丸方形 | 土師器片 | 中世 | 本跡→段切り遺構 |

表6 火葬施設一覽表

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 深さ(cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|----|-----------|---------|---------|-------------|---|--------|----|----|----|----------|--------------------------|
| | | | | 長径(軸)×短径(軸) | 幅 | | | | | | |
| 1 | L 2 0 3 | N-81°-E | (隅丸長方形) | 1.4×0.5 | | 20 | 縦割 | 平坦 | 人為 | | 本跡→SK-335 →本跡 |
| 2 | M 2 0 b 6 | N-20°-E | [T字形] | 1.2×1.0 | | 54 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 古銭(祥符元寶) | SK-384→本跡 Pg.2と重複, 中世 |

表7 竈竈一覽表

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 深さ(cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|----|-----------|---------|-------|-------------|---|--------|----|----|----|-----------------|-----------------|
| | | | | 長径(軸)×短径(軸) | 幅 | | | | | | |
| 1 | J 1 5 d 7 | N-0° | 隅丸長方形 | 1.3×1.2 | | 84 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 古銭(東大元寶) 野人骨 | 江戸時代 (17世紀~) |

表8 溝跡一覽表

| 番号 | 位置 | 方向 | 断面形 | 規模 | | | | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 時代 | 備考 (旧→新) |
|----|-------------|--------------------|-----|-------|--------|--------|--------|----|----|----|--------------------|------|-------------------------------------|
| | | | | 長さ(m) | 上幅(cm) | 下幅(cm) | 深さ(cm) | | | | | | |
| 1 | J15a~K15b | N-0° | U字形 | 45.90 | 55~88 | 37~64 | 14~20 | 外傾 | 傾斜 | 自然 | 石片(尖頭部) | 中近世 | SI-2・3・7・11, |
| 2 | K15a9~K15b | N-4°-W | 逆台形 | 19.30 | 84~121 | 60~94 | 28~32 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | 中近世 | SI-16→本跡 |
| 3 | K16a0~K17c | N-86°-W N-81°-E | 逆台形 | 34.40 | 55~120 | 35~97 | 24~32 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | 平安時代 | SI-63・70~72, SB-4・5・9・10, SK-284→本跡 |
| 4 | J16e7~J16a9 | N-5°-W N-11°-W | 逆台形 | 27.90 | 46~71 | 16~58 | 8~20 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 野石 | 平安時代 | SI-43A→本跡 |
| 5 | K16e2~K16b7 | N-85°-E | U字形 | 23.70 | 46~71 | 20.00 | 20.00 | 外傾 | 凹状 | 自然 | 土師器片 | 中近世 | SI-36→本跡 |
| 6 | K15e0~K16d1 | N-79°-E | 逆台形 | 17.00 | 50~80 | 39~63 | 20.00 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | 中近世 | |

| 番号 | 位置 | 方向 | 断面形 | 規模 | | | | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 時代 | 備考 (旧→新) |
|----|-------------|---------|-----|--------|---------|--------|--------|----|----|----|----------------------|-----|--------------------------|
| | | | | 長さ(m) | 上幅(cm) | 下幅(cm) | 深さ(cm) | | | | | | |
| 12 | L1767~L1865 | N-3°-W | U字形 | 17.70 | 44~94 | 12~48 | 14~39 | 外傾 | 直状 | 人為 | 土師器片 | 中近世 | SI-168→本跡 |
| 13 | II411~II511 | N-5°-W | U字形 | 12.70 | 64~96 | 20~52 | 48~52 | 外傾 | 直状 | 人為 | | 中近世 | SD-18→本跡 |
| 14 | II468~II468 | N-7°-W | U字形 | 11.10 | 66~104 | 18~50 | 24~32 | 外傾 | 直状 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | 中近世 | |
| 15 | II467~II468 | N-7°-W | 逆台形 | 11.30 | 102~121 | 22~36 | 46~50 | 外傾 | 平直 | 人為 | 土師器片 須恵器片 須恵器片 | 中近世 | SD-16→本跡 |
| 16 | II467~II468 | N-10°-W | 逆台形 | 9.70 | 36~84 | 21~74 | 5~9 | 外傾 | 平直 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | 中近世 | 本跡→SD-15 |
| 17 | L2065~L2067 | N-85°-E | 逆台形 | (7.40) | 121~144 | 40~48 | 11~20 | 外傾 | 平直 | 自然 | | 不明 | SI-211→本跡→ SK-313・467 |
| 18 | II460~II511 | N-84°-E | 逆台形 | 5.80 | 56~74 | 24~54 | 12 | 垂直 | 平直 | 人為 | 土師器片 | 中近世 | 本跡→SD-13 |

表9 井戸跡一覧表

| 番号 | 位置 | 長径方向 | 形制 | 規模 | | | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 時代 | 備考 (旧→新) |
|----|-------|---------|-----|-----------|-------|-----|----|----|----|--------------------|------|-------------|
| | | | | 長径×短径(m) | 深さ(m) | 平面形 | | | | | | |
| 1 | M2049 | N-5°-W | 円筒形 | 2.16×1.84 | (78) | 円筒形 | 外傾 | - | 人為 | 土師器片 須恵器片 瓦片 | 13世紀 | SI-214→本跡 |
| 2 | L2028 | N-46°-W | 円筒形 | 2.23×1.85 | (82) | 円筒形 | 外傾 | - | 人為 | 須恵器(帯) 常滑 | 13世紀 | SI-214→本跡 |
| 3 | L2027 | N-38°-E | 円筒形 | 1.17×1.10 | (90) | 円形 | 外傾 | - | 人為 | | 13世紀 | |

表10 欄跡一覧表

| 番号 | 位置 | 方向 | 規模 | | | | 柱穴 | | | 時代 | 備考 (旧→新) | |
|----|-------|-----------------------------|-------|---|---------|----|---------------------|-----------|-----------|-------|-------------|-------------|
| | | | 長さ(m) | 間 | 柱間(m) | 本数 | 平面形 | 長さ(m) | 間隔(m) | | | 深さ(cm) |
| 1 | K17b9 | N-87°-W | 4.4 | 2 | 2.0~2.3 | 3 | 長方形 または 隅丸長方形 | 1.16~1.62 | 0.90~1.18 | 68~72 | 平安時代 | 本跡→SI-78・82 |
| 2 | K17g9 | N-2°-W N-83°-E N-4°-E | 12.6 | 6 | 1.7~2.9 | 7 | 円形または 楕円形 | 0.32~0.32 | 0.32~0.30 | 14~32 | 平安時代 | SB-8・14と重複 |
| 3 | K17h6 | N-6°-W N-89°-E | 8.5 | 4 | 0.3~2.5 | 6 | 楕円形 または 隅丸長方形 | 0.38~0.54 | 0.28~0.54 | 18~34 | 平安時代 | SB-8・12と重複 |
| 4 | L19j0 | N-2°-W N-86°-E | 14.2 | 5 | 1.4~3.8 | 6 | 円形 | 0.28~0.54 | 0.28~0.58 | 10~92 | 中世~ | UP-6→本跡 |
| 5 | L20j3 | N-7°-E | 3.3 | 2 | 1.3~1.9 | 3 | 楕円形 | 0.28~0.42 | 0.22~0.32 | 24~36 | 小世 | |
| 6 | M20a5 | N-2°-E | 8.1 | 4 | 1.6~2.7 | 5 | 円形または 楕円形 | 0.24~0.58 | 0.24~0.36 | 8~54 | 中世~ | SK-404と重複 |
| 7 | M20a5 | N-2°-E | 4.4 | 4 | 1.4~1.9 | 5 | 円形 | 0.22~0.38 | 0.20~0.38 | 8~32 | 中世~ | SK-404と重複 |
| 8 | II5i3 | N-90°-E | 4.0 | 2 | 1.9~2.1 | 3 | 円形 | 0.40~0.44 | - | 36~50 | 不明 | |

表11 道路跡一覧表

| 番号 | 位置 | 方向 | 断面形 | 規模 | | | | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 時代 | 備考 (旧→新) |
|----|-------------|---------|-----|-------|--------|--------|-------|----|----|----|---------------------------|-----|--------------|
| | | | | 長さ(m) | 幅(m) | 深さ(cm) | 深さ(m) | | | | | | |
| 1 | L1767~L1865 | N-86°-E | U字形 | 35.80 | 30~200 | 20~110 | 12~17 | 外傾 | 平直 | 人為 | 土師器(皿) 須恵器(帯・蓋) 瓦割口 | 中世~ | SI-99・118→本跡 |

表12 段切り遺構一覧表

| 番号 | 位置 | 方向 | 規模 | | | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 時代 | 備考 (旧→新) |
|----|-------------|---------|-------|-------|--------|----|----|----|--------------------------|----|--------------------------------|
| | | | 基幅(m) | 段幅(m) | 段高(cm) | | | | | | |
| 1 | L1890~M19d0 | N-10°-E | 20.80 | 5.60 | 34~32 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 常滑 銅製品(鏡) 土鏡(関元通書) | 中世 | SI-205, UP-1~6・8, SK-161→本跡 |

表13 土坑一覽表

| 番号 | 位置 | 長×(幅) 方向 | 平面形 | 規模 (m) | | 深さcm | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|----|-------|----------|--------|-----------------|-----|------|----|----|-----------|--------------------|-------------|
| | | | | 長径(軸)×短径(軸) | 幅 | | | | | | |
| 1 | J15g7 | N-15'-E | 円形 | 0.82 × 0.79 | 13 | 垂直 | 平坦 | 不明 | 陶器片 | | |
| 2 | J15g8 | N-18'-E | 円形 | 1.18 × 1.11 | 45 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 3 | J15h9 | N-60'-W | 円形 | 0.87 × 0.82 | 30 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | | | |
| 4 | J15h7 | N-70'-W | [円形] | [1.25] × 1.21 | 39 | 垂直 | 平坦 | 自然 | | | |
| 5 | J15e9 | N-37'-E | [円形] | [1.06] × 0.97 | 18 | 外傾 | 凹凸 | 不明 | | SI-2→本跡→SD-1 | |
| 6 | J15g8 | N-70'-E | 円形 | 1.05 × 1.12 | 61 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SD-1 | |
| 7 | J15g8 | N-90'-E | [円形] | [1.05] × 0.94 | 45 | 垂直 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SD-1 | |
| 8 | L17c7 | N-80'-E | 楕円形 | 1.42 × 1.09 | 16 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-100→本跡 | |
| 9 | L18b1 | N-67'-E | 隅丸長方形 | 1.50 × 1.12 | 17 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | 須恵器 (坏) | SI-99→本跡 | |
| 10 | L17b6 | N-90'-E | 楕円形 | 0.78 × 0.70 | 65 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | 本跡→SK-129 | |
| 11 | L16a6 | N-72'-E | 不整形円形 | 1.82 × [0.89] | 36 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 12 | L16a9 | N-1'-W | 不整形円形 | [1.12] × 1.12 | 34 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-122→本跡 | |
| 13 | J1713 | N-0' | 楕円形 | 0.56 × 0.50 | 30 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | SI-65と重複 | |
| 14 | L16b9 | N-48'-W | 円形 | 1.23 × 1.18 | 33 | 垂直 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-123→本跡 | |
| 19 | J17g2 | N-4'-W | 楕円形 | [1.37] × 1.12 | 36 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 20 | J17g1 | N-39'-W | 楕円形 | 1.80 × 1.26 | 50 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | | |
| 22 | J16f9 | N-25'-E | [円形] | 1.32 × (0.72) | 36 | 外傾 | 凹凸 | 不明 | | | |
| 23 | J16f9 | N-23'-W | 楕円形 | 0.76 × 0.65 | 18 | 緩斜 | 皿状 | 不明 | | SI-50→本跡 | |
| 21 | J17j6 | N-90'-E | 楕円形 | 1.48 × 1.30 | 156 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | SK-164と重複 | |
| 25 | J17j6 | N-78'-E | 楕円形 | 2.21 × 1.49 | 52 | 緩斜 | 凹凸 | 自然 | | | |
| 26 | L1819 | N-13'-E | 楕円形 | 0.68 × 0.50 | 16 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-131、169→本跡 | |
| 27 | L1810 | N-82'-W | 楕円形 | 0.86 × 0.54 | 48 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-131、169→本跡 | |
| 28 | K16e8 | N-86'-W | 長方形 | 6.62 × 0.38 | 25 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-49と重複 | |
| 29 | K16d8 | N-17'-E | 長方形 | 0.63 × 0.43 | 27 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-49と重複 | |
| 30 | J15i9 | N-3'-E | 不整形円形 | 1.10 × 0.90 | 64 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | SI-7→本跡 | |
| 32 | L17e5 | N-85'-E | 長方形 | 1.00 × 0.56 | 47 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | 本跡→SI-132 | |
| 33 | L17e5 | N-8'-W | 長方形 | 0.74 × 0.55 | 26 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-132 | |
| 34 | K17b4 | N-0' | 隅丸長方形 | 0.74 × 0.70 | 15 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | SI-91→本跡 | |
| 35 | K17a4 | N-90'-E | [円形] | [0.79] × [0.73] | 28 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | 本跡→SI-91 | |
| 36 | K17g5 | N-0' | 楕円形 | 1.07 × 0.97 | 17 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-91→本跡 | |
| 37 | L17d6 | N-10'-E | 円形 | 0.98 × 0.98 | 66 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-131、132、133→本跡 | |
| 38 | L17b3 | N-78'-W | 不定形 | 1.68 × 1.58 | 38 | 緩斜 | 皿状 | 不明 | | 本跡→SI-126、SK-41と重複 | |
| 39 | L17b3 | N-48'-W | 楕円形 | 0.92 × 0.82 | 32 | 緩斜 | 皿状 | 不明 | | 本跡→SI-126 | |
| 40 | L16a9 | N-32'-W | 円形 | 0.75 × 0.70 | 30 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-123→本跡 | |
| 41 | L17b4 | N-65'-E | 不定形 | 0.54 × 0.48 | 4 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-126→本跡、SK-38と重複 | |
| 42 | L16b6 | N-86'-E | 円形 | 0.74 × 0.70 | 27 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-94→本跡 | |
| 44 | L16b6 | N-82'-E | 長方形 | 1.10 × 0.82 | 39 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | 本跡→SI-94 | |
| 45 | K1610 | N-90'-E | 隅丸長方形 | 1.09 × 0.85 | 32 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-95→本跡 | |
| 46 | K1610 | N-90'-E | 不整形長方形 | 1.11 × 0.89 | 51 | 外傾 | 凹凸 | 不明 | | SI-95→本跡 | |
| 47 | K16b3 | N-65'-W | 楕円形 | 1.86 × 1.60 | 74 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-36→本跡 | |
| 49 | J16f8 | N-85'-E | 円形 | 1.22 × 1.11 | 18 | 外傾 | 凹凸 | 不明 | | | |
| 50 | K17a9 | N-13'-E | 不定形 | 0.96 × 0.77 | 85 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | SI-76→本跡 | |
| 51 | J16h2 | N-53'-E | 円形 | 1.12 × 1.03 | 39 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 52 | K16a6 | N-0' | 円形 | 1.62 × 1.32 | 34 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 53 | K18f1 | N-20'-W | 楕円形 | 0.68 × 0.60 | 40 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | 本跡→SI-135 | |

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 深さ(cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|---------|---------------|------|--------|----|----|-------------|----------------------|--------------|
| | | | | 長径(軸)×短径(軸) | | | | | | | |
| 54 | K16j0 | N-0° | [円形] | [0.81 × 0.84] | 27 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | SI-95→本跡 | |
| 55 | K17e8 | N-75°-W | 楕円形 | 0.87 × 0.71 | 62 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-80, SK-115→本跡 | |
| 56 | K17e7 | N-20°-E | 楕円形 | 0.80 × 0.91 | 60 | 外傾 | 平皿 | 人為 | | SI-80→本跡 | |
| 58 | J16h2 | N-11°-E | 楕円形 | 0.62 × 0.55 | 13 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-29→本跡 | |
| 59 | J16j0 | N-0° | 楕円形 | 0.86 × 0.66 | 18 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | 上層器片 | 本跡→本跡 |
| 60 | K17g0 | N-20°-W | [長方形] | [1.32 × 0.53] | 80 | 垂直 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-88 | 縄文時代(跡L穴) |
| 61 | K18f1 | N-30°-E | 円形 | 0.56 × 0.53 | 40 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(杯) | 本跡→SI-135 | 8世紀前半 |
| 62 | K18f1 | N-40°-W | 円形 | 0.60 × 0.55 | 40 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | 本跡→SI-135 | |
| 64 | L17b6 | N-10°-W | 不定形 | 1.05 × 0.83 | 40 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | SI-118→本跡→SI-129 | |
| 66 | K16f0 | N-0° | 円形 | 0.57 × 0.56 | 29 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SB-2→本跡→SI-66 | |
| 68 | L17e6 | N-86°-W | 円形 | 0.71 × 0.64 | 42 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | SI-120・122・133→本跡 | |
| 69 | L17c6 | N-87°-W | 円形 | 0.67 × 0.63 | 30 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | SI-133→本跡 | |
| 72 | K17f1 | N-86°-E | 長方形 | 1.53 × 0.95 | 40 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(高台付椀) | SI-66→本跡 | 11世紀 |
| 73 | J17j4 | N-5°-W | 隅丸長方形 | 1.38 × 1.06 | 23 | 緩斜 | 平坦 | 人為 | 土師器(高台付椀) | SI-61, SB-7→本跡 | 9世紀後半 |
| 77 | L18i3 | N-0° | 隅丸方形 | 0.51 × 0.50 | 59 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | SI-106・160, SB-18→本跡 | |
| 78 | L18f2 | N-7°-W | 長方形 | 1.64 × 1.06 | 120 | 垂直 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-106 | 縄文時代(跡L穴) |
| 79 | K17h0 | N-0° | 円形 | 0.80 × 0.75 | 61 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-89→本跡 | |
| 80 | K17g0 | N-25°-E | 楕円形 | 1.42 × 1.09 | 36 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-89→本跡→SI-88 | |
| 81 | K15c0 | N-90°-E | 楕円形 | 1.10 × 0.87 | 24 | 緩斜 | 平皿 | 不明 | | SI-14→本跡 | |
| 82 | K16h1 | N-87°-E | 円形 | 1.50 × 1.40 | 88 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 83 | K16g1 | N-90°-E | 円形 | 1.25 × 1.15 | 25 | 外傾 | 平皿 | 人為 | | | |
| 84 | K15b9 | N-0° | 楕円形 | 1.26 × 0.97 | 32 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | SI-18・140→本跡 | |
| 85 | K15i0 | N-62°-W | 円形 | 1.14 × 1.09 | 27 | 緩斜 | 平皿 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 86 | K16i2 | N-10°-E | 円形 | 1.34 × 1.27 | 28 | 緩斜 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | | |
| 87 | K16j1 | N-4°-W | 不整形円形 | 0.82 × 0.70 | 45 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-112と重複 | |
| 88 | K16j1 | N-0° | 円形 | 1.05 × 1.05 | 39 | 垂直 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 89 | K16i1 | N-0° | 円形 | 0.70 × 0.70 | 15 | 緩斜 | 凹凸 | 人為 | | | |
| 90 | K16g1 | N-50°-W | 楕円形 | 1.46 × 1.03 | 46 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SK-91と重複 | |
| 91 | K16g1 | N-20°-E | [楕円形] | 1.60 × 0.78 | 30 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 須恵器片 | SK-90と重複 | |
| 92 | K16f1 | N-90°-E | 楕円形 | 0.80 × 0.70 | 22 | 緩斜 | 平坦 | 人為 | 土師器片 土師質土器片 | | |
| 93 | K16f4 | N-65°-W | 円形 | 1.05 × 1.00 | 38 | 緩斜 | 皿状 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-38→本跡 | |
| 94 | K15f0 | N-60°-E | 楕円形 | 0.70 × 0.58 | 55 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | | SI-14→本跡 | |
| 95 | K16f1 | N-2°-W | 楕円形 | 0.45 × 0.40 | 32 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 須恵器(高台付椀) | | 9世紀前半 |
| 96 | K16g2 | N-30°-E | 楕円形 | 1.96 × 1.44 | 100 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器(杯・高台付椀) | SK-97→本跡 | 11世紀前半 |
| 97 | K16g2 | N-0° | [隅丸長方形] | [1.95 × 1.80] | 41 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 須恵器(蓋「新大甕」) | 本跡→SK-96 | 8世紀中葉 |
| 99 | K16g2 | N-36°-W | 方形 | 1.51 × 1.49 | 95 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(杯) | | 10世紀末~11世紀前半 |
| 100 | J15b7 | N-80°-E | 楕円形 | 1.24 × 0.90 | 85 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | 縄文時代(跡L穴) |
| 101 | J15a8 | N-48°-E | 楕円形 | 1.20 × 1.20 | 96 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | 縄文時代(跡L穴) |
| 102 | J15b7 | N-30°-W | 楕円形 | 1.22 × 1.05 | 31 | 緩斜 | 皿状 | 人為 | | | |
| 103 | K15f0 | N-60°-W | 円形 | 0.51 × 0.49 | 21 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-14→本跡 | |
| 104 | J15g9 | N-22°-W | 円形 | 1.12 × 1.08 | 54 | 垂直 | 平坦 | 人為 | | | |
| 105 | J15g9 | N-48°-W | 楕円形 | 1.17 × 1.03 | 40 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 須恵器(盤, 高脚) | | 9世紀前半 |
| 106 | J16g1 | N-0° | 円形 | 1.14 × 1.04 | 39 | 垂直 | 平坦 | 人為 | | | |
| 107 | J16g1 | N-0° | 円形 | 0.94 × 0.91 | 24 | 垂直 | 平坦 | 人為 | | | |
| 108 | K15a0 | N-62°-W | 不明 | [0.92 × 0.23] | 20.2 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-9と重複 | |

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|-------|-----------------|--------|----|----|----|---------------|-----------------------------|
| | | | | 長径(軸)×短径(軸) | 深さ(cm) | | | | | |
| 110 | K15b9 | N-70°-W | 円形 | 0.96 × 0.92 | 20 | 外傾 | 平皿 | 人為 | 須恵器片 | SI-10→本跡 |
| 111 | J16c1 | N-78°-W | 長楕円形 | 2.53 × 1.36 | 120 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 縄文時代(期7穴) |
| 112 | K15b0 | N-63°-W | 円形 | 1.06 × 1.00 | 16 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-10→本跡 |
| 113 | K16f3 | N-4°-W | 楕円形 | 0.96 × 0.82 | 32 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-38→本跡 |
| 114 | K16j1 | N-5°-W | 円形 | 0.46 × 0.44 | 35 | 垂直 | 皿状 | 人為 | | |
| 115 | K17e8 | N-7°-E | 楕円形 | 0.90 × 0.76 | 20 | 垂直 | 平皿 | 不明 | | SI-80→本跡→SK-55 |
| 116 | K15e9 | N-78°-E | 楕円形 | 0.73 × 0.66 | 27 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | SI-11→本跡 |
| 117 | K15c9 | N-6°-W | 楕円形 | 0.69 × 0.51 | 32 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-11→本跡 |
| 118 | K16i0 | N-2°-W | [長方形] | 1.06 × (0.65) | 42 | 垂直 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-136→本跡, SK-132と重複 |
| 119 | K16i7 | N-29°-W | 楕円形 | 3.73 × 2.68 | 20 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 文土器 | |
| 120 | K16i4 | N-0° | 方形 | 1.12 × 1.07 | 55 | 垂直 | 凹凸 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | |
| 121 | J15a0 | N-49°-W | 不整形円形 | 2.14 × 1.58 | 44 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SK-127と重複 |
| 122 | K16e7 | N-0° | [円形] | [0.92] × 0.91 | 50 | 外傾 | 平皿 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-47→本跡 |
| 123 | K16d7 | N-80°-E | 隅丸長方形 | 1.19 × 0.75 | 60 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-47→本跡 |
| 124 | K16h3 | N-0° | 楕円形 | 1.30 × 1.10 | 48 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-40→本跡 |
| 125 | K16h3 | N-19°-W | 楕円形 | 1.09 × 0.98 | 60 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | 本跡→SI-134 |
| 126 | K16g0 | N-90°-E | 不整形円形 | 0.98 × 0.83 | 56 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器(高台付碗) | SI-137→本跡 10世紀後半 |
| 127 | J15b0 | N-49°-W | 不整形 | 0.85 × 0.31 | 45 | 垂直 | 皿状 | 不明 | | SK-121と重複 |
| 129 | K16i0 | N-2°-W | 長方形 | 3.37 × 1.88 | 50 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-40→本跡 |
| 131 | K16i0 | N-8°-W | 長方形 | 0.92 × 0.78 | 38 | 垂直 | 平坦 | 人為 | | 本跡→SI-136 |
| 132 | K16i0 | N-27°-W | 方形 | 0.98 × 0.95 | 38 | 垂直 | 平皿 | 人為 | 土師器(坏) | 本跡→SI-136, SK-131と重複 10世紀後半 |
| 140 | J16g4 | N-53°-W | 楕円形 | 1.26 × 1.11 | 68 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | 本跡→SI-27 |
| 141 | K16a6 | N-75°-E | 不整形円形 | 1.08 × 0.92 | 30 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | |
| 142 | K16j2 | N-0° | 円形 | 0.85 × 0.85 | 51 | 傾斜 | 平皿 | 不明 | 土師器(坏) | SI-41→本跡 10世紀後半 |
| 146 | K17c1 | N-13°-E | 隅丸長方形 | (1.90) × (1.42) | 56 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(坏) | SB-4・5→本跡 9世紀後半 |
| 147 | K17e2 | N-10°-W | 長方形 | 1.42 × 1.10 | 48 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SB-4・5→本跡, SK-149と重複 |
| 149 | K17c2 | N-6°-E | 楕円形 | (0.96) × 1.06 | 20 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SB-4・5, SK-147と重複 |
| 153 | K16j6 | N-13°-E | 円形 | 0.60 × 0.55 | 53 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | |
| 154 | J17i4 | N-64°-W | 円形 | 0.69 × 0.65 | 41 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | |
| 156 | J17i4 | N-39°-W | 円形 | 0.70 × 0.68 | 79 | 垂直 | 皿状 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | 本跡→SB-13 |
| 157 | J17i4 | N-3°-W | 楕円形 | 0.53 × 0.44 | 38 | 垂直 | 皿状 | 人為 | | 本跡→SB-13 |
| 158 | J17i4 | N-90°-E | 楕円形 | 0.83 × 0.70 | 45 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | |
| 160 | J17i5 | N-81°-E | 円形 | 0.36 × 0.33 | 30 | 外傾 | 平皿 | 不明 | | 本跡→SB-7 |
| 161 | J17i5 | N-6°-E | 長方形 | 0.98 × 0.66 | 24 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | 本跡→SB-7, SK-162と重複 |
| 162 | J17i5 | N-29°-E | 円形 | 0.50 × 0.46 | 48 | 垂直 | 平皿 | 不明 | 土師器片 | SK-161と重複 |
| 163 | K16i6 | N-0° | 円形 | 0.56 × 0.56 | 40 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | |
| 164 | J17i5 | N-19°-W | 円形 | 0.83 × 0.75 | 78 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SK-24と重複 |
| 167 | J16j4 | N-0° | 円形 | 2.10 × 2.09 | 49 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | |
| 169 | L17d5 | N-58°-W | 楕円形 | 0.28 × 0.24 | 30 | 外傾 | 平皿 | 不明 | | SI-131→本跡 |
| 170 | K16e7 | N-0° | 楕円形 | 0.53 × 0.66 | 47 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-48→本跡 |
| 171 | K16e7 | N-0° | 楕円形 | 0.74 × 0.53 | 47 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-97→本跡 |
| 172 | K16d9 | N-87°-W | 隅丸長方形 | 0.66 × 0.54 | 17 | 傾斜 | 平坦 | 人為 | | SI-97→本跡 |
| 173 | J17i4 | N-79°-E | 楕円形 | 0.97 × 0.69 | 43 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | 本跡→SB-13 |
| 174 | J17h4 | N-23°-W | 円形 | 0.68 × 0.62 | 86 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | |
| 175 | J17h4 | N-7°-W | 楕円形 | 0.42 × 0.38 | 31 | 外傾 | 平皿 | 人為 | 土師器片 | |

| 番号 | 位置 | 直径(前) 方向 | 平面形 | 规格(m) | | 厚3(cm) | 断面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|----------|--------|-----------------|-----|--------|----|----|-----------|---------------------------|-------------|
| | | | | 直径(前)×直径(後) | | | | | | | |
| 177 | J16j3 | N-46°-E | 円形 | 0.68 × 0.64 | 36 | 縦斜 | 皿状 | 自然 | 土師器片 鉄鏃 | SI-37→本跡 | |
| 178 | K17h2 | N-90°-E | 円形 | 0.88 × 0.83 | 43 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-98→本跡 | |
| 180 | K15h0 | N-8°-W | 不整形円形 | 1.33 × 1.36 | 15 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | 須恵器(蓋) | SI-140→4跡-SI-16・17・18 9世紀 | |
| 181 | K16i3 | N-20°-E | 円形 | 0.95 × 0.85 | 30 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | 本跡→SI-40 | |
| 183 | K17b2 | N-10°-E | 隅丸方形 | 1.20 × 1.10 | 30 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | 土師器(坏) | SB-5→本跡-SK-30 10世紀後半 | |
| 188 | K16c7 | N-63°-W | 円形 | 0.77 × 0.69 | 72 | 垂直 | 凹凸 | 自然 | 土師器片 | SI-48→本跡 | |
| 189 | J16h9 | N-7°-E | 楕円形 | 0.74 × 0.64 | 21 | 縦斜 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | | |
| 190 | J16h9 | N-47°-W | 不整形円形 | 0.78 × 0.71 | 94 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 191 | J16h9 | N-15°-W | 楕円形 | 0.75 × 0.60 | 91 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(坏) | 7世紀中葉～ | |
| 192 | J16h0 | N-9°-E | 楕円形 | 0.69 × 0.60 | 74 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | | |
| 193 | L17c6 | N-14°-W | 楕円形 | 1.57 × 1.07 | [5] | 外傾 | 凹凸 | 不明 | 土師器(蓋) | SI-130→本跡 | |
| 194 | J16g9 | N-8°-W | 楕円形 | 0.68 × 0.49 | 49 | 垂直 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | | |
| 195 | K18e2 | N-11°-W | 円形 | 0.64 × 0.61 | 18 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 196 | K18e3 | N-16°-E | 長方形 | 1.43 × 0.82 | 80 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 197 | K18e4 | N-0° | 楕円形 | 0.88 × 0.74 | 44 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | | |
| 198 | K18e2 | N-37°-W | 楕円形 | 1.56 × 0.79 | 75 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | |
| 200 | K16c7 | N-90°-E | 円形 | 0.72 × 0.68 | 15 | 縦斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | SI-48→本跡 | |
| 203 | K17h1 | N-86°-E | 円形 | 1.01 × 0.95 | 54 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-121→本跡→SK-499 | |
| 204 | K17h2 | N-62°-W | 円形 | 0.87 × 0.82 | 10 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | SI-121→本跡 | |
| 205 | K17i2 | N-0° | 長楕円形 | 2.00 × 0.90 | 90 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-121 縄文時代前期 | |
| 206 | L18c1 | N-65°-W | 楕円形 | (0.92) × (0.83) | 20 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器(坏) | SI-111→本跡 11世紀 | |
| 208 | J16i4 | N-87°-E | 長方形 | 2.26 × 1.30 | 90 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-90 縄文時代前期 | |
| 210 | K18e2 | N-0° | 円形 | 1.11 × 1.10 | 104 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 211 | K18d2 | N-72°-W | 円形 | 1.49 × 1.45 | 100 | 垂直 | 皿状 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 213 | L18e3 | N-31°-W | 楕円形 | 1.00 × 0.89 | 65 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-107→本跡 | |
| 214 | K18g2 | N-90°-E | 楕円形 | 1.17 × 0.86 | 56 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 215 | L17f8 | N-3°-W | 円形 | 1.25 × 1.15 | 61 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 218 | L17e7 | N-64°-E | 楕円形 | 1.94 × 1.35 | 55 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 219 | L17c7 | N-60°-E | 長楕円形 | 2.20 × 1.20 | 100 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-101 縄文時代前期 | |
| 221 | L18f1 | N-5°-E | [長楕円形] | 1.64 × 1.02 | 100 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-109-111 縄文時代前期 | |
| 222 | L17c6 | N-0° | 長方形 | 0.71 × 0.61 | 62 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | 本跡→SI-129 | |
| 223 | L17c6 | N-0° | 円形 | 0.66 × 0.66 | 30 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | 本跡→SI-118・129 | |
| 224 | L17d7 | N-70°-E | 長方形 | 0.56 × 0.44 | 20 | 垂直 | 凹凸 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | 本跡→SI-102・103 | |
| 225 | L17d7 | N-20°-W | 楕円形 | 0.70 × 0.62 | 35 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | | 本跡→SI-102・103 | |
| 226 | L17c5 | N-64°-W | 楕円形 | 0.86 × 0.62 | 27 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | | 本跡→SI-131 | |
| 227 | L17c5 | N-0° | 円形 | 0.88 × 0.90 | 50 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(坏) | SI-131→本跡 10世紀末-11世紀 | |
| 228 | K17b2 | N-6°-W | 不整形円形 | 1.15 × 0.92 | 10 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | |
| 229 | K17b2 | N-90°-E | 楕円形 | 1.18 × 0.93 | 35 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | | |
| 230 | K17b2 | N-38°-W | 楕円形 | 1.12 × 1.00 | 28 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 231 | K17b1 | N-80°-W | 楕円形 | 1.26 × 1.16 | 15 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | | |
| 232 | K16b0 | N-16°-W | 楕円形 | 1.47 × 1.42 | 60 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 233 | L17e7 | N-70°-E | 円形 | 0.86 × 0.80 | 23 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | | | |
| 235 | K17a1 | N-49°-W | 不整形円形 | 1.94 × 1.45 | 35 | 縦斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 236 | L17d1 | N-3°-W | [長方形] | (1.00) × 1.03 | 70 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | SI-128→本跡 | |
| 237 | K17d1 | N-90°-E | 円形 | 1.03 × 1.01 | 32 | 垂直 | 凹凸 | 人為 | | | |
| 241 | J16i9 | N-11°-E | 楕円形 | 0.61 × 0.46 | 45 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 | SI-52→本跡 | |

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 深さ(cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|---------|---------------|---|--------|----|----|----|--------------|--|
| | | | | 長径(軸)×短径(軸) | 幅 | | | | | | |
| 242 | L18d2 | N-85°-E | 楕円形 | 0.92 × 0.81 | | 35 | 縦斜 | 皿状 | 人為 | | |
| 243 | L17e0 | N-58°-E | 楕円形 | 0.66 × 0.81 | | 87 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | |
| 244 | L17e0 | N-4°-W | 長楕円形 | 1.80 × 1.17 | | 90 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 縄文時代(臨シ穴) |
| 246 | K16e9 | N-54°-E | 隅丸方形 | 1.72 × 1.62 | | 40 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器(杯) | SI93-SK-246 → 本跡 9段重→出磨干 |
| 247 | K16f9 | N-65°-E | 隅丸長方形 | 1.24 × 1.05 | | 21 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-93-SK-246 → 本跡 |
| 248 | K16f8 | N-78°-E | 隅丸長方形 | 1.68 × 1.28 | | 31 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-93 → 本跡 |
| 249 | K16g8 | N-90°-E | 楕円形 | 0.92 × 0.75 | | 34 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器(高台付筒) | SI-93 → 本跡 10世紀後半 |
| 250 | K17f3 | N-0° | 円形 | 1.16 × 1.11 | | 38 | 縦斜 | 皿状 | 人為 | | SI-68 → 本跡 |
| 251 | K17e3 | N-49°-W | 楕円形 | 1.27 × 1.04 | | 16 | 縦斜 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-68 → 本跡 |
| 259 | L18d1 | N-33°-W | 楕円形 | 0.89 × 0.79 | | 15 | 縦斜 | 皿状 | 自然 | 土師器片 | |
| 260 | J16g8 | N-0° | 円形 | 0.44 × 0.44 | | 21 | 縦斜 | 皿状 | 不明 | | |
| 261 | K17e1 | N-6°-E | 隅丸長方形 | 2.46 × 1.25 | | 25 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | |
| 262 | K17e8 | N-0° | 円形 | 1.47 × 1.42 | | 61 | 垂直 | 平坦 | 人為 | | |
| 267 | K17d2 | N-76°-W | 楕円形 | 1.24 × 1.00 | | 25 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 土師質土器片 | SB-4, SK-183 → 本跡 |
| 275 | K17a8 | N-26°-E | 楕円形 | 0.89 × 0.75 | | [33] | 縦斜 | 皿状 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-78 → 本跡 |
| 276 | J17j3 | N-0° | 円形 | 1.08 × 1.07 | | 14 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | SI-74 → 本跡 |
| 278 | J17g2 | N-61°-E | 楕円形 | 0.62 × (0.44) | | 13 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | SB-11と重複 |
| 279 | J17j1 | N-3°-W | 楕円形 | 0.68 × 0.55 | | 11 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | 本跡→SI-54 |
| 280 | J17j2 | N-33°-E | 不整形円形 | 0.90 × 0.70 | | 22 | 縦斜 | 凹凸 | 不明 | | |
| 281 | L19e4 | N-89°-E | 長方形 | 1.02 × 0.79 | | 13 | 縦斜 | 平坦 | 自然 | | SK-282と重複 |
| 282 | L19e4 | N-12°-W | 楕円形 | 0.73 × 0.62 | | 34 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | SK-281と重複 |
| 284 | K17c4 | N-10°-E | 楕円形 | 0.74 × 0.68 | | 81 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | SI-63 → 本跡→SD3 |
| 290 | L18f6 | N-0° | 楕円形 | 1.06 × 0.90 | | 27 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-164 → 本跡 |
| 291 | L18g9 | N-17°-W | 長方形 | 1.81 × 1.43 | | 32~52 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-171 → 本跡 |
| 292 | L18g5 | N-90°-E | 不定形 | 1.89 × 1.61 | | 120 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | SK30→4種→SI34 縄文時代(臨シ穴) |
| 293 | L18g5 | N-84°-E | 正方形 | 1.17 × 1.09 | | 45 | 縦斜 | 皿状 | 自然 | | SI-160 → 本跡 |
| 295 | L18g4 | N-81°-E | 楕円形 | 1.38 × 1.04 | | 82 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器(杯、甕、高杯) | SI-160 → 本跡 9段重→6段重 |
| 296 | L18i8 | N-75°-E | 楕円形 | 1.11 × 0.82 | | 35 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SI-168 → 本跡 |
| 300 | L18h6 | N-35°-E | 円形 | 0.85 × 0.82 | | 90 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | SI-167 → 本跡 |
| 301 | L18g5 | N-85°-E | 楕円形 | 1.25 × 1.11 | | 20 | 縦斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | SI-160 → 本跡 |
| 302 | L18f4 | N-6°-W | 楕円形 | 1.33 × 1.11 | | 22 | 縦斜 | 皿状 | 自然 | | SI-160 → 本跡 |
| 303 | L19f1 | N-9°-W | 長方形 | 2.96 × 1.26 | | 25 | 縦斜 | 凹凸 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-172 → 本跡 |
| 305 | L19f3 | N-5°-W | [不整形円形] | 2.12 × 1.66 | | 45 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 須恵器(蓋) | SI-186 → 本跡→SK-500-501-513-517 8重段重 |
| 306 | L18i0 | N-48°-E | (楕円形) | 1.32 × (0.64) | | 22 | 縦斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | SI-178 → 本跡 |
| 307 | L19i2 | N-90°-E | 長方形 | 2.43 × 1.83 | | 35 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 甕片 | SI-185 → 本跡→SK-308 中世以降 |
| 308 | L19g2 | N-90°-E | 不整形長方形 | 2.26 × 1.92 | | 36 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 甕片 | SK-307 → 本跡 中世以降 |
| 309 | L19g2 | N-78°-E | 長方形 | 2.00 × 1.70 | | 72 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 甕片 | SI-184 → 本跡 中世以降 |
| 310 | L18g5 | N-24°-E | 長方形 | 1.42 × 0.59 | | 50 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | 本跡→SI-164, SK-292 縄文時代(臨シ穴) |
| 311 | L20j3 | N-74°-W | 長方形 | 3.47 × 2.16 | | 37 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | |
| 312 | L20i5 | N-0° | 方形 | 1.86 × 1.84 | | [41] | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | |
| 313 | L20h6 | N-0° | 円形 | 1.00 × 1.00 | | 44 | 縦斜 | 平坦 | 自然 | | SD-17 → 本跡 |
| 315 | L19f2 | N-76°-E | 長方形 | (2.23) × 1.55 | | 34 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-185 → 本跡→SI-186 |
| 316 | M20a3 | N-76°-W | 方形 | 1.88 × 1.80 | | 38 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | 本跡→SK-317 中世 |
| 317 | M20a3 | N-72°-W | 長方形 | 3.09 × 2.01 | | 60 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 陶器(皿) | SK-316 → 本跡 13世紀 |
| 320 | L14g9 | N-73°-E | 楕円形 | 1.25 × 0.98 | | 27 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | |

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 尺規 (m) | | 深さ (cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|-------|-----------------|------|---------|----|----|--------------|-------------------|-------------|
| | | | | 長(厚)×短(壁) | 幅 | | | | | | |
| 321 | I14g0 | N-27°-W | 楕円形 | 1.20 × 1.02 | 37 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 322 | I15i2 | N-0° | 楕円形 | 1.78 × 1.22 | 32 | 縦斜 | 皿状 | 自然 | | | |
| 323 | J15g3 | N-0° | 円形 | 0.90 × 0.87 | 32 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 | | |
| 324 | I15j4 | N-90°-E | [方形] | [1.80] × 1.80 | 13 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 325 | I15j4 | N-5°-W | 円形 | 0.69 × 0.65 | 34 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | | |
| 326 | I15i2 | N-88°-E | [方形] | [1.85] × 1.80 | 5 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | | |
| 327 | I15h4 | N-85°-W | 楕円形 | 1.30 × 0.98 | 36 | 縦斜 | 皿状 | 人為 | | | |
| 328 | I15h3 | N-90°-E | 長方形 | 1.18 × 0.84 | 60 | 縦斜 | 皿状 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 329 | I15h3 | N-0° | 楕円形 | 1.20 × 1.07 | 32 | 縦斜 | 円凸 | 人為 | 土師器片 | | |
| 331 | L19g2 | N-82°-E | 長方形 | 1.92 × 0.86 | 35 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SI-184→本跡 | |
| 332 | M20d1 | N-13°-E | (長方形) | (2.50) × 1.19 | 14 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SK-452と重複 | |
| 333 | M20c2 | N-38°-W | 不定形 | 1.00 × 0.90 | 18 | 縦斜 | 凹凸 | 不明 | | SK-364と重複 | |
| 334 | M20b1 | N-53°-W | 楕円形 | 0.51 × 0.40 | 52 | 外傾 | 凹凸 | 人為 | | Pr3と重複 | |
| 335 | M20a1 | N-0° | 楕円形 | 0.54 × 0.45 | 94 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | | |
| 336 | M20a1 | N-80°-E | 楕円形 | 0.42 × 0.35 | 68 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | | |
| 337 | M20a1 | N-55°-W | 楕円形 | 0.52 × 0.29 | 26 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | | |
| 338 | M20a1 | N-0° | 円形 | 0.60 × 0.60 | 31 | 縦斜 | 円凸 | 人為 | | | |
| 339 | M20a1 | N-0° | 円形 | 0.55 × 0.35 | 65 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | | |
| 340 | M20b2 | N-70°-W | 楕円形 | 0.47 × 0.31 | 45 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 341 | M20b2 | N-38°-W | 楕円形 | 0.78 × 0.63 | 55 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | | |
| 342 | M20b3 | N-8°-W | 不整円形 | 0.81 × 0.77 | 11 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | Pr2と重複 | |
| 343 | M20b3 | N-45°-W | 不整楕円形 | 0.95 × 0.86 | 63 | 垂直 | 皿状 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 344 | M20b3 | N-0° | 長方形 | 1.01 × 0.73 | 27 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | |
| 345 | M20b3 | N-90°-E | 長方形 | 1.58 × 0.86 | 20 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | Pr2と重複 | |
| 346 | M20a2 | N-66°-E | 不定形 | 0.73 × 0.72 | 21 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 鉄鏝 | 本跡→SK-350 | |
| 347 | M20a2 | N-9°-E | 長方形 | 1.79 × 0.58 | 27 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SK-360と重複 | |
| 348 | L19h3 | N-73°-E | 円形 | 5.30 × 5.30 | 6 | 縦斜 | 皿状 | 不明 | 土師器片 | SI-184→本跡 | |
| 349 | M20b4 | N-63°-W | 不整楕円形 | 0.61 × 0.41 | 73 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 350 | M20b4 | N-84°-E | [長方形] | 1.47 × (0.45) | 19 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-351と重複 | |
| 351 | M20b4 | N-80°-E | 長方形 | 1.82 × 0.67 | 33 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-350・370と重複 | |
| 352 | M20b5 | N-51°-E | 楕円形 | 1.27 × 1.14 | 25 | 縦斜 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 353 | L20j5 | N-8°-E | 長方形 | 1.80 × 0.76 | [22] | 垂直 | 平坦 | 自然 | | | |
| 354 | L20j5 | N-64°-W | 不整楕円形 | 0.89 × 0.78 | [34] | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 | | |
| 355 | L20j5 | N-22°-E | 楕円形 | 0.71 × 0.81 | 84 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 第1号火葬施設→本跡 | |
| 356 | L19g4 | N-68°-E | 長方形 | 1.34 × 1.00 | 29 | 垂直 | 平坦 | 人為 | | SI-188→本跡 | |
| 357 | M20a5 | N-90°-E | 円形 | 0.27 × 0.25 | 52 | 垂直 | 皿状 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-404→本跡 | |
| 358 | M20a6 | N-30°-E | 不整楕円形 | 0.95 × 0.71 | 15 | 縦斜 | 凹凸 | 自然 | 土師器片 | | |
| 359 | M20a2 | N-66°-E | 不整楕円形 | 0.76 × 0.68 | 26 | 縦斜 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | SK-346→本跡 | |
| 360 | M20a2 | N-65°-E | 楕円形 | 2.00 × 1.27 | 42 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 羽1片 | SK-347と重複 | |
| 361 | M20b2 | N-46°-W | 不整楕円形 | 0.84 × 0.72 | 14 | 縦斜 | 凹凸 | 自然 | | | |
| 363 | M20b1 | N-0° | 楕円形 | 0.92 × 0.48 | 76 | 外傾 | 皿状 | 人為 | | 古銭(陶華元寶) | |
| 364 | M20d2 | N-48°-W | 長方形 | 4.55 × 1.78 | 39 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 鉄鏝 | SK-333・365・366と重複 | |
| 365 | M20c2 | N-45°-E | (円形) | (1.18) × (0.62) | 9 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | SK-364と重複 | |
| 366 | M20c2 | N-46°-E | [長方形] | (0.76) × (0.68) | 10 | 縦斜 | 平坦 | 不明 | | SK-364と重複 | |
| 367 | L20i5 | N-40°-E | 楕円形 | 1.37 × 1.22 | 42 | 外傾 | 凹凸 | 自然 | 土師器片 | | |
| 368 | L20j8 | N-44°-W | 不整楕円形 | 0.58 × 0.40 | 54 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 深さ(cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|-------|---------------|-------|--------|----|----|--------------|----------------------------------|-------------|
| | | | | 長径(軸)×幅(短径) | 高さ | | | | | | |
| 369 | L2018 | N-62°-W | 楕円形 | 0.66 × 0.54 | 35 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 370 | M20b5 | N-0° | 円形 | 0.43 × 0.41 | 59 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SK-351と重複 | |
| 371 | M20b5 | N-69°-W | 楕円形 | 0.42 × 0.38 | 48 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 373 | M20b3 | N-90°-E | 長方形 | 0.85 × 0.68 | 49 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 374 | M20b4 | N-0° | 不整形円形 | 0.40 × 0.40 | 62 | 垂直 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | | |
| 375 | M20a7 | N-14°-E | 不整形円形 | 1.04 × 0.96 | 20 | 緩斜 | 皿状 | 自然 | | | |
| 377 | M20a6 | N-0° | 楕円形 | 0.54 × 0.48 | 32 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | SK-378と重複 | |
| 378 | M20a6 | N-11°-W | 楕円形 | 0.60 × 0.51 | 18 | 緩斜 | 皿状 | 不明 | 土師器片 鉄滓 | SK-377と重複 | |
| 379 | M20a6 | N-62°-W | 楕円形 | 0.47 × 0.38 | 68 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 380 | M20a6 | N-84°-E | 楕円形 | 0.29 × 0.19 | 29 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | | |
| 381 | M20a6 | N-20°-W | 不整形円形 | 0.70 × 0.46 | 68 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | SK-383と重複 | |
| 382 | M20a6 | N-23°-W | 楕円形 | 0.56 × 0.43 | 54 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | | |
| 383 | M20a6 | N-0° | 楕円形 | 0.41 × (0.32) | 15 | 外傾 | 皿状 | 不明 | | SK-381と重複 | |
| 384 | M20b6 | N-7°-E | 長方形 | 1.84 × 0.69 | 24 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本館→若2号穴跡施設, Pg.1と重複 | |
| 389 | M20a6 | N-50°-W | 楕円形 | 0.39 × 0.31 | 27 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | | |
| 390 | M20a6 | N-25°-W | 円形 | 0.28 × 0.25 | 16 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | | |
| 391 | L19h3 | N-78°-E | 楕円形 | 0.81 × 0.54 | 71 | 外傾 | 皿状 | 人為 | 土師器片 | SI-184→本跡 | |
| 393 | L19h3 | N-54°-W | 方形 | 0.52 × 0.37 | 12 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-184→本跡 | |
| 400 | M20a6 | N-70°-W | 円形 | 0.39 × 0.37 | 35 | 外傾 | 皿状 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-401と重複 | |
| 401 | M20a7 | N-0° | 不整形円形 | 1.63 × 1.22 | 11 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-400と重複 | |
| 402 | M19b6 | N-31°-E | 楕円形 | 0.96 × 0.86 | 65 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器片 | SI-200→本跡 | |
| 403 | M19b4 | N-67°-E | (楕円形) | (1.03 × 0.43) | 13 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-198→本跡 | |
| 404 | M20a5 | N-90°-E | 長方形 | 2.45 × 1.13 | 16 | 緩斜 | 西凸 | 人為 | 古銭(開帳元寶) | SK-405→本跡→SK-357, SA6-7, Pg.1と重複 | 中後 |
| 405 | M20a6 | N-41°-E | 楕円形 | 0.51 × 0.36 | 29 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 古銭(開帳元寶) | 本跡→SK-404 | 中後 |
| 406 | M20a6 | N-68°-E | 楕円形 | 0.40 × 0.28 | 35 | 垂直 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | Pg.1と重複 | |
| 407 | L20j2 | N-85°-E | 長方形 | 3.60 × 1.00 | 56 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 408 | M19a5 | N-0° | 長方形 | 1.78 × 0.94 | 52~70 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | SI-200→本跡 | |
| 409 | M19b5 | N-88°-E | [楕円形] | (0.81 × 0.68) | 40 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-198, SK-410→本跡 | |
| 410 | M19b5 | N-36°-E | [長方形] | (1.59 × 0.94) | 110 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | 本跡→SI-198, SK-409 縄文(陶土) | |
| 411 | M19a6 | N-11°-E | 楕円形 | 0.81 × 0.73 | 43 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | SI-200→本跡 | |
| 412 | M19c0 | N-90°-E | 円形 | 0.86 × 0.80 | 45 | 緩斜 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | | |
| 413 | L19i9 | N-86°-E | 楕円形 | 0.69 × 0.58 | 28 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | | |
| 414 | L19h3 | N-90°-E | 長方形 | 1.40 × 1.02 | 72 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 土製硝口 鉄滓 | 平安時代 | |
| 416 | L19a9 | N-84°-E | 楕円形 | 0.89 × 0.71 | 57 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | SI-204→本跡 | |
| 418 | L19i8 | N-27°-W | 長楕円形 | 2.01 × 1.36 | 100 | 外傾 | 皿状 | 自然 | | 本跡→SB17SK-85 縄文時代(陶土) | |
| 419 | M19a4 | N-90°-E | 円形 | 0.84 × 0.76 | 60 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | | |
| 420 | L19g4 | N-87°-E | 不定形 | 2.24 × 1.25 | 35 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | |
| 421 | I15j2 | N-26°-W | 楕円形 | 0.76 × 0.56 | 11 | 緩斜 | 皿状 | 不明 | | | |
| 422 | I15i2 | N-33°-E | 楕円形 | 1.72 × 0.87 | 24 | 緩斜 | 皿状 | 自然 | | SI-219→本跡 | |
| 423 | I15i1 | N-10°-W | 楕円形 | 0.97 × 0.85 | 32 | 緩斜 | 皿状 | 自然 | | | |
| 424 | I15i3 | N-18°-W | 楕円形 | 1.56 × 0.82 | 23 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | | |
| 425 | I15b4 | N-4°-W | [長方形] | 2.21 × (0.90) | 19 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | | |
| 426 | I15i3 | N-0° | 楕円形 | 0.42 × 0.42 | 48 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | | |
| 427 | I15i3 | N-69°-W | 楕円形 | 0.48 × 0.44 | 39 | 垂直 | 皿状 | 不明 | | | |

| 番号 | 位置 | 方位(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 高さ(cm) | 壁面 | 裏面 | 覆上 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|-------|-----------------|---|--------|----|----|----|-------------|-----------------------|
| | | | | 長(南側×西側) | 幅 | | | | | | |
| 428 | L15i4 | N-86°-W | 楕円形 | 0.44 × 0.40 | | 46 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | |
| 429 | L19h4 | N-48°-W | 楕円形 | 1.12 × 0.66 | | 119 | 垂直 | 凹凸 | 不明 | | SI-184→本跡、UP3と重複 |
| 430 | L18c3 | N-80°-E | [長方形] | [1.23] × 0.92 | | 40 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SB15 縄文時代(第1次) |
| 431 | L19f4 | N-68°-E | 長方形 | 1.15 × 0.92 | | 43 | 垂直 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | |
| 432 | L19e3 | N-13°-W | 不整形円形 | 1.65 × 1.43 | | 40 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 土師貫土器片 | |
| 433 | L19j8 | N-41°-E | 楕円形 | 1.43 × 1.07 | | 6 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | |
| 434 | L19e4 | N-38°-W | 楕円形 | 1.01 × 0.60 | | 27 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | |
| 435 | M19a5 | N-28°-W | 楕円形 | 0.73 × 0.63 | | 41 | 垂直 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SI-200→本跡 |
| 436 | L19e4 | N-0° | [長方形] | (0.61) × 0.47 | | 21 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 陶器(皿) | 本跡→SK-437 15世紀 |
| 437 | L19e4 | N-88°-E | 楕円形 | 1.99 × 0.74 | | 52 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | SK-436→本跡 |
| 438 | M19b5 | N-0° | 円形 | 0.73 × 0.70 | | 56 | 外傾 | 屈状 | 不明 | 土師器片 | SI-200→本跡 |
| 439 | L19d4 | N-33°-E | 不整形円形 | 0.83 × 0.56 | | 15 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 須恵器片 | |
| 440 | L20i1 | N-88°-W | 長方形 | 2.40 × 0.96 | | 22 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-440→本跡 |
| 441 | L19j2 | N-0° | 円形 | 1.10 × 1.08 | | 28 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | |
| 442 | M19a5 | N-90°-E | 楕円形 | 0.93 × [0.76] | | 53 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 漆 | SI-199→本跡 |
| 445 | L19e2 | N-7°-E | 長方形 | 1.26 × 0.84 | | 18 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 | SI-183→本跡 |
| 446 | L19j2 | N-70°-E | 長楕円形 | 2.21 × 1.11 | | 100 | 外傾 | 屈状 | 自然 | | 本跡→SI-176 縄文時代(第1次) |
| 447 | L20j2 | N-90°-E | 不整形円形 | 2.17 × 2.08 | | 15 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | |
| 448 | L20j1 | N-8°-E | 長方形 | 1.64 × 0.77 | | 42 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | |
| 449 | L20i1 | N-37°-E | 隅丸長方形 | 2.20 × 1.10 | | 80 | 外傾 | 屈状 | 自然 | | 本跡→SK-440 縄文時代(第1次) |
| 450 | M20a2 | N-27°-E | 不整形円形 | [0.97] × 0.71 | | 13 | 緩斜 | 平坦 | 人為 | 土師器(高坏) | 5 異記中要 |
| 451 | M20a3 | N-85°-W | 長方形 | 2.22 × 1.00 | | 14 | 緩斜 | 屈状 | 自然 | | |
| 452 | M20d1 | N-40°-E | [長方形] | (2.05) × [1.12] | | 8 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | SI-210→本跡、SK-332と重複 |
| 454 | L19e2 | N-74°-W | 楕円形 | 0.85 × 0.69 | | 44 | 外傾 | 屈状 | 人為 | 陶器(碗) | SI-183→本跡 中世末~近世 |
| 435 | L19e2 | N-10°-W | [楕円形] | 0.40 × 0.38 | | 38 | 外傾 | 屈状 | 不明 | 土師器片 | |
| 456 | L19j2 | N-90°-E | 楕円形 | 1.00 × 0.66 | | 20 | 外傾 | 屈状 | 自然 | | SI-183・185→本跡 |
| 461 | M19e0 | N-6°-E | 長方形 | 3.10 × 1.16 | | 37 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | |
| 462 | L19h7 | N-0° | 円形 | 0.60 × 0.60 | | 27 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 須恵器片 漆 | |
| 463 | L19h9 | N-16°-W | 楕円形 | 1.64 × 1.36 | | 31 | 外傾 | 屈状 | 人為 | 土師器片 須恵器片 漆 | |
| 465 | L20h2 | N-18°-W | 楕円形 | 1.14 × 0.89 | | 16 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | | |
| 466 | L20h3 | N-66°-W | 楕円形 | 0.90 × 0.80 | | 32 | 垂直 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | |
| 467 | L20h6 | N-15°-E | 不整形円形 | 1.10 × 0.97 | | 29 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 土師貫土器片 | SD-17→本跡 |
| 468 | L20h2 | N-45°-E | 不整形円形 | 0.91 × 0.57 | | 14 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SK-169と重複 |
| 469 | L20h2 | N-40°-W | 楕円形 | 0.45 × 0.35 | | 30 | 外傾 | 屈状 | 不明 | | SK-468と重複 |
| 470 | L18c3 | N-0° | 円形 | 1.03 × 1.04 | | 20 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | |
| 471 | L20h1 | N-90°-E | 楕円形 | 1.20 × 1.04 | | 16 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | |
| 472 | L20i3 | N-48°-E | 円形 | 0.68 × 0.62 | | 41 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | SK-173→本跡 |
| 473 | L20h3 | N-32°-W | 長方形 | 1.91 × 0.94 | | 44 | 緩斜 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | 本跡→SK-472、SK-478と重複 |
| 474 | L20i2 | N-74°-E | 楕円形 | 1.91 × 1.00 | | 18 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | 土師器片 漆 | SK-476・477・478と重複 |
| 476 | L20i2 | N-28°-E | 長方形 | 1.57 × 0.78 | | 47 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SK-474・477~479と重複 |
| 477 | L20i2 | N-28°-E | [楕円形] | 0.52 × (0.20) | | 48 | 外傾 | 屈状 | 不明 | | SK-474・476・478と重複 |
| 478 | L20i2 | N-44°-E | [長方形] | [5.22] × [1.96] | | 14 | 緩斜 | 平坦 | 自然 | 土師器片 須恵器片 | SK-473・476・477・479と重複 |
| 479 | L20i2 | N-34°-W | 不整形円形 | 0.31 × 0.23 | | 36 | 垂直 | 屈状 | 不明 | | SK-176・478と重複 |

| 番号 | 位置 | 長径(軸)方向 | 平面形 | 規模(m) | | 高さ(cm) | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考 (旧→新) |
|-----|-------|---------|-------|-----------------|-----|--------|----|----|-------------|--------------------------------|-------------|
| | | | | 長さ(軸)×幅径(軸) | 高さ | | | | | | |
| 480 | L19h9 | N-0° | 長方形 | 0.72 × 0.63 | 25 | 外傾 | 平坦 | 人為 | | | |
| 483 | K17f8 | N-90°-E | 方形 | 0.87 × 0.71 | 40 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 484 | K17e5 | N-87°-E | 楕円形 | 1.34 × 1.03 | 95 | 外傾 | 平坦 | 自然 | 土師器片 | | |
| 485 | L19h8 | N-12°-W | 楕円形 | 1.17 × 0.74 | 43 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 須恵器片 | SK-418→本跡→SP-17 | |
| 486 | M19a7 | N-84°-E | 楕円形 | 0.91 × 0.80 | 25 | 外傾 | 平坦 | 人為 | 土師器片 | | |
| 487 | M19a7 | N-0° | [円形] | [0.87] × [0.82] | 38 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 | | |
| 490 | M20b4 | N-72°-W | 不整形円形 | 1.30 × 1.12 | 20 | 外傾 | 平坦 | 不明 | 土師器片 土師質土器片 | | |
| 491 | M19c7 | N-9°-W | 円形 | 0.73 × 0.69 | 38 | 緩斜 | 圓状 | 人為 | 土師器片 | SI-202→本跡 | |
| 492 | M19b5 | N-90°-E | 楕円形 | 0.84 × 0.48 | 80 | 垂直 | 圓状 | 不明 | 土師器片 | | |
| 493 | L19g1 | N-55°-E | 楕円形 | 1.76 × 0.94 | 90 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | 本跡→SI-173 縄文時代(前シク) | |
| 494 | K17e7 | N-62°-W | 長方形 | 1.23 × 0.95 | 65 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | | |
| 495 | K17c7 | N-16°-W | 楕円形 | 1.12 × 0.80 | 32 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | | |
| 498 | L19h1 | N-49°-E | 不定形 | 1.20 × 1.17 | 32 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-173、174→本跡 | |
| 499 | K17h1 | N-24°-W | 円形 | 0.95 × 0.91 | 31 | 外傾 | 平坦 | 自然 | | SI-121, SK-203→本跡 | |
| 500 | L19f4 | N-81°-E | 長方形 | 1.64 × 1.29 | 33 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-186-SK-305→本跡, SK-513-S12重複 | |
| 501 | L19f3 | N-64°-E | 円形 | 1.56 × 1.46 | 31 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | SI-186, SK-305→本跡 | |
| 502 | K17b3 | N-90°-E | 不定形 | 1.28 × 1.14 | 65 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-98→本跡 | |
| 503 | M20a6 | N-30°-W | 楕円形 | 0.47 × 0.40 | 52 | 外傾 | 圓状 | 不明 | | | |
| 504 | L19j9 | N-90°-E | 楕円形 | 0.78 × 0.57 | 45 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-204→本跡 | |
| 506 | L19h8 | N-9°-W | 楕円形 | 0.57 × 0.51 | 15 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | | |
| 507 | K18f1 | N-68°-E | 長方形 | 2.00 × 1.14 | 161 | 垂直 | 平坦 | 不明 | | 本跡→SI-87・135 | |
| 508 | M19a7 | N-27°-E | [楕円形] | [1.13] × 0.99 | 30 | 外傾 | 圓状 | 不明 | | | |
| 509 | L19e3 | N-15°-W | 長方形 | 1.30 × 0.62 | 62 | 垂直 | 圓状 | 不明 | | | |
| 510 | J15i9 | N-4°-E | 楕円形 | 0.89 × 0.78 | 12 | 外傾 | 圓状 | 不明 | | SI-7→本跡 | |
| 511 | J16e2 | N-3°-W | 楕円形 | 0.66 × 0.61 | 8 | 外傾 | 圓状 | 不明 | | SI-21→本跡 | |
| 512 | L19e3 | N-0° | 円形 | 0.59 × 0.57 | 73 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-186→本跡, SK-317と重複 | |
| 513 | L19f4 | N-84°-E | 長方形 | 1.26 × 1.15 | 35 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-186, SK-305→本跡 | |
| 514 | L19f4 | N-50°-E | 不整形円形 | 0.43 × 0.32 | 28 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-186→本跡, SK-300と重複 | |
| 515 | K17a5 | N-12°-E | 楕円形 | 1.46 × 1.32 | 24 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-62→本跡 | |
| 516 | K17b5 | N-51°-W | 円形 | 1.13 × 1.10 | 11 | 緩斜 | 平坦 | 不明 | | SI-62→本跡 | |
| 517 | L19e3 | N-84°-E | [長方形] | 1.18 × 0.86 | 43 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | SI-186, SK-305→本跡, SK-512と重複 | |
| 518 | L20g5 | N-74°-E | 長方形 | 1.80 × 0.89 | 26 | 外傾 | 平坦 | 不明 | | | |

第4節 まとめ

1 はじめに

今回の調査によって、当遺跡は弥生時代後期、古墳時代中期から平安時代後期にかけての集落跡であることが明らかになった。また、中世から近世にかけては、一部墓域として使用されていたことも判明した。

ここでは確認された遺構・遺物をもとにして当向遺跡の概要をのべ、まとめとした。

(1)旧石器時代

旧石器時代の遺物としては、石槍・剥片が出土している。石器が集中している地点や地層は特定できず、遺物は表土および後世の遺構の覆土中から出土している。石材は頁岩、安山岩などである。

(2)縄文時代（第425図）

土坑18基を確認した。平面形は長方形または長楕円形を呈しているものが多く、深さは50～120cmほどである。このうち、第111・208・310・430号土坑の底面には、杭を立てたようなピットが検出されており、陥し穴として使用されたことが考えられる。その他の土坑もピットは確認されていないものの、規模や形状がこれらと類似していることから、同じく陥し穴として使用されたものであろう。平坦面の標高65m付近と、東斜面の標高61m付近に多く分布しており、軸方向が同一のものも見られる。出土遺物が見られないことから、構築時期を判断することは困難である。

第78号土坑と第221号土坑、第446号土坑と第493号土坑のように、軸方向をほぼ同じくする土坑が比較的近接して位置していることから、捕獲対象となる動物の通り道に沿って数回にわたり構築された可能性がある¹¹。また石鏃が出土していることから、当遺跡周辺は狩猟の場となっていたと想定され、集落は別の場所に営まれていたと考えられる。

(3)弥生時代（第425図）

当遺跡で人々が生活を始めた時代であり、第93・146・161・169・202号住居跡の5軒が該当する。住居の密度は薄く、平野部から東側の斜面に広がっており、調査区域の南側に分布していることから、調査区域外にもこの時期の集落が広がっている可能性がある。住居は長方形が基本で北側に炬が設けられており、第93・161号住居跡からは瓦石が出土している（第23・25図）。

周辺では、当遺跡にほど近い大泉地区¹²や松田古墳群の盛土内から弥生時代中期の土器が出土しており¹³、中期の段階には弥生人がこの地で生活を始めたと確認できる。しかし、これに該当する時期の遺構は今のところ確認されておらず、その実態は明らかにはなっていない。東に位置する辰海道遺跡では後期前半に集落の運営が開始されており¹⁴、当遺跡はこれに少し遅れて集落の形成が始まっている。

当遺跡から出土している弥生土器は、栃木県方面から県西部に分布が見られる二軒屋式土器が主体である。また破片資料であるものの、第161号住居跡出土のT P 8（第26図）のように十玉台式土器の特徴を備えた土器片も存在し、那珂川方面の影響も見られる¹⁵。これらの土器は後期後半に属する一群であるが、一部第169号住居跡T P 21（第27図）のように若干時期がさかのぼると考えられる土器もみられることから、調査区域外に当該時期の施設が営まれている可能性は高い。



第425図 縄文・弥生時代遺構の変遷

(4)古墳時代 (第426・427図)

古墳時代中期から7世紀後半頃にかけての堅穴住居跡14軒、上坑4基を調査した。弥生時代後期に集落が営まれたものの、人々の居住は前期に一旦断絶する。当遺跡に隣接する金谷遺跡の状況を見ると、古墳時代前期にさかのぼる住居跡が確認されていることから¹⁾、この時期になり集落が東へ移動したことが考えられる。

これらの遺構は、7期に分けることができる。

1期 (5世紀中葉)

集落が再び営まれる時期である。第178・184号住居跡の2軒がこの時期に該当する。重複により全形は明らかではないが、平面形はやや横長の長方形で地床炉が主流であったと考えられる。住居は東斜面に隣接して造られており、主軸が異なっていることから、時期が細分される可能性がある。

第184号住居跡の上器が本期を代表するものである(第87図)。高坏は坏部下端に稜があり口縁部が外傾して立ち上がるものと、坏部下端に稜を残して口縁部が内湾しながら立ち上がるものの2種が見られる。後者は腕に脚を付けた形態である。共に脚部は直線状に広がって裾部は強く外反し、坏部の径が脚の径より大きいことで共通している。甕は頸部が強く屈曲し、胴部は球形を呈している。蓋と埴の全容は不明であるが、埴の胴部は算盤玉状で、下半部にヘラ割りが施されている。埴を模倣した小型土器が出土している。

2期 (5世紀後葉)

第170・172・200・207・214号住居跡の5軒がこの時期に該当する。これらの住居跡は調査区域の東部を中心に分布し、前代よりも数が若干増加し、集落規模がわずかながら拡大する傾向がうかがえる。住居の平面形は、前段階に引き続き横長の長方形のプランが主流である。内部の構造は同じく地床炉を北側に設置しているものが主流を占めている。その一方で第172号住居跡の北壁から、煙道部の掘り込みはほとんど見られない初源的な構造の竈が確認されている²⁾。また第212号住居跡の北壁からも竈が確認されている。後世の遺構によって煙道部付近が破壊されているが、これも同様の構造を持っていたと想定される。

第170号住居跡から出土した一群が、本期を代表する土器である(第76・77図)。高坏は前代とほぼ同じ器形を呈しているが、脚の径が坏部の径に接近している。甕は頸部の屈曲が若干弱くなり、口縁の立ち上がりも短くなる。胴部は縦方向に延びる傾向が見られる。甕は鉢形で、単孔である。坏は口縁部を外反してつまみあげたものと、内湾しているものがある。底部は丸底に近い。腕は坏よりも器高が高く、底部は平底のままである。1期に引き続いてミニチュアの土器が存在し、第170号住居跡からは甕を模倣した土器が出土している。

3期 (5世紀末～6世紀前葉)

第20・109・160・167・192号住居跡の5軒がこの時期に該当する。集落はほぼ2期の規模を維持している。これまで集落は東側の斜面を中心に展開していたが、第20号住居跡が尾根上の平坦部に営まれており、居住域を拡大している。住居のプランは方形に近くなり、一辺4～5mと同じく6m前後の規模のものが見られる。竈はほとんどの住居で採用されていたが、この中で第109号住居跡だけは地床炉を引き続き採用している。それまでの炉の多くは、住居の北側に設けられていたが、本例だけは西側の岸際に設置されている。また、第160・167号住居跡では、竈に高坏を伏せた状態で廃棄した形跡が認められた。高坏には火熱を受けた形跡がないことから、支脚として転用されたものではなく竈が役割を終えた段階での行為であることがわかる。



第426図 1～4期住居跡の変遷

第109・160・167住居跡から出土した土器が本期を代表する一群である(第63・70・73図)。高坏は坏部下端の稜が直立なくなり、口縁部は直線的に立ち上がるものが見られる。脚部は短い筒状を呈し、裾部は外反しているが、全体的に器高は低く、低脚化の傾向が進んでいる。坏類の底部は丸底となり、口縁部が内湾するものと、外反して立ち上がるものが存在する。これらは2期以前の器形を継承する一群であるが、この時期になると須恵器の坏を模倣した一群が出現し、以後主流を占めるようになる。壺は本期には数が少なくなり、鉢形の甌も見られなくなる。甕は口径と胴部の最大径がほぼ等しく、胴部が長くなる傾向がある。

4期(6世紀中葉)

第25・30・36・50・128・176号住居跡の6軒が本期に該当する。集落は東斜面と平坦面に展開し、調査区域の外側にも広がっている可能性がある。3期に尾根上の平坦面に住居が進出し、本期になって居住空間としての利用が本格化している。これまで住居が営まれてきた東斜面には第176号住居跡が見られるだけである。住居は第25・30・36号住居跡が3軒一つのグループを形成しており、残りの3軒についてもそれぞれ調査区域外にグループを構成する住居が存在するものと考えられる。

第30・36・176号住居跡の土器が本期を代表する一群である(第35・37・82図)。土師器の坏は、これまでの伝統を引き継ぎ器形も存在するが、須恵器を模倣した形態が一般化する。模倣坏は口径が15cm前後で統一され、口縁部が外反するものとほぼ直立するものの2種が見られる。内面に黒色処理が施されているものも存在し、さらに細分化される可能性を残している。甕は胴部の径が口径より若干大きく、胴部外面の調整はヘラ削りあるいはナダが主流で、ミガキを施すものも出現する。甌は大形化し、口縁部に最大径がある。高坏は、須恵器模倣坏に脚部を付けた形態が出現している。また、少量ではあるが須恵器が土器組成の中に加わってくる。特殊な遺物としては、第36号住居跡から小型の碗形土器と土製勾玉が出土している。

5期(6世紀後半～7世紀初頭)

第52・62・81・90・111・168・174・175・197・198・201号住居跡の11軒が該当する。古墳時代において最も集落が発展した時期である。4期に引き続き、斜面部と平坦部の2群に分かれて集落が展開しており、平坦部では4軒がほぼ等間隔で並んでいる。斜面部では7軒の住居が営まれているが、6.5m×5.7mとやや大型の第111号住居跡と、第168号住居跡を中心とする4軒、第198・201号住居跡の2軒からなる3グループに分かれている。住居の形態は、主軸方向がほぼ北を向き、北壁に竈を設置するものが一般化している。

第62・168・201号住居跡の土器が本期を代表する一群である(第53・74・96図)。土師器坏は須恵器模倣のもの、口縁部下端の稜がなく全体的に丸みを持つものが見られる。口径からは3種に分類が可能で、容量による規格が存在していたと考えられる。中型(口径13cm前後)が大半を占め、大型(径15cmを超えるもの)と小型(口径10cm前後)の比率は少ない。坏は器高が低くなり、4期より扁平化する傾向が認められる。小型のものは内面に黒色処理が施されている。小型の高坏も存在し、第111号住居跡から出土している(第65図237・238)。剣形の石製模造品も伴っていることから、祭祀に関わる遺物と考えられる。甕は全体の形状がわかる資料は少ないが、胴部に最大径を持ち、縦方向のヘラ削りやミガキが施されている。甌は5期の器形を引き継ぐが、口径と底径の差は小さくなる。

須恵器は第81号住居跡から無蓋の長胴二段の高坏が出土しており、二方透かしであることから、おおむね6世紀末から7世紀初頭の時期と考えられる*。



第427図 5～7期住居の変遷

6期（7世紀前葉）

第37・43A・43B・215号住居跡が本期に該当する。この時期の集落は一転して縮小傾向を示し、住居数が減少する。住居は平坦部に限定されるようである。第37号住居跡と第43A号住居跡の主軸はほぼ同じ方向を向いており、グループを構成する可能性がある。また、これまで住居が見られなかった平坦部西側には、第215号住居跡が単独で営まれている。第43A号住居跡は事実報告で述べたように、第43B号住居跡を拡張したと想定され、当遺跡では全ての時代を通じて最も規模の大きい住居である。先行する第43B号住居跡の平面形をほぼ踏襲しており、二つの住居の間には居住者の継続性を認めることができる。第43B号住居の柱穴から出土した銅剣や、第43A号住居跡の規模を考えると、その居住者は有力な階層に属すると考えられる。

第37・43A号住居跡から出土した土器が本期を代表する一群である（第40・41・44図）。土器は、模倣坏が全体的に器高が低くなり、口縁部下端の稜が目立たなくなる。また稜がなく底部が丸みを帯びた坏も相変わらず存在しているが、新たに畿内の影響を受けたと思われる扁平な器形が出現している。坏は小型（口径11cm前後）のものや中型（12～13cm）のものとの2種があり、それぞれ5期の小型と中型の規格を受け継ぐものである。壺は口径と胴部最大径がほぼ等しいか、口径が若干大きいものが見られる。長胴化する傾向はこの時期にも続き、胴部下半分にミガキを施しているものも存在する。須恵器は坏・坏蓋と壺と思われる破片資料が出土している（第44図48・49）。

7期（7世紀中葉～後葉）

第53・84・98・162・183・185号住居跡の6軒が本期に該当する。住居数は増加に転じ、6期に見られた集落の減少傾向に歯止めがかかるようである。住居形態は方形で、規模は一辺約6mのものやや小型の一辺3.5～4mのものに分化しており、竈を北側に設置しているものが主流である。集落は再び平坦面から斜面部にかけて展開し、斜面部に位置している4軒はそれぞれ2軒ごとのグループを形成しているようである。

第53号住居跡から出土した土器が本期を代表する一群である（第50・51図）。土器群の様相は明確ではないものの、土器の模倣坏は口縁部下端の稜がさらに目立たなくなり、口径も縮小し、11cm前後となる。壺は大中小と3種の規格が見られ、大型のものは長胴化が進み体部下半分にミガキを施している。口縁部の形状は単口縁であるが、若干つまみあげているものも存在する。また、ミニチュアと考えられる土器が依然として製作されている（第50図57・58・64）。須恵器の様相は明らかではない。

(5)奈良・平安時代（第428～430図）

前半には古墳時代に引き続き数軒の規模で推移しているが、後半には集落の規模が拡大する時期である。この時代、総柱の掘立柱建物や長大な建築物が出現している。古代にはこの地域は新治郡の領域であり、遺跡周辺は坂戸郡に属していたと考えられる。遺構は竈穴住居跡147軒、掘立柱建物跡18棟、溝跡2条、欄跡3条、土坑19基が確認され、これらは9期（8～16期）に分けることができる。

8期（8世紀前葉）

第6・10・23・125・186号住居跡の5軒が本期に該当する。平面形は、第125号住居跡が長方形を呈しているが、その他は方形で北側に竈を持つプランの住居である。第6・10・23号住居跡の3軒は平坦部の西側を中心に分布しており、第125号住居跡は調査区域の南側に、186号住居跡は斜面部にそれぞれ単独で営まれている。平坦部の東側から斜面部にかけては本期の竈穴住居が見られない空白域となっており、この付近は掘立柱建物



第428図 8～10期住跡の変遷

のエリアとなっていた可能性がある。

第10・23号住居跡から出土した土器が本期を代表する一群である(第123・142・143図)。土師器は坏・甕で構成され、須恵器模倣坏は姿を消している。坏は出土量が少なく、浅い皿状のものとやや器高が高く、底部に丸みを帯びるものの2種類が見られる。甕は小取で単口縁のものと、これより大型で口縁部がつまみあげられているものが存在し、後者は胴部下半にミガキが施されている。

須恵器は坏・坏蓋・高台付坏・盤などが出現し、土器に占める割合も高くなる。坏は大中小の3種があり、小型は口径10cm前後、中型は同じく12cm前後、大型は同じく15cm前後で、容量による器形の分化が見られる。体部下端に調整が施されているものは回転ヘラ削りで、底部はヘラで切り離した後、丁寧に削られている。口径と底径の差は小さく、断面箱形の器形を呈している。高台付坏は出土量が少ないものの、坏と同じように容量によって分化していたと想定される。坏蓋は口径13cm前後と同じく15cm前後のものがあり、それぞれ坏の中型・大型に対応する器種と考えられる。つまみは擬宝珠状で、一部環状つまみも見られる(第142図323・324)。第23号住居跡出土の325(第142図)は大型の坏につまみを付けた形状で、箱形の断面を呈している。

9期(8世紀中葉)

第40・78・99・114・163・166号住居跡の6軒がこの期に該当する。集落は8期とほぼ同じ規模で推移しており、住居は調査区域内に点在している。また、平坦面を中心に掘立柱建物が本格的に建てられた時期でもある。

竅穴住居は一辺約7mの大型のものと、一辺約3.5～5mの小型の2種が見られる。大型住居のうち第78号住居跡は竈が確認されず、南壁の一部が張り出した特異なプランを持っている。この住居には埋没の過程で大量の須恵器が投棄されており、堀ノ内古窯跡群を含め、新治窯跡群³¹⁾や益子窯跡群³²⁾の製品が出土している。中には明らかに不良品と見られる金目が生じた製品が含まれている。当遺跡が須恵器の産地に近いため、不良品が集落に持ち込まれたものと思われるが、他の住居からはそのような製品は出土していない。また、第78号住居跡とほぼ同じ規模を持つ第99号住居跡の床面付近からは、琥珀製薬玉が出土しており、この2軒の住居跡は特別な性格を持っていた住居と考えられる。

8期に続いて平坦面には竅穴住居の空白域があり、掘立柱建物のエリアと考えられるが、その空間は8期よりも狭くなっている。掘立柱建物を建てる位置がほぼ固定化したと考えられ、同じ場所での立て替えが行われており、また建物の配置にも規則性を見いだすことができる。第2・8号掘立柱建物のグループが本期を中心に出現し、建物数も一番多くなると想定される。第8号掘立柱建物跡は5間×2間の規模を持っており、柱の掘り方も大きいことから、中心的な建物と考えられる。その後第8号掘立柱建物跡の位置には、10期にかけての時期に桁行きの方向を変えて第14号掘立柱建物跡が現れている。また、第5・15号掘立柱建物のグループも、第2・8号掘立柱建物のグループに後続する一群で、第14号掘立柱建物跡との関係は不明であるが、本期から10期にかけて出現した建物であろう。

本期の遺構と考えられる第97号土坑からは、事実報告で述べたように「新大甗」のヘラ書きを持った須恵器蓋が出土している。この文字は新治郡の大甗に帰属する土器に刻まれたもので、本来は厨などで使用されていたことが考えられる。堀ノ内古窯跡群から出土した「新人甗」・「□大甗」のヘラ書きを持つ土器の一群と比較すると、両者は胎土・焼成の状況がや使用された筆記具や書体に類似性が認められる³³⁾。このことから当遺跡出土の「新人甗」の須恵器は、同地で生産された可能性が極めて高い。堀ノ内窯跡群からは他に「新甗」のヘラ書きを持つ土器が出土していることから、これらの土器は新治郡内で使用することを目的にセットで製作

されたものであろう。

第78号住居跡から出土した土器一群が、本期を代表する土器である（第206～209図）。須恵器は、堀ノ内古窯跡群が操業を始め¹²、前述したように複数の産地から製品がもたらされたこともあり出土量が増加している。土師器は坏と甕からなる。8期で出現した器形を受け継いでいるが、内部に放射状のミガキを施した一群が現れている。体部から底部にかけて手持ちヘラ削りが施され、口径から3種に分類できる。これは8期での須恵器の容量の分化に対応したものであろう。大型は口径15cm前後の一群で、器形に丸みを帯び口縁部内側に沈線を施しているものがある。中型は口径14cm前後で、器形に丸みを帯びるものと、若干の断面を持つ2種に細分される。後者には内部のミガキがなく、前代の土師器坏の器形を踏襲したと思われる。大型は口径18cm前後で、器高が低く全体的に扁平な器形を呈しており、口縁部付近にやや弱い稜を持っている。

須恵器は坏、坏蓋、高台付坏、捏ね鉢などで構成されている。坏は前段階に出現した断面箱形の器形をほぼ継承し、3種の分化が継続している。大型は口縁部が外反しながら立ち上がるものと、直線的に立ち上がるものに細分される。中型は大型に準じ、底部下端に回転ヘラ削りを施しているものが見られる。小型は口縁部が若干開き気味に立ち上がり、体部下端は木調整か手持ちヘラ削りが施されている。

高台付坏は口径から2種に分類される。小型の坏に対応するものが欠け、中型に該当するものも少なく、大半が大型に属している。高台は短く直立またはハの字に開き、端部は面をなしている。高台の取り付け位置は底径より内側に付けられたものと、底径いっぱい付けられたものとが存在する。外面はロクロ目を丁寧に消したのが見られ、榊木黒漆か、あるいはその技術的な影響を受けたものである。坏蓋の口径は15～17cmに集中し、これらは坏・高台付坏の大型の製品に伴うものと考えられる。蓋内部に返りを持つものは極く少数で、つまみは扁平な椀珠状か道台形である。ヘラ記号を持つものや、ロクロ目を消した製品も存在する。

10期（8世紀後半）

第19・32・113・140・171・173・188・204・205号住居跡の9軒がこの期に該当する。本期の住居は横長のプランのものも見られるが、方形のプランで北嚢を持つものが主流を占めている。9期に見られた大型の住居は本期にも引き続き存在し、第113号住居跡が該当する。大きく平担部西側と斜面部に分布しており、斜面部では第171号住居跡を中心とする3軒と、第204・205号住居跡の2軒からなるグループに分かれている。平坦部東側では、第8・14号掘立柱建物跡に続いて3間×2間の第12号掘立柱建物跡が建てられており、調査区域北側に位置している第13号掘立柱建物跡も本期に属する建物と想定される。第3・6号掘立柱建物跡は、この2棟に遅れて本期から11期にかけて建てられたグループと考えられる。この期も掘立柱建物が建てられたスペースに同時期の壁穴住居は見られない。

第140・188住居跡から出土した土器が、本期を代表する一群である（第282・302図）。土器の出土量は減少しており、様相は明確ではない。土師器は甕が出土しているに過ぎず、しかも全体の形状が分かる資料は少ない。大型の甕は口縁部のつまみ上げがやや目立ってくるようである。小型の甕は2例あり（第151図349、第296図590）、体部下半にミガキを施しているものと、同じ部位にナダ調整を施しているものである。

須恵器坏は小型のものは確認されず、大型・中型のものが見られる。全体的に断面箱形の器形であるが、口径と底径の差がやや大きくなる傾向にある。体部下端の調整が判明したものは手持ちヘラ削りであり、本期を境に調整の方法に変化が生じている。また9期同様にロクロ目を丁寧に消し、体部と底部の境界が丸みを帯びているものが存在する。新たな器種としては高盤が出現している（第138図314）。高台付坏は器形が分かる資料は確認されなかった。須恵器の様相が不明確になるのは、この頃に堀ノ内古窯跡群の操業が中断することと

何らかの関係があるものと思われる¹⁴⁾。

11期（9世紀前葉）

第2・16・21・126号住居跡の4軒がこの期に該当し、集落の規模は縮小している。住居は小型化し、大型の竪穴住居は見られなくなるが、8世紀後半から9世紀前半と考えられる第89号住居跡が本期に属するものであれば、比較的大型の部類に入る。また、それとは別に長大な住居が建てられている。第126号住居跡は当該期の竪穴住居の2～3軒分の長さを持つ住居で、長方形竪穴遺構¹⁵⁾とされるものの可能性がある。竪には第16号住居跡のように瓦を構築材として使用しているものが見られ、これは寺院や官衙からの搬入品と思われるが¹⁶⁾、至近に存在している本郷瓦塚遺跡との関係も考えられる。おおむね調査区域の平坦部から縁辺部にかけて竪穴住居跡が存在しており、住居跡の配置には10期とあまり変化が見られない。本期あるいはそれ以前と思われる第206号住居跡は1軒だけ東に離れているが、羽川片が出上しているので鍛冶工房跡と想定され、火災の危険から一般住居と離れた位置に置かれたと考えられる。

土器の様相は10期同様不明な点が多い。第2・16号住居跡の出土土器が本期を代表する一群である（第112・133図）。出土した土器はほぼ須恵器に限定されている。坏は前段階と同様に大型と中型を中心に構成されている。前段階より器高が若干高くなり、口径と底径の差が広がる。第2号住居跡から出土した坏（第112図254）はロクロ目が消され、体部と底部との境界に丸みを帯びていることから益子窯跡群産の可能性が高い。中には底部にヘラ切りの位置を決めるため、予め凹部を作った痕跡を持つ坏も存在する（第133図298）。高台付坏は出土量が少ないが、坏と同じように容量分化していたと想定される。高台はハの字に開き、端部は若干丸みを持っている。坏蓋は器高が低いのも存在する。口径から2種に分類され、8期において中型と大型の坏に対応するものと同様に規格が類似しており、基本的には8期以降この規格の坏蓋が生産されていたものと想定される。つまみが確認できるものは擬宝珠状で、J字な作りである。蓋は傾斜が少ないが、高台付坏と同じく高台の端部に若干丸みがあり、口縁部は外反して立ち上がっている。土師器の様相は明らかではない。

12期（9世紀中葉）

第34・88・116号住居跡の3軒がこの期に該当する。集落は11期と同じ規模に留まり、停滞している時期である。竪穴住居の規模は若干小型化し、北甕を基本とするプランである。第145号住居跡は後世の遺構によって大半を掘り込まれているが、本期に属する遺構であれば、唯一の大型住居となる可能性がある。また従来掘立柱建物跡が建てられていた空間に第88号住居跡が営まれており、再び竪穴住居が造出し始めている。この点8～11期までとは集落の様相に変化が見られる。

第34・88号住居跡出土の土器が、本期を代表する一群である（第155・219図）。土師器では内部にミガキと黒色処理を施した坏の比率が高くなり、新たに高台付碗や口径約12cmの高台付皿が出現しているようで、土師器の器種構成に変化が見られる。須恵器坏は口径と底径の差がさらに広がり、断面が箱形のは減少する。体部下端の調整も手持ちヘラ削りにほぼ限定され、底部の切り離し後の整形も切り離しの痕跡を残し、以前に比べて複雑化している。規格は口径12～13cmの中型のものには統一されている。須恵器の生産は減少傾向にあるようである。



第429図 11～13期住居の変遷

13期（9世紀後半）

第61・63・64・68・85・100・108・121・136号住居跡の9軒がこの期に該当する。この時期は集落規模の拡大期に当たる。住居の規模は若干縮小し、北窓を基本とするプランであるが、東窓の割合も一定は見られる。住居は平坦面を中心に分布しており、第61号住居跡から6軒の住居が南北に並んでおり、西側に第108号住居跡が単独で営まれているという配置が見られる。第61号住居跡はその後16期に至るまで3軒の住居が重複しながら営まれており、建て替えによるものと考えられる。また、本期以降に調査区域中央部の北側に第7号掘立柱建物跡が構築されており、調査区域外にも掘立柱建物が広がっている可能性が考えられる。

第63・100・121号住居跡出土の土器が本期を代表する一群である（第183・184・235・236・259図）。須恵器の生産が衰退し、土師器の碗・坏類が土器の構成の主流を占めている。土師器は碗・坏類と甕類で構成され、坏は前段階に出現した内面に黒色処理とミガキを施したものが一般化する。底部の状況が分かるものは少ないが、回転ヘラ切りの後、簡単な底部調整を施している。甕は口縁部をつまみあげ、胴部の調整はミガキが見られず、篋位のヘラ削りを施しているものが一般的である。第68号住居跡からは羽釜の破片が出土している（第192図445・446）。

須恵器は底径が縮小する傾向にあり、底部の切り離し後の調整も稀である。坏蓋、高台付坏は確認されておらず、消失したようである。新たに高台付皿が出現している。

14期（10世紀前半）

第1・11・17・22・38・44・45・46・66・94・137・138・142・195・219号住居跡の15軒がこの期に該当する。13期に引き続き集落は拡大傾向にある。平坦部を中心に集落が展開しており、第1・38・66住居跡の各住居を中心とするそれぞれ2～3軒のグループが見られ、重複する形で住居の建て替えを行っているものも認められる。住居の規模はほぼ同一化している。また、住居のプランは若干縦長の長方形をとり、北窓と東窓の割合がほぼ等しく見られる。北側に窓を持つものの中には、コーナー部に甕を設置しているものが存在する。

第22・38・66号住居跡から出土した土器が本期を代表する一群である（第140・157・189図）。土師器は碗と新たに高台付碗、皿が出現している。碗は断面の形状が箱形に近いものと、若干丸みをもつものがある。口径には大型（径15cm）、中型（径13～14cm）、小型（径11cm）の3種の規格が見られるが、大型および小型は出土量が少なく、中型のものでは統一されているようである。内面に黒色処理とミガキを施したものがあり、底部の切り離しが判明したものは回転糸切りで、調整は省略されている。高台付碗は口径の分かるものが少なく、口径14～15cmと若干大きいか、大型の碗とほぼ同じ口径を持っているようである。高台は底径いっぱいにつけられ、ハの字に開いている。一部に高台が高くなり始めたものも見られる。皿は口径約10cmで、口縁部は直線的に立ち上がるものと若干反して立ち上がるものが存在する。内面に黒色処理とミガキが施されているものが見られ、底部の切り離しは回転ヘラ切りによるもので、調整は省略されている。皿と高台付碗が碗の大型・小型に代わる役割を持つと考えられる。煮沸具は甕と甎がある。甕は口縁部をつまみ上げが弱くなり、単口線化している。胴部の調整はミガキが見られず、斜位または縦位のヘラ削りとなっている。

須恵器は、甕の胴部片を転用した碗（第174図402）などが出土しているに過ぎず、極めて客体的なあり方を示しており、本期までには生産を終了しているようである。新たに灰釉陶器も出現するが、高台付皿（第227図496）と甎（第157図364）がそれぞれ1点出土しているだけである。高台付皿は器形や施釉の特徴などから、黒鉄90号窯式あるいはそれに続く折戸53号様式に平行する時期と考えられる。



第430図 14～16期住居跡の変遷

15期（10世紀後半）

第9・12・14・18・31・35・39・48・51・55・57・59・77・95・104・110・130・133・134・139・216・217号住居跡の22軒がこの期に該当する。住居の軒数が最大に達し、集落が一番発展した時期である。斜面部には当該期の遺構は少なく、集落は平坦面を中心に展開している。14期と同じく、住居の規模に明確な差はなく、ほぼ等質的なあり方を示している。住居のプランは縦長の長方形が主流となり、竈を東壁に設置している割合が高くなる。住居は第31号住居跡、第59号住居跡、第14号住居跡、第131号住居跡を中心とする4つのグループに分かれ、さらに調査区域東部にも第193号住居跡を中心とするグループが存在している可能性がある。

第14・95号住居跡出土の上器が本期を代表する一群である（第129・228・229図）。上器器は碗、高台付碗、皿、甕と新たに高台付皿と高台付小碗が出現している。碗は8期～10期に見られた坏と形態的に類似しているものが見られるが、調整はやや粗雑である（第173図399）。碗の主体となるのは、丸みを帯びた器形と考えられる。H径は約13cm程度で、前段階の中型とした規格を受け継いでいる。底部は回転糸切りが主流で、ヘラ切りも認められる。数的には減少傾向にある器形である。高台付碗は口径にばらつきが見られ、器形は断面箱形のものや丸みを持つものが見られる。高台は若干高脚化するものがあり、また従来より底径の内側につくものが現れる（第129図287、第240図522、第271図560など）。内面には黒色処理とミガキが施されている。新たに出現した高台付小碗はH径10cmほどで、高台付碗を小さくした形体で、内部の調整は丁寧で黒色処理とミガキが施されている。皿は口径部が若干開いて立ち上がるものと口径部が浅い角度で立ち上がるものが見られ、前者がやや減少傾向にある。内面に丁寧な調整が施されるものは姿を消し、全体的に調整は粗雑でクロコ整形に限定され、底部は回転糸切りと回転ヘラ切りである。甕は全形が分かるものは少ないが、単口径で胴部下半に縦位または横位のヘラ削りを施している。灰釉陶器は14期と同じく出土量は極めて少なく、高台付皿（第170図397）と版の小片が出土しているに過ぎない。高台付皿は折戸53号窯式平行のものと推定される。

16期（11世紀前半）

第5・41・47・58・76・80・102・129・132号住居跡の9軒がこの時期に該当する。集落の規模は、本期になると急速に縮小傾向に向っている。13期以降途絶えていた掘立柱建物も調査区域内に再び建てられるようになる。掘立柱建物の配置はこれまでの尾根の平坦面を中心としたものから、東斜面を中心としたものに大きく変わるようで、調査区域の南東に広がっている可能性がある。集落は住居数がかなり減少し、本期を持って堅穴住居を中心とした集落は終了するようである。第102・129・132号住居跡の3軒が近接していることを除くと、平坦面に各住居が距離をおいて点在しており、15期に見られた住居のグループは解消に向かうようである。住居の規模は前段階とあまり変わらず、長方形のプランをとるが横長の形態を持つようになる。

第41号住居跡から出土した上器が本期を代表する一群である（第161図）。上器の出土量は全体的に少なくなる。土器器は碗の割合が少なくなる。高台付碗は高台が低いものと、高脚化したものの2種が存在する。前者は丁寧に整形されているが、後者は内・外面ともクロコによる調整だけで、整形は省略され粗雑な作りが目立っている。15期に出現した高台付小碗は本期も引き続き存続しており、前期の口径を維持するまたは若干縮小する方向にある（第211図465・466）。皿は口径8～9cmの範囲に集中し、小型化が進んでいる。それと比例して底径が縮小しており、15期まで見られたH縁部が若干開いて立ち上がるものは姿を消している。高台付皿は、高台が高脚化したものが見られる（第177図405）。

奈良・平安時代の当遺跡は、8期ないし9期以降、計画的な配置を持つ掘立柱建物が増えており、一般

的な集落とは異なる様相を見せている。9期に属する第97号土坑から「新大領」のヘラ書きを持つ須恵器が出土していることは、他地域の地方官衙とされる遺跡から官位に関する文字資料が出土している¹⁷⁾と考え合わせて、郡衙またはそれに準じる集落と見ることができる。一方で官位や曹司に関わる文字資料は「新大領」以外には見られず、巡方などの威信財や視など官衙に伴うと思われる遺物も少ないため、積極的な官衙遺跡とすることは困難である¹⁸⁾。現状では、一般集落よりも官衙的な色彩を持つ遺構が存在する集落と考えたい。

(7)中・近世

中世から近世にかけての当遺跡の状況は、若干不明確な点がある。古代の集落は16期をもって終了し、第1号掘立柱建物跡と第119号住居跡が確認されるだけで、現状では人々が居住していたかどうか明確ではない。

中世において当遺跡の周辺には小栗御厨や中郡庄が置かれ、辰海道遺跡では庄の存在を示す遺物が出土しているが、当遺跡ではそのような遺物・遺構は確認されなかった。このころ各地の豪族が荘官として、あるいは地頭として居館を拠点に地域の支配に当たっている。岩瀬地方では鎌倉期に中郡氏の活動が知られているが、活動のよりどころとなった館跡は明らかになっていない。おそらく用水の便が良い、周辺に水田を望む地形に居館は築かれていたと考えられる。しかし、時代が変わり激しい戦闘が行われるようになると、防衛に便利な山上に城館が形成されるようになる。当遺跡の東に位置する坂戸城跡は、そのような戦闘の変化に対応するために築かれた城である。南側に位置する金谷遺跡では城跡に伴うと考えられる堀が平地から確認されていることから、平時の居館または根小匠的な性格の施設が置かれていた可能性が高い。当遺跡では、城館に関する施設は確認されていないものの、広い意味で坂戸城跡の領域に含まれていたと考えられる。

この時代、東側の斜面、すなわち坂戸城跡側に地下式竃が築かれ、その後地業が行われて平坦な面が造成されている。この平坦面は先行する地下式竃を掘り込んで作られており、地下式竃を作った人々とは異なる勢力の人たちによって行われたものであろう。その時期は、造成された面の遺構から北宋銭が出土しており、鎌倉期ないしは遅くとも室町期と考えられる。造成された平坦面には土坑や槽溝、井戸などが存在し、火葬施設も確認されていることから墓域との関わりが深い空間と位置づけられる。

近世においても遺跡の一面が墓地として使用されていたことが、土坑から寛永通寶が人骨と共に出土していることから理解できる。

2 金属生産について

当遺跡では遺構内から鉄滓が出土し、また工房跡と想定される遺構が確認されており、このため、鉄などの金属の生産・加工が行われていた可能性が高いと考えられる。以下、その概要について簡単に記述する。

(1)古墳時代

16軒の住居跡から鉄滓が出土している。第176・212号住居跡からは比較的多くの鉄滓が出土しており、出土状況から混入の可能性は低いと考えられる。第207号住居跡は内部に焼土が堆積し、羽口片が出土しており、第210号住居跡は長方形のプランで炉が複数あり、同じく羽口片が出土していることから、それぞれ工房跡の可能性が想定される。辰海道遺跡では4世紀代から鍛冶が確認されており、当遺跡においても鉄器の製作・加工が2期以降の早い段階に行われていたことをうかがわせる。



第431図 製鉄関連遺物が出土した遺構

(2)奈良・平安時代

47軒の住居跡から鉄滓が出上している。第44・99・129・164・193・206号住居跡から比較的多数の鉄滓が認められ、第41・205・206号住居跡から羽口片が、また第173号住居跡から鉄滓と共に窯壁の破片と思われる遺物が、第414号土坑からは鉄滓3.1kg、羽口片5点が出上している。これらの遺構は奈良・平安時代のほぼ各期にわたり、特に13期から15期にかけて多く見られる。住居跡内から砥石や石材が出上しているものがあり、間接的に製鉄に関わる遺物の可能性が考えられる。

第164号住居跡は、長辺と短辺の比が2:1とかなり横長のプランであり、竈はなく炉が2か所確認され、プラン等が他の遺跡から確認された鍛冶工房跡と類似²⁸⁾、その可能性が高い遺構である。第206号住居跡は、後世の擾乱が著しいことから積極的に「工房跡」と認めることは困難であるが、羽口片や窯壁と考えられる破片が出上していることから、本跡またはその付近で鉄製品の生産が行われていた可能性は高く、調査区域外に未発見の工房跡が存在する可能性も十分に考えられる。第414号土坑からは多量の鉄滓が出上しているが、鍛冶に伴うと考えられるものがほとんどである。これは当集落内では鍛冶を中心とした作業が主であり、素材となる鉄の精錬は他の場所で行っていたことを示すものであろう。

(3)中・近世

第2・5・15号溝跡、第307・308・309号土坑などから鉄滓が出上し、引き続き中世においても鉄に関連した生産活動が行われていたことがうかがえる。それに加えて小仏像の鋳型が出上している。周辺では古代から銅製品を製作した遺構が確認されているが²⁹⁾、その後遺構としては確認されていない。本跡出土の鋳型は、大円神社前遺跡出土の銅造観世音菩薩立像と光背の取り付け位置が異なるものの、ほぼ同じ大きさの仏像を鋳造したものである。そのほか出土した銅製品には段切り遺構から出土した和鏡片があり、蛍光X線分析を行った。その結果を他の例と比較すると、平安時代とされるつくば市島名熊の山遺跡出土の天部立像とは、構成する成分の含有量が異なり³⁰⁾、中世とされる取手山下高井向原遺跡出土の瑞花双鳳五花鏡³¹⁾とは、天部立像ほどではないがそれでも鉛の含有量が少ない値を示している。さらに大円神社前遺跡出土の銅造観世音菩薩立像と分銅でも含有物が異なった値を示し、当遺跡の和鏡との類似性を見いだすことはできなかった。年代的または地域的な状況を見るためには、より多くの資料が必要であり、現状において当遺跡出土の和鏡片の製作地や、岩瀬地方での製銅の状況については不明点が多い。しかしながら岩瀬地方では古くから仏教の活動が盛んであり、文献の上には現れないものの、仏像・仏具の製作が行われていた可能性は高いと言える。

当遺跡の北側には金山の地名が残ることや金谷遺跡の状況から城山の南麓一帯では、古くから鉄の生産が行われ、一時期銅の生産または加工が行われていたことは明らかである。当遺跡周辺は北関東から太平洋へ抜ける道と筑波山麓を通過して下野・那須方面へ向かう道が交差する地域であるが、当地域を支配した勢力は、この交通路を掌握すると共に、鉄・銅の生産と工人組織を支配し経済的な基盤としていたと考えられる。

註

- (1) 今村啓爾 「陥穴（おとし坑）」『縄文文化の研究2 生業』雄山閣出版 1994年8月
- (2) 茨城県史編纂会 「茨城県史料 考古資料編 弥生時代」茨城県 1991年3月
- (3) 横倉要次 「松田古墳群 北関東自動車道（友部～協和）建設事業地内埋蔵文化財報告書V」『茨城県教育財団文化財調査報告』第226集 2004年3月刊行予定
- (4) 仲村浩一郎、他 「辰海遺跡跡1 北関東自動車道（協和～友部）建設事業地内埋蔵文化財調査報告書1」『茨城県教育財団文化財調査報告』第222集 2003年3月
- (5) 鈴木素行 「武田石高遺跡 旧石器・縄文・弥生時代編」（財）ひたちなか市文化・スポーツ振興公社文化財調査

報告」第15集 1988年1月

- (6) 茨城県教育財団 「金谷遺跡」[年報] 22 2003年6月
- (7) 矢ノ倉正男・寺門千穂 「阿見東部工業団地造成工事地内埋蔵文化財調査報告書 風合遺跡・中ノ台遺跡」
『茨城県教育財団文化財調査報告』第137集 1997年9月
- (8) 田辺昭三 「須恵器大成」角川書店 1981年7月
- (9) 当向遺跡においては、新治窯跡群の須恵器は極めて少ない。
- (10) 鎌倉窯跡研究会 「益子町鎌倉窯跡採集の須恵器と瓦について—附 倉見沢窯跡出土遺物の検討—」
『栃木県考古学会誌』17 栃木県考古学会 1995年
- (11) 辰馬考古資料館にて実見。
- (12) 早稲田大学 「常陸国新治郡上代遺跡の研究II」1988年1月
- (13) 前掲註(12)
- (14) 栃木県上神主・茂原遺跡では、短辺と長辺の比が1:1.5を超える壘穴状の遺構があり、「長方形壘穴遺構」として報告されている。掘立柱建物との関連性が指摘されている。
安水貞・「上神主・茂原 茂原内原 北原東 北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査V」
『栃木県埋蔵文化財調査報告』第256集 2001年3月
- (15) 高井徳三郎 「常陸国新治郡上代遺跡の研究」1944年10月
- (16) 茨城県歴史館 「茨城県における古代瓦の研究」『学術調査報告書4』1994年3月
- (17) 藤枝市御子ヶ谷遺跡で「志大甗」、志少甗、久留米市道蔵遺跡で「三万大甗」の出土例がある。
石毛彰子「駿河国志大郡甗・益額郡甗と墨書土器」『古代官衙・集落と墨書土器—墨書土器の機能と性格をめぐって—』独立行政法人 奈良文化財研究所 2003年3月
- (18) 山中敏史 「地方官衙の研究」塙書房 1994年2月
- (19) 規模は異なるものの、第164号住居跡平面プランは石岡市鹿の子C遺跡、鹿嶋市春内遺跡の例に類似している。
佐藤正好・川井正一 「常盤自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書5 鹿の子C遺跡」
『茨城県教育財団文化財調査報告』第20集 1983年3月
風間和秀・宮崎美和子 「春内遺跡 一般国道124号線バイパス建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
『鹿嶋市の文化財』第89集 1995年3月
- (20) 協和町教育委員会 「新治壘寺—久地茶長町窯跡予備調査報告書—」1984年3月
報告によると築精輪加跡1号は新治壘寺跡の前庭瓦が使用されており、古代に属するものである。
- (21) 平尾良光・榎木洋子・早川泰弘 「熊の山遺跡出土の天部立像および耳環に関する自然科学的調査」
『(仮称)鳥名・福田坪地区特定地区開発管理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ熊の山遺跡』
『茨城県教育財団文化財調査報告』第149集 1999年3月
- (22) 平尾良光・小林直子 「茨城県取手市で出土した銅製品の蛍光X線分析」
『取手都市計画事業下高井特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 其五郎崎遺跡・下高井内原I遺跡・下高井内原II遺跡』『茨城県教育財団文化財調査報告』第107集 1996年3月

参考文献

- 赤井博之 「律令制実質期の須恵器の系譜—茨城県—」『東国の土器—関東地方における歴史時代須恵器の系譜—』
『古代生産業研究会』97年シンポジウム 1997年3月
- 浅井哲也 「茨城県内における奈良・平安時代の土器(Ⅰ)」研究ノート創刊号 茨城県教育財団 1991年
- 浅井哲也 「茨城県内における奈良・平安時代の土器(Ⅱ)」研究ノート2号 茨城県教育財団 1992年
- 稲田義弘 「熊の山遺跡出土の平安時代の土器様相—土器器を中心として—」
『鉾城の研究—阿久津久先生遺著記念論集—』阿久津久先生遺著記念事業実行委員会 2003年3月
- 岩瀬町史編さん委員会 「岩瀬町史 通史編」岩瀬町 1987年3月
- 内山敏行 「律令制成立期の須恵器の系譜—栃木県—」『東国の土器—関東地方における歴史時代須恵器の系譜—』
『古代生産業研究会』97年シンポジウム 1997年3月
- 櫻村宣行・十生明治・白石真理 「茨城県における5世紀の動向」『東国土器研究第5号』東国土器研究会 1999年5月
- 山口勝一 「律令制実質期の須恵器の系譜—栃木県—」『東国の土器—関東地方における歴史時代須恵器の系譜—』
『古代生産業研究会』97年シンポジウム 1997年3月

茨城県当向遺跡出土金属製遺物の成分分析結果

群馬生物研究所

1 はじめに

茨城県に所在する当向遺跡から出土した金属製遺物について、以下の通り成分分析を行ったのでその結果を報告する。

2 資料

調査した資料は表1に示す金属製遺物2点である。No.1は古墳時代、No.2は中世の遺物である。

表1 調査資料一覧

| No. | 保存地埋No. | 遺物名 |
|-----|---------|-----|
| 1 | 1 | 銅圓 |
| 2 | 2 | 和鏡 |

3 方法

理学電機工業株式製の全自動蛍光X線分析装置3270E（検出元素範囲B～U）によって資料本体に蛍光X線を照射して分析した。

4 分析結果

具体的な成分分析のデータを付す（別紙参照のこと）。

また表2に成分分析の結果を示すが、今回の調査では資料本体に蛍光X線を照射したので、資料表面の分析結果である。よって土壌成分も含まれており、この表の数値が資料本来の組成を反映してはいないので、あくまで参考資料である。

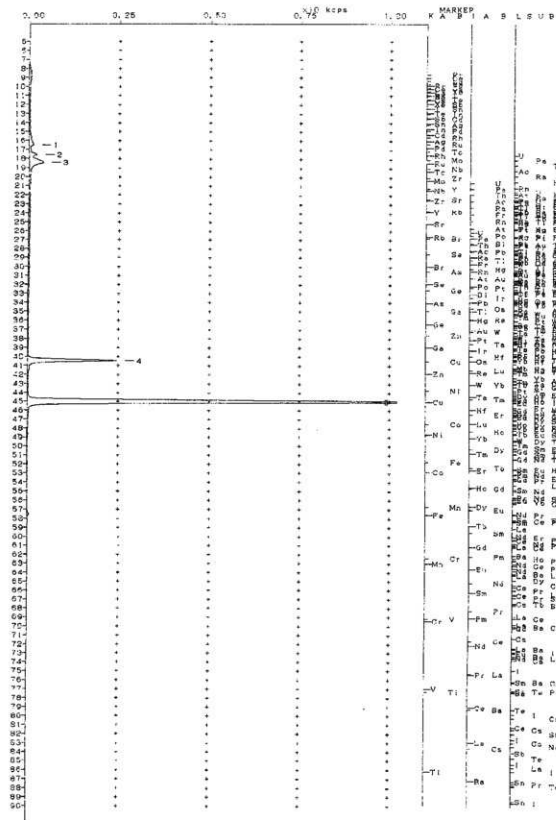
No.1銅圓はCuから、No.2和鏡はCu、Sn、Pbから成る。

参考資料 表2 成分分析結果表

| 元素名 | 含有率 (%) | |
|-----|---------|------|
| | No.1 | No.2 |
| Si | - | 6.7 |
| Cu | 100 | 61 |
| Sn | - | 14 |
| Pb | - | 17 |

図1 銅鋼の蛍光X線スペクトル

1# ショート 試料名 B# 元素コード
 4 STP タイプ 2-1 1A* 43 HV00



写 真 图 版



遺跡遠景（東から）



遺跡遠景（西から）

PL2



遺跡全景



遺跡全景（西から）



テストピット

第93・138号住居跡
完掘状況第146号住居跡
完掘状況

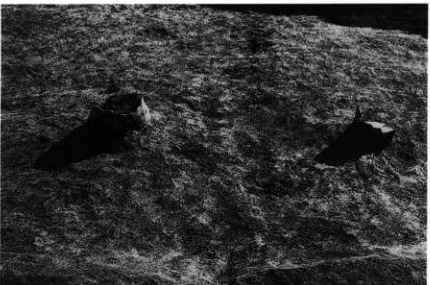
PL4



第146号住居跡
遺物出土状況



第161号住居跡
完掘状況



第161号住居跡
遺物出土状況



第20号住居跡
完掘状況



第25号住居跡
完掘状況



第30号住居跡
遺物出土状況

PL6



第36号住居跡
完掘状況



第36号住居跡
遺物出土状況



第36号住居跡
竈 遺物出土状況



第37号住居跡
完掘状況



第37号住居跡
遺物出土状況



第37号住居跡
壙 遺物出土状況

PL8



第43A・B号住居跡
完掘状況



第43A号住居跡
遺物出土状況



第43B号住居跡
銅劍出土状況



第50号住居跡
完掘状況



第53号住居跡
完掘状況



第53号住居跡
遺物出土状況



第53号住居跡
遺物出土状況



第62号住居跡
完掘状況



第62号住居跡
遺物出土状況



第81号住居跡
完掘状況



第81号住居跡
竈完掘状況



第84号住居跡
遺物出土状況



第84号住居跡
遺物出土状況



第90号住居跡
遺物出土状況



第98号住居跡
完掘状況

第107号住居跡
完掘状況



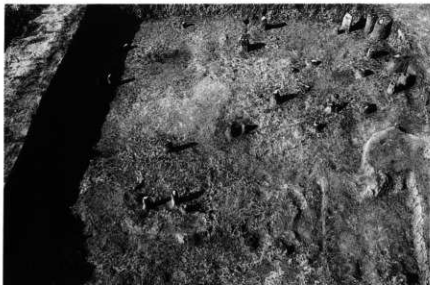
第107号住居跡
遺物出土状況



第109号住居跡
完掘状況



PL14



第111号住居跡
遺物出土状況



第111号住居跡
遺物出土状況



第128号住居跡
完掘状況



第128号住居跡
遺物出土状況



第128号住居跡
遺物出土状況



第160号住居跡
完掘状況

PL16



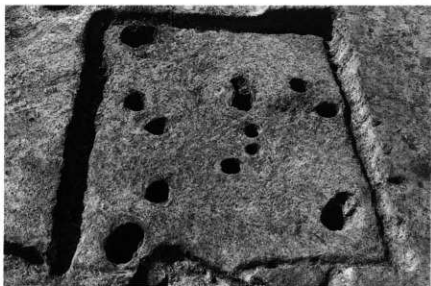
第160号住居跡
竈 遺物出土状況



第167号住居跡
発掘状況



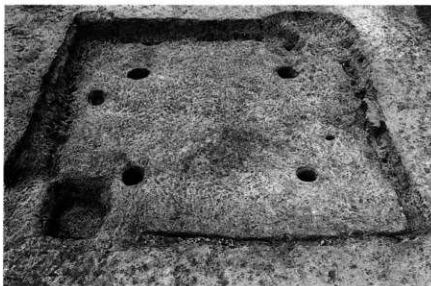
第167号住居跡
竈 遺物出土状況



第170号住居跡
完掘状況



第170号住居跡
遺物出土状況



第172号住居跡
完掘状況

PL18



第172号住居跡
貯藏穴 遺物出土状況



第176・178号住居跡
完掘状況



第184号住居跡
完掘状況

第184号住居跡
遺物出土状況



第197号住居跡
完掘状況



第197号住居跡
竈 遺物出土状況



PL20



第201号住居跡
完掘状況

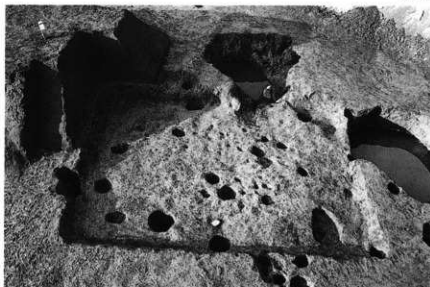


第201号住居跡
遺物出土状況



第210号住居跡
完掘状況

第214号住居跡, 第1・2井戸跡
完掘状況



第215号住居跡
完掘状況



第215号住居跡
竈完掘状況





第1号住居跡
完掘状況



第1号住居跡
遺物出土状況



第2号住居跡
完掘状況



第2号住居跡
竈 完掘状況



第3号住居跡
完掘状況



第3号住居跡
竈 完掘状況

PL24



第4号住居跡
完掘状況



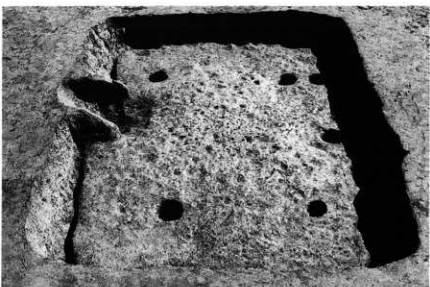
第4号住居跡
遺物出土状況



第5号住居跡
完掘状況



第5号住居跡
完掘状況



第6号住居跡
完掘状況



第6号住居跡
完掘状況

PL26



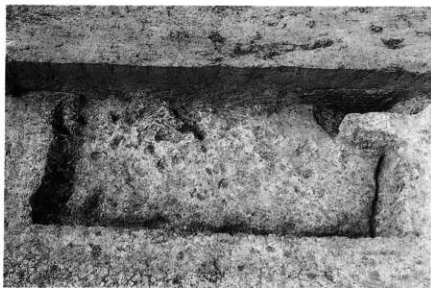
第7号住居跡
完掘状況



第7号住居跡
竈遺物出土状況



第7号住居跡
P2 遺物出土状況



第8号住居跡
完掘状況



第9号住居跡
遺物出土状況



第9号住居跡
竈遺物出土状況

PL28



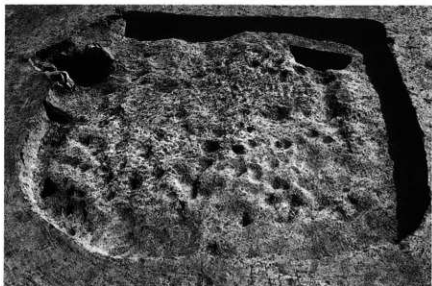
第10号住居跡
完掘状況



第10号住居跡
遺物出土状況



第11号住居跡
完掘状況



第12号住居跡
完掘状況



第12号住居跡
遺物出土状況



第12号住居跡
竈完掘状況

PL30



第13号住居跡
完掘状況



第14号住居跡
完掘状況



第14号住居跡
竈 完掘状況



第15·108号住居跡
完掘状況



第15号住居跡
完掘状況



第16·17·18号住居跡
完掘状況

PL32



第16号住居跡
遺物出土状況



第19号住居跡
完掘状況



第19号住居跡
遺物出土状況



第19号住居跡
完掘状況



第22号住居跡
完掘状況



第22号住居跡
遺物出土状況



第23号住居跡
完掘状況



第23・139号住居跡
遺物出土状況



第23号住居跡
竈 遺物出土状況



第27号住居跡
完掘状況



第27号住居跡
竈 完掘状況



第28号住居跡
完掘状況



第28号住居跡
完掘状況



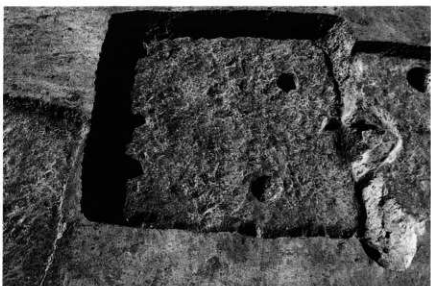
第29号住居跡
完掘状況



第29号住居跡
遺物出土状況



第29号住居跡
竈 完掘状況



第32号住居跡
完掘状況



第33・79号住居跡
完掘状況



第33・34・79・90号住居跡
完掘状況

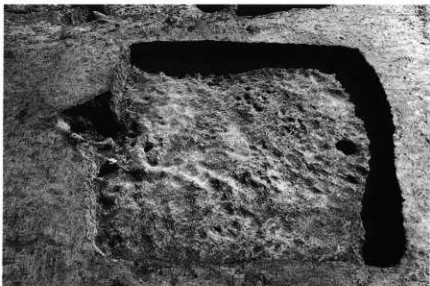


第79号住居跡
竈完掘状況



第34・90号住居跡
遺物出土状況

第35号住居跡
完掘状況



第39号住居跡
完掘状況



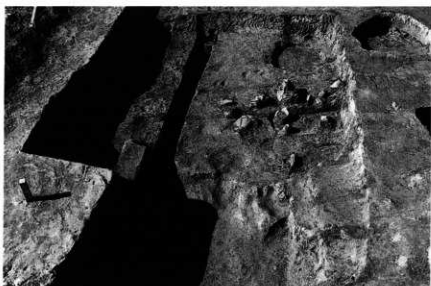
第40・134号住居跡
完掘状況



PL40



第41号住居跡
完掘状況



第41号住居跡
遺物出土状況



第41号住居跡
竈 完掘状況



第42号住居跡
完掘状況



第44・97・148号住居跡
完掘状況



第46号住居跡
遺物出土状況

PL42



第48号住居跡
完掘状況



第48号住居跡
竈 遺物出土状況



第49号住居跡
遺物出土状況



第51・52号住居跡
完掘状況



第51・52・152号住居跡
遺物出土状況



第55号住居跡
完掘状況



第55号住居跡
完掘状況



第55号住居跡
遺物出土状況



第56号住居跡
完掘状況



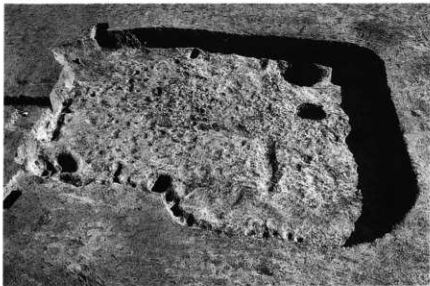
第57・74号住居跡
完掘状況



第58号住居跡
完掘状況



第58号住居跡
遺物出土状況



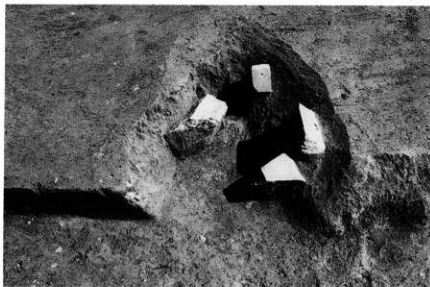
第58・59号住居跡
完掘状況



第59号住居跡
遺物出土状況



第60号住居跡
完掘状況



第60号住居跡
完掘状況



第61号住居跡
完掘状況



第61号住居跡
遺物出土状況



第63号住居跡
完掘状況



第63号住居跡
遺物出土状況



第63号住居跡
遺物出土状況